

coop

2016 年度

第4回 通常総代会議案書

● 第1号議案 ●

2016年6月9日(木) 10時30分～13時

新横浜プリンスホテル 5階

第1分冊

生活協同組合ユーコープ



第4回 通常総代会 議案検討のながれ

2015年10月

第4回通常総代会議案書作成タスクチーム会の結成

メンバー: 3県の組合員理事代表者と各部局代表職員

- ◆ 総代アンケートや職員からの議案書コミュニケーションシートで寄せられた声を議案書に反映させ、わかりやすい内容になるように検討しました。
- ◆ 経営基本方針に沿った事業と活動の取り組みの実践事例を豊富に掲載して、総代からも理解され、職員の仕事にも生かせるような議案書づくりを進めてきました。
- ◆ 組合員の視点で事業や活動が、経営基本方針で掲げた目標との関係でどうなのかという事を組合員理事もメンバーに入り検討を重ねてきました。

2015年11月
～2016年5月

タスクチーム会を5回開催

2016年3月16日
～4月5日

「3月総代懇談会」を開催

かながわ県10会場、しずおか県8会場、やまなし県5会場、計23会場で開催。「第4回通常総代会議案(第一次案)」について検討を行いました。



2016年5月6日
～5月24日

「5月総代懇談会」を開催

かながわ県10会場、しずおか県8会場、やまなし県5会場、計23会場で開催。「第4回通常総代会議案書(案)」第1号議案[第1分冊]・第2号議案～第5号議案[第2分冊]の議案の検討を行いました。

2016年6月9日

第4回 通常総代会 開催

基本理念

「人－社会－自然」の調和ある平和な社会の実現に貢献する」

2020年ビジョン ～私たちのありたい姿～

人と人をつなぎ、生きるを支える

1. 私たちは一つ一つの行動の積み重ねを通じて「コープがあってよかった」という存在になります。
2. 私たちは安定した剰余を確保し、将来にわたって存在し続けます。
3. 私たちは誇りと自信を持ってコープに集い、コープで働きます。

理事長挨拶

総代のみなさん、新しい生協「ユーコープ」が船出して3年が経過しました。思い返すと大変厳しい状況の中からの出発でしたが、組合員の声に真摯に応え、「組合員のために。組合員とともに」事業と活動を進めてきた結果、大きく前進することができた3年間だったと思います。支えていただいた多くの組合員の皆さんに、あらためて感謝を申し上げます。

さて、2015年度は、経営基本方針の3つの柱に沿って事業と活動を進めてまいりました。

第1の柱は「組合員の立場で実践できる人と組織をつくります」です。まだまだ不十分さを抱えておりますが、日常の利用の場面や総代懇談会などの場で、「配達の職員が元気で気持ちいい」「売場で声を掛けてくれ親切に教えてくれた」「要望を出したらすぐに改善してもらえた」といった声が増え、組合員の方に喜んでいただける場面が増えてきました。

第2の柱は「組合員の声に事業で応え、事業構造の改革をすすめます」です。

組合員のみなさんの熱心なご利用と、職員・パート職員・委託スタッフの「組合員の立場に立った仕事」への転換の努力の結果、供給高は予算を達成し、経常剰余は予算・前年ともに超過し、約40億円の黒字と3年連続の増益を実現することができました。

第3の柱は、「社会的役割を発揮します」です。被災から5年目を迎えた東日本大震災被災地への継続的支援をはじめ、被爆・終戦70年を迎え、核兵器廃絶・平和の取り組みを旺盛に推進しました。また、「フェアトレードバナナ」の供給、「みるくぼきん」「うなぎぼきん」の取り組み、「地域見守り活動」なども実施しています。

いずれも、まだ、初歩的な段階ではありますが、ユーコープは「新しい生協創り」に大きく舵を切り、確実に変化してきています。この1年の進化に確信を持ち、「すべては目の前の組合員のために」をスローガンに、組合員と働く者すべてが、誇りの持てる生協をめざして、ともに手を携えて前進しましょう。



生活協同組合ユーコープ

とうぐ しんいち
理事長 當具 伸一

目 次

第 4 回 通常総代会 議案検討のながれ

基本理念、2020 年ビジョン

理事長挨拶

第 1 号議案 「2015 年度取り組みのまとめと 2016 年度取り組むこと」

2015 年度全体のまとめ	2
私たちをめぐる社会の動き	4
2016 年度経営基本方針	5
数値で見るユーコープのこの一年	6
2015 年度取り組みのまとめと 2016 年度取り組むこと	8
指針 1 組合員の立場で実践できる人と組織をつくります。	8
指針 2 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。	14
指針 3 社会的役割を発揮します。	34

資料編

2016 年度 経営組織図	56
2016 年度 おうち CO-OP 宅配事業本部事業計画	
2016 年度 店舗事業本部事業計画	
2016 年度 参加と連携推進本部事業計画	
2016 年度 統合マネジメント本部事業計画	
2015 年度 事業結果（事業所別・直接剰余実績・経常剰余実績）	
2015 年度 監事会活動のまとめ	
2015 年度 品質管理の取り組み	
市区町村別組合員数	
2015 年 選挙区別選出総代定数	
店舗地図	
声明や意見書等	

第1号議案

2015年度取り組みのまとめと

2016年度取り組むこと

なお、議決の主旨に反しない範囲での字句等の修正は、理事会に一任します。

※職員の声の所属名は、2016年3月20日時点のものです。

2015年度 全体のまとめ

1. 2015年度の位置づけ

将来にわたって事業を発展させていくための基盤づくりとしての第1次中期経営計画(2016年度～2018年度)につなげる重要な年度と位置づけ、組合員の願いに応えるためにさまざまな創意工夫と実践を進めました。

2. 2015年度の経営結果

円安による輸入原材料高騰の影響などで商品の値上げが相次ぎましたが、組合員の利用に支えられ、供給高は予算を達成することができました(予算比101.0%)。また、事業経費も予算以下に抑えられ、2015年度経常剰余金は40億円を確保し、予算・前年を上回りました。

3. 経営基本方針を実現するための事業計画に基づく主な取り組み

【指針1】組合員の立場で実践できる人と組織をつくります。

- (1) 宅配センター・店舗のモデル事業所から提出される「組合員に聴いたこと」「組合員の様子から気づいたこと」に対して、各事業所では解決できない案件や要望について本部が受け止め、フィードバックする取り組みを進めました。
- (2) 組合員の視点で行動することを学び・考える場として「第3回実践事例発表会」を開催し、参加者一人ひとりが発表事例の「気づき」や「思い」を受け止めました。
- (3) 第1次中期経営計画(2016～2018年度)を策定するにあたって、職員・パート職員の意見が反映されたものになるように、現在の仕事に対する意識や今後の取り組みに関する要望・提案についてのアンケートを実施しました。

【指針2】組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。

- (1) 新規組合員の拡大
 - ① おうちCO-OPでは、ユーコープセクションを中心とした商品紹介などの取り組みを進めました。また、おうちCO-OPの認知を高めるために、神奈川で電車内広告、静岡・山梨でテレビCMを実施しました。
 - ② 店舗事業では、「ポイントカードつくっちゃおうキャンペーン(春・秋)」の展開、店舗拡大グループによる地域の方とのコミュニケーションなど、コープのお店を知っていただく取り組みを進めました。
- (2) おうちCO-OP
 - ① お買物めも紙面での「ラブコープフェア」の展開や「推しメンコンテスト」実施、雑貨の新カタログ「DEAR-HOME」の発行など、組合員の利用につながる取り組みを進め、供給高・経常剰余予算を達成しました。
 - ② おうちCO-OPを新しく始められた組合員をフォローするために、初めての配達から数週間にわたり、はじめてガイドを配布し配送担当者による説明を開始しました。
- (3) 夕食宅配Maici(マイシィ)
 - ① 2011年に神奈川県、2012年に静岡県、2014年に山梨県で配食センターをスタートさせ、計画的に宅配エリアを広げてきました。2015年7月に牧之原配食センター(牧之原市)を開設し、計画していた全28センターの開設が完了しました。
 - ② 組合員の要望に応えるために、「うなぎ蒲焼重」「牛すき煮重」などの特別メニューの提供に取り組みました。
- (4) 店舗事業
 - ① 組合員に喜んで利用していただけるように、ユーコープセクションの売場での展開、ポイントプレゼントまつり実施、「来店促進クーポン(DON-DONポイント)」実施店舗数の拡大などを進め、供給高・経常剰余予算を達成しました。

- ② より利用しやすくなるように、神大寺店（横浜市神奈川区）・中田店（横浜市泉区）・長井店（横須賀市）・愛甲店（厚木市）・白幡店（横浜市神奈川区）の5店舗の改装を実施しました。
- (5) 共済事業
- ① CO・OP共済の加入基準が緩和され、高血圧・脂肪肝の方も一定の基準を満たせば加入できるコース、妊娠中の方がお支払制限なく加入できる商品が加わり、組合員がさらに加入しやすくなりました。
- ② おうちCO-OPでは共済専任担当、店舗では共済カウンターを中心に新規加入につなげる取り組みを進めましたが、新規加入件数は予算未達成でした。
- (6) 福祉事業
- ① 主力の訪問介護事業の利用者の利用時間数が伸びず、事業収入は予算未達成ですが、事業経費のコントロールにより、経常剰余は予算どおり確保できました。
- ② 安定したサービス提供体制を確立するために、おうちCO-OPでのチラシ配布、店舗でのポスター掲示・チラシ配布などを中心とした新規ケアメイト（非常勤訪問介護員）採用を進めましたが、採用人数予算は達成できませんでした。
- (7) 暮らしの願いに応える商品を育てる取り組み
- ① 原料・製法・味にこだわり、組合員とともに大切に育て続ける商品「ユーコープセレクション」を2015年度は35品目開発・発売しました。
- ② ユーコープセレクションのラインナップが広がる中で、職員・パート職員が商品特徴や取り組みについて説明できるように部内報「ふれあい」に学習資料を掲載しました。
- (8) コスト削減の取り組み
- ① 本部の会議ではタブレット端末などを活用して資料のペーパーレス化をさらに進め、印刷にかかる費用を削減しました。
- ② 事業所に設置している機械の警備料金、事業所と本部との間で、書類や加入用紙などの帳票類運搬にかかる料金、店舗のレジから銀行にお金を預け入れるための警備・運搬料金などの経費の見直しを行いました。

【指針3】社会的役割を發揮します。

- (1) 「商品」を真ん中にコープの良さを伝え広げる取り組みとして、ユーコープセレクションの新発売商品を中心に、各県本部・エリアで「食べ知るコープ」など、多彩な参加の場づくりが展開されました。
- (2) ニューヨークの国連本部で開催されたNPT再検討会議の開催期間に合わせてニューヨークに代表団を派遣し、生協代表団の一員として被爆者の証言活動をサポートしながら、核兵器廃絶を訴える活動（国連ロビーでの原爆展参加、各国代表への要請文手渡しなど）を行いました。
- (3) 子どもたちの交通安全に役立つように、今春も希望のあった小学校におうちCO-OPオリジナルデザインのランドセルカバーと横断旗を寄贈しました。また、幼稚園・保育園・小学校などで交通安全教室も継続して開催しています。

私たちがめぐる社会の動き

1. 今後の社会の変化

人口減少・少子高齢化がさらに進み、単身世帯の増加、都市部と地方での所得格差の広がりなど、社会構造は大きく変化していきます。また、2017年4月には消費税率10%への増税が予定されており、組合員のくらしはますます厳しさを増すことになります。

社会構造やくらしの変化の中で地域における協同の取り組みが強く求められており、生協が地域社会において積極的な役割を果たしていくことが期待されています。

2. 経済

内閣府が2月15日に発表した2015年10～12月期の国内総生産（GDP）の1次速報では実質成長率が前期比でマイナスとなり、景気は足踏み状態が続いています。また、2016年1月には中国をはじめとした世界的な景気後退から、大幅な株式相場の下落が発生し、史上初めての『マイナス金利政策』が導入されるなど、日本の景気も先行きの不透明感が出てきています。

3. 福祉・介護

高齢化が急速に進む中で、福祉・介護の需要が高まっています。2015年度に実施された介護保険の制度改定により、介護度の低い高齢者の介護を市町村に移管する新たな地域支援事業が始まり、各地で協議会や研究会がはじまっています。

拡大する福祉・介護の関連分野への異業種からの参入が進んでいますが、事業の採算があわず、撤退する企業も出てきています。

4. 平和・憲法

今回の集団的自衛権の行使容認を含む安全保障関連法案の議論の中で、多くの女性や大学生を含む幅広い世代で平和・憲法に対する関心や行動が広がりました。

今後、被爆・戦争体験者が少なくなっていく中で、被爆・戦争体験を次世代に継承し、平和の大切さを伝える取り組みが重要になってきます。

5. エネルギー

福島第一原子力発電所の事故の問題が収束していない状況にもかかわらず、原子力発電所の再稼働に向けた動きが強まっています。

また、2016年4月から電気小売事業の全面自由化が開始され、2017年中には都市ガスの小売事業の全面自由化が開始される予定です。

エネルギーの問題について、消費者・組合員一人ひとりが関心を持つことが求められています。

6. 流通・小売業の動向

人口減少・少子高齢化に伴い、食品市場が縮小する中で、流通・小売業では淘汰・再編が加速し、寡占化が進んでいます。また、大手流通グループをはじめ、プライベートブランド（自社独自のブランド）商品を中心に位置づけた事業強化が進められています。

プライベートブランド商品に関する競争が厳しくなる中で、商品の「品質」「付加価値」に対する消費者・組合員の関心は更に強くなっています。

2016年度 経営基本方針

「すべては目の前の組合員のために」

指針 1. 組合員の立場で実践できる人と組織をつくります。

- (1) 組織全体で組合員の暮らしをよく知り、組合員の声を生かす取り組みを前進させ、最後まで責任を持って応えることのできる人と組織にします。
- (2) 目の前の組合員にとってどうなのかをものさしに、経営基本方針に基づき、自らの判断で実行できる人と組織にします。
- (3) 一人ひとりが大切にされ、私も役立っていると実感できる人と組織にします。

指針 2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革を進めます。

- (1) 全事業で新規組合員拡大を推進し、ユーコープ全体の利用を広げます。
- (2) 組織全体でコスト削減の追求、作業効率や費用対効果を高め、収益性を改善します。
- (3) 組合員の声を大切に、暮らしの願いに応える商品を、組合員とともに育て広げます。
- (4) 宅配事業は、実利用人数を増やすとともに、事業伸長と収益性を高めることで、将来にわたって発展し続ける事業にします。
- (5) 店舗事業は、既存店の来店者数減に歯止めをかけるとともに、経常剰余黒字店舗を増やし、コスト削減と業務の効率化で、経常剰余赤字を削減し、持続可能な事業に再構築します。
- (6) 保障（共済・保険）は、日常推進をさらに進め、新規加入者と保有件数を増やし、組合員利用の満足度をより高めていきます。
- (7) 福祉事業は持続的な事業活動を支えるため、今後の環境変化に対応できる人づくりと体制づくりを進めます。

指針 3. 社会的役割を発揮します。

- (1) 内外コミュニケーションを組織全体で進め、ユーコープファンの輪を大きく広げます。
- (2) 利用を通じて組合員の多様な参加が広がる取り組みを推進し、暮らし・社会・地域でのネットワークを更に広げます。
- (3) 事業や商品、活動を通じ、環境、地域貢献、社会貢献、被災地支援などの課題を進め、共感の広がりをつくります。
- (4) 暮らしの「安全・安心」への組合員の期待に応えるための取り組み、情報発信を進めます。

2016年度は、第1次中期経営計画（2016年度～2018年度）がスタートする重要な年度です。これまで以上に組合員の声を聴き、商品やサービスを通じて組合員の期待に応えながら、経営再建をやり遂げ、経営の強い土台をもう一度築き、未来に飛躍することのできる人と組織づくりを進めていきます。

数値でみるユーコープのこの一年 (2015年3月21日～2016年3月20日)

ユーコープ全体

供給高	1,740.4億円	(前年比 98.3% 予算比 101.0%)
かながわ	1151.9億円	(前年比 97.2% 予算比 100.9%)
しずおか	527.7億円	(前年比 100.6% 予算比 101.5%)
やまなし	60.8億円	(前年比 98.6% 予算比 100.9%)
※供給高には共同利用生協への出荷分は含まれていません。		
経常剰余金	40.0億円	(前年差+4.5億円 予算差+22.6億円)
当期剰余金	34.9億円	(前年差+9.9億円)
組合員数・加入率		
全体	1,769,607人	(前年比 100.2%) 加入率 30.6%
神奈川県	1,197,623人	(前年比 99.9%) 加入率 29.9%
静岡県	515,618人	(前年比 100.7%) 加入率 35.7%
山梨県	56,366人	(前年比 101.3%) 加入率 17.1%
新規加入者数	80,169人	(前年比 97.1%)
期末出資金残高	355.8億円	(前年比 97.0%)

貸借対照表

2016年3月20日現在

資産		負債及び純資産	
現金・預金・商品等 (流動資産)	291.1億円	商品代金の支払い等 (流動負債)	320.4億円
土地・建物等 (固定資産)	516.3億円	職員退職給付引当金等 (固定負債)	82.3億円
		出資金	355.8億円
		事業発展のための剰余金	49.1億円
合計	807.5億円	合計	807.5億円

*「貸借対照表」は2016年3月20日現在のコープの財産状況を示す表です。

損益計算書

(2015年3月21日～2016年3月20日)

供給高	1794.5億円
供給剰余金	525.3億円
福祉剰余金	0.9億円
その他事業収入	39.2億円
事業総剰余金	565.4億円
事業経費	531.9億円
事業剰余金	33.5億円
事業外損益	6.5億円
経常剰余金	40.0億円
特別損益	△3.1億円
税引前当期剰余金	37.0億円
法人税等	1.1億円
法人税等調整額	1.0億円
当期剰余金	34.9億円
繰越剰余金	1.2億円
当期末処分剰余金	36.1億円

※「損益計算書」は2015年度1年間の事業の結果を示す表です。

おうちCO-OP

供給高	1,102.1億円	(前年比 100.2% 予算比 100.8%)
かながわ	663.6億円	(前年比 99.6% 予算比100.5%)
しずおか	380.9億円	(前年比 101.4% 予算比101.5%)
やまなし	57.7億円	(前年比 98.2% 予算比100.9%)
組合員数(個人・グループ合計)	468,889人	(前年比 101.7% 予算比 98.4%)
個人宅配	395,099人	(前年比 103.1%)
グループ宅配	73,790人	(前年比 94.5%)
ママ割・ほほえみ割登録組合員数		
ママ割	65,793人	(前年比 106.3%)
ほほえみ割	114,656人	(前年比 108.5%)
eふれんず登録組合員数	244,108人	(前年比 106.2% 予算比 104.1%)
eふれんず利用人数(週)	92,563人	(前年比 105.9% 予算比 100.9%)

夕食宅配マイシィ

年間供給高	14.1億円	(前年比 127.4% 予算比 97.5%)
かながわ	8.7億円	(前年比 125.1% 予算比 96.7%)
しずおか	4.8億円	(前年比 128.3% 予算比 98.7%)
やまなし	0.6億円	(前年比 160.5% 予算比 99.2%)
年度末週間利用人数	10,538人	(前年比 122.0% 予算比 100.0%)
年度末週間食数	53,859食	(前年比 121.8% 予算比 99.3%)

店舗事業

供給高	624.2億円	(前年比 94.7% 予算比 101.5%)
かながわ	479.6億円	(前年比 93.8% 予算比 101.5%)
しずおか	142.0億円	(前年比 97.9% 予算比 101.5%)
やまなし	2.5億円	(前年比 99.0% 予算比 100.9%)
実利用組合員数	585,484名	(前年比 94.4%)
月平均利用組合員数	363,350名	(前年比 94.7%)
シニアパス発行者数	159,325人	※15年4月度よりパス自動化のため、発行枚数ではなく誕生日登録をしている組合員の中での対象者数
子育て応援パス発行枚数	73,616枚	(前年比 115.7%)
2015年度店舗数	102店舗	(2014年度店舗数 111店舗)
かながわ	82店舗	(大型店 15店舗 中型店 32店舗 小型店 35店舗)
しずおか	19店舗	(大型店 8店舗 中型店 9店舗 小型店 2店舗)
やまなし	1店舗	(中型店 1店舗)

*実利用組合員数=1年間で1回以上利用した組合員数
 *月平均利用組合員数=月単位の利用組合員数の12カ月平均
 *店舗数=年度末に営業している店舗数

共済(保障事業)

共済保有件数	414,870件	(期首差 5,072件 計画差 554件)
共済新規加入件数	30,539件	(前年比 104.0% 予算比 87.3%)
共済給付受付件数	67,083件	(前年比 98.8%)
共済給付金額	36.6億円	(前年比 92.4%)

福祉事業

年間利用人数 延べ	28,475名	(前年比 100.9% 予算比 99.5%)
期末ヘルパー人数	334名	(前年比 95.9% 予算比 89.8%)

組合員よりユーコープに寄せられた声

宅配・店舗で聞いた声	6,135件	eふれんずおすすめコメント	10,182件
もしもしコープ	8,626件	店舗拡大G担当者が聞いた声	12,148件
商品お申し出	14,590件	組合員活動で出された声	19,755件
おうちCO-OPサービスセンター	999,841件	CO-OP共済フリーダイヤル	7,221件

合計 **1,078,498件**

2015年度 取り組んだこと

指針1. 組合員の立場で実践できる人と組織をつくります。

(1) 組織全体で組合員の声を生かす取り組みを前進させ、最後まで責任を持って応えることのできる人と組織にします。

- ・おうちCO-OP宅配センターやモデル店舗では、組合員の声をメモに書き留めて事業所内で共有化し、できることから改善しています。
- ・(株)コープライフサービスでも、組合員の声を共有し、改善につなげています。

1. 「組合員の声を聴く、受けとめる、応える」取り組みを進めています

モデル事業所(※1)で聴き取り、メモに書いた組合員の声を月に1回集め「声の検討会議」のメンバー(※2)が共有しています。「声の検討会議」では毎回3つの声を取り上げ、声が上がった背景や組合員の気持ちに思いを馳せ、ユーコープの現状を踏まえた上でどうしたらよいかを話し合っています。



- ※1 全宅配センター、神大寺店、富士中央店、城北店、厚木戸室店、たまプラーザ店、横浜南2エリア事務所(南区、港南区、金沢区)、しずおか県本部
- ※2 常勤理事、組合員理事、各本部長

声の検討会議で共有した声の件数
2015年度(10回開催) 3,485件

いただいたご意見をメモして「声として報告します」と伝えるだけで組合員は笑顔を見せて安心してくれ、私もうれしくなります。

おうちCO-OP横浜南部センター(横浜市栄区)
供給職員 和田 康信



【事例1】パッケージデザインが変わって、コープ商品が見つからない

「いつも食べている納豆がないわ」と組合員に言われたので、「わかりにくくて申し訳ございません。パッケージが変わったんですよ」とご案内しました。

ミオクチーナ富士中央店(富士市) パート職員 倉澤 晴美

2015年から3年間かけてコープ商品のデザイン変更を実施していますが、「パッケージのみ変わるもの」「内容量に変更となるもの」「商品そのものが変更となるもの」と3パターンあります。いつもの商品が無くなってしまったと思われないように、店舗では、「変更前」「変更後」のパッケージの写真がついたご案内POPを8月より売場掲示しました。おうちCO-OPでは、4週に一度を目途にお届け明細書・お買物めものいずれかでお知らせをしています。

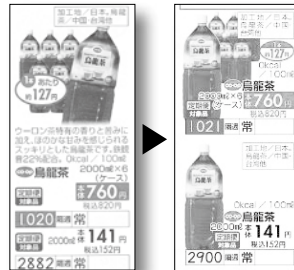


【事例2】ケース売りとバラを間違えて注文してしまう

「ケース売りとバラ売りの注文番号表記がわかりにくい」と組合員から言われました。調べてみると他の組合員も麦茶のケース売りを1本と間違えて注文していました。

おうちCO-OP田方センター(静岡県田方郡)
パート職員 坂倉 雅子

<変更後>



2015年10月1日より、「お買物めも」の飲料のケースとバラの画像・注文コードを区別できるようにしました。

モデル事業所では組合員の声を聴いて売場などの改善に生かしています

病院から1回のご飯の量が120gと制限されているのでピッタリの量を計って作ってもらえますか。

組合員の声

総菜部門では、ごはんは通常150g1パックで生産していますが、120gのパックをつくり、とても喜んで頂きました。その後も継続的にご利用いただいています。

ミオクチーナ富士中央店 店長 鷲巣 拓也



2. おうちCO-OPに寄せられる声でより利用しやすく改善

おうちCO-OPサービスセンターに寄せられる声を集約し、毎月1回「組合員の声改善報告会」を開催しています。組合員の声を基に『お買物めも』やお届け明細書の表記などをよりわかりやすい表現に改善しています。

2015年度 32件改善(2014年度 30件)

【事例】おうちCO-OPのポイント制度を見直しました

お店では200円以上の利用でポイントがつくのに、おうちCO-OPは4,000円以上利用しないとポイントの対象にならないなんておかしくないですか？

組合員の声

以前より多くの組合員から声をいただき、おうちCO-OPのポイント制度の見直しをしました。昨年の総代会でお約束したとおり、2016年3月4週から、4,000円以上（税別）の条件をはずし、店舗と同様に200円以上（税別）のご利用でポイントが付くようになりました。

3. お店の近くの組合員宅を訪問しご意見・ご要望を聴き改善に生かしています

店舗拡大グループでは、店舗近隣500m圏内のお宅を訪問し店舗への要望を聴いています。伺った声は店舗や本部に伝え、すぐにできることから改善につなげています。

聴いた声の件数 12,055件、店舗に反映した声の件数約 8 件（品ぞろえに関する声は除く）

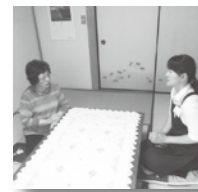
以前、お店にAEDを設置してと要望を出したけど、あれはどうなったかしら？（訪問の際に伺ったこと）



組合員の声

店内に設置してあることを確認し、再度訪問して報告したところ、自治会の回覧板で地域に紹介され、その後、数名の方が長後駅前店に設置場所の確認を兼ねてご来店くださいました。

ミアクチャー長後駅前店（藤沢市）店長 吉田 由美子



4. 組合員の要望にきちんと応えるために電話対応を磨いています

(株)コープライフサービスでは、組合員のご要望にきちんと対応できているか、電話対応マナーは適切かなど、グループリーダーが定期的に担当者の電話のやり取りを確認し、改善点をフィードバックする取り組みを始めました。

電話でこちらの事情、意向をお伝えしたら、ピッタリの保険を紹介してくれて感謝しています。ありがとうございました。

組合員の声

グループリーダーとモニタリングリーダーが、別の視点で組合員の要望に対応できているか確認しています。

(株)コープライフサービス 職員

2016年度 取り組むこと

指針1. 組合員の立場で実践できる人と組織をつくります。

(1) 組織全体で組合員のくらしをよく知り、組合員の声を生かす取り組みを前進させ、最後まで責任を持って応えることのできる人と組織にします。

組合員の声や願いを商品やサービスの改善につなげる取り組みを、ユーコープ全体で継続強化していくことが課題です。

- ・ 組合員の声を積極的に伺い、その声を生かす取り組みを継続し、ユーコープ全体で組合員の声や事例が取り上げられ、共有化されている状態をつくります。
- ・ 利用や活動で出された組合員の声からくらしを知り、事業やサービスの改善につなげるとともに、その事が組合員に実感されている状態をつくります。
- ・ インターネットなども活用し、組合員同士や組合員とユーコープがつながる機会を増やし、くらしに役立つ情報が共有され、組合員同士のクチコミが広がることをめざします。
- ・ おうちCO-OPサービスセンターに寄せられた声は「組合員の声改善報告会」を通じて、事業に生かす取り組みを継続します。

2015年度 取り組んだこと

指針1. 組合員の立場で実践できる人と組織をつくります。

(2) 目の前の組合員にとってどうなのかをものさしに自らの判断で実行できる人と組織にします。

- ・ 経営基本方針に沿った実践事例の共有化を通じて学び、考える場として「実践事例発表会」(※)を開催しました。また、職員がそれぞれの仕事の仕方に生かせるよう部内報に実践事例を掲載し、全体で共有しました。

※ 経営基本方針に沿った好事例を、事例の実践者がおうちCO-OPセンター長、店長、本部職員などに報告する会

1. 一つ一つの積み重ねがユーコープの価値と力になっています

【事例1】

相手にとってより良いサービスを提供します

夕食宅配マイシィ 海老名配食センター (海老名市) マイシィスタッフ 大林 輝夫

月曜から金曜まで毎日同じ方に届けることが多いので、ただ届けるだけでなく、人と人としてつき合えたらと思っています。また、より良い仕事をしたいという気持ちが常にあります。そのために、できるだけ組合員の都合に合わせて配送の順番を変えるなど工夫し、手渡しをしています。より良いサービスは、相手の方と接する中で発見できると思うんです。たびたびお褒めの言葉をいただきます。亡くなられた組合員のご親戚に会った際、「あなたが大林さんね」と言われました。体の不自由な組合員宅で新聞受けから新聞を取って差し上げた際は、「大林さんは神様みたいね」と喜ばれました。



海老名配食センター
マイシィスタッフ 大林 輝夫

大林さんは他のマイシィスタッフや、職員・パート職員にも常に思いやりのある態度で接していますが、組合員にも同じように接して信頼されているのだと実感しました。

おうちCO-OP海老名センター
受付部門 パート職員 田場 光代



【事例2】

組合員の心の声にお応えしています

白根店 (横浜市旭区) 青果部門 パート職員 多田 千鳥

大ぶりの冬瓜を持ち購入を迷われている様子の高齢の組合員がいらっしゃいました。少量規格のない商品だったのですが、「小分けにしますよ」と声をかけたところ大変喜ばれました。



白根店 青果部門 パート職員 多田 千鳥

【事例3】

給食のレシピから組合員とのコミュニケーションがはじまりました

ミアクチーナ南林間店（大和市）（株）コープ水産 パート社員 高橋 真紀

組合員の「魚嫌いの子どもが、給食のお魚は食べられるんです」の一言から、「小さなお子さんにもお魚が好きと言ってもらいたい」「自分自身が心からおいしいと感じたお魚料理を、それぞれの大切なご家族に食べてほしい」と思い、魚のレシピを作って、売場でお知らせしています。組合員の皆さんから「おいしかった」の声をたくさんいただき、励みになっています。



小学校給食人気メニューのレシピPOP



ミアクチーナ南林間店
 （株）コープ水産
 パート社員 高橋 真紀

【事例4】 組合員のお役に立てるコミュニケーションに取り組んでいます

おうちCO-OP横浜瀬谷センター（横浜市瀬谷区）供給職員 遠藤 麻美
 配達のお会いできなかった方ともコミュニケーションを取りたいと思い、手書きのメッセージを入れています。また、おうちCO-OPならではの商品を、組合員一人ひとりの生活スタイルに合わせた使い方と合わせておすすめしています。



おうちCO-OP横浜瀬谷センター
 供給職員 遠藤 麻美

遠藤さんにすすめられて以来、「CO・OPレンジでサクッとローズとんかつ」をリピートしています。簡単・便利な商品は試してみたいけれど失敗したくないので、ご本人が食べて感じたことや試した調理法を教えてもらえると背中を押されて安心して注文できます。近頃は料理の前に遠藤さんの顔と言葉が頭に浮かぶほど頼りにしているんですよ。

杉本さん

組合員の声



遠藤さんは全組合員に同じ情報を伝えるだけでなく、相手に合わせて言葉を変えるなどの気配りを忘れません。そうしたところが喜ばれ、組合員のお役に立っているのだと思います。

おうちCO-OP横浜瀬谷センター センター長 森田 洋介



2016年度 取り組むこと

指針1. 組合員の立場で実践できる人と組織をつくります。

(2) 目の前の組合員にとってどうなのかをものさしに、経営基本方針に基づき、自らの判断で実行できる人と組織にします。

経営基本方針に沿った実践事例を共有し、職員がそれぞれの仕事に生かせるようになることが課題です。

- ・ 組合員の声で改善した事例、組合員に喜ばれた事例の見える化を進め、「目の前の組合員のために」の実践事例を共有することで、自らの判断で実行できる職員・パート職員を育成します。
- ・ 組合員の「声」や「意見」を聴く、自ら話しかける取り組みを拡げ、そのことを組織全体で共有化し、「組合員にとってどうなのか？」という視点で判断・行動できる職員・パート職員集団をつくります。

2015年度 取り組んだこと

指針1. 組合員の立場で実践できる人と組織をつくります。

(3) 一人ひとりが大切にされ、私も役立っていると実感できる人と組織にします。

- ・おうちCO-OPでは「あなたにまっすぐ。表彰」、店舗では「ありがとう表彰」を実施し、組合員から喜ばれた事例やすぐれた事例について各事業所での共有化と水平展開をしました。
- ・共済担当者へ「組合員のありがとうの声」を返す取り組みをはじめました。

1. おうちCO-OP「あなたにまっすぐ。表彰」

おうちCO-OP宅配事業本部では、「おうちCO-OP宣言」(※1)と「組合員のために」(※2)の考え方に沿った“あなたにまっすぐ”な行動で組合員や地域の方、職場の仲間に喜ばれた優れた事例を表彰しています。職場の仲間に関心を持ち、評価し合い、事例を受け止めて、自分のできる「組合員のために」を見つける取り組みです。

2015年度推薦事例数 4,931件
(2014年度 4,817件)

※1 おうちCO-OP宣言

- 宣言1 いつでも安全運転を心がけます。
- 宣言2 新鮮なトマトのようなユニフォームで配達します。
- 宣言3 元気と笑顔もおうちCO-OPの“商品”です。
- 宣言4 留守でも安心“おいしさ”きちんとお届けします。

※2 「組合員のために」の考え方

- ◆組合員の要望に本当に応えていますか
- ◆組合員に喜ばれ、周囲の人の共感を得られますか
- ◆個人的ではなく、おうちCO-OPのスタッフとして行っていますか

【事例】

耳が不自由な方と笑顔とジェスチャーでやりとり 配達を楽しみにしてくださるようになりました
おうちCO-OP川崎新城センター(川崎市中原区) 委託配送スタッフ(安全輸送株式会社) 中村 淳平

おつれあいが耳が不自由だと知り、「ご主人にもあいさつをしたいので手話を教えてください」とお願いし、「ありがとうございます」だけ覚えられました。おつれあいが商品を受け取られるようになって、すぐに打ち解けることはありませんでしたが、笑顔と手話とジェスチャーを続けました。半年たった今は笑顔で私を迎えてくれるようになりました。私はこの方だけでなく、全組合員と毎週ひと言ふた言は話すようにしています。組合員とのコミュニケーションが仕事の中で一番のやりがいです。



夫は耳が不自由なため初対面の人とのコミュニケーションが不得意です。半年ほど前、私が仕事の都合でおうちCO-OPの配達時に家にいられなくなり、夫が受け取るようになりました。心配でしたが、しばらくすると「今日、配達だっけ?」と楽しみにするようになりました。ジェスチャーや簡単な手話でコミュニケーションをとってくれているようです。中村さんは若いのに、気遣う姿勢や笑顔が素晴らしいです。

組合員の声

2. ありがとう（接遇）表彰

店舗事業本部では、職員、パート職員などの接遇で、組合員にお褒めの言葉をいただいた好事例を「ありがとう（接遇）表彰」として表彰しています。表彰された事例はすべての店舗で共有し、接遇レベルの向上につなげています。

2015年度事例数 494件（2014年度 753件）

【事例】

組合員一人ひとりを大切にします

萩園店（茅ヶ崎市） 副店長 廣瀬 純子

いつも来店されるご高齢の組合員がいらっしゃいます。萩園店のパート職員は全員が声をかけたり、サッカー台にカゴを運んだりして気遣っています。ある日、元気がないときがありました。「大丈夫？ちゃんと食べてる？」と声をかけたところ、「いつもありがとう。私の心配なんて誰もしてくれないと思ってた」と感激して涙ぐまれました。「その場においてお声掛けできて良かった。萩園店で働いていたかいがあった」と思いました。



3. 「組合員のありがとうの声」をありがとうと返す取り組み

共済を契約された組合員からいただいた共済担当者への「ありがとうの声」を、担当者に返す取り組みを始めました。7月から開始し、「『ありがとうの声』をありがとうカード」発行枚数は209件となりました。



共済カウンターの山崎さんが、とても親切で、親身になって考えてくださっていて安心です。また、共済金の請求から支払いまでが早くで大変満足です。
ハーモス深谷（横浜市戸塚区）組合員

組合員の声

とっても嬉しいお言葉を頂き、日々の仕事のやりがいにつながりました。ご相談時に、現在ご加入の共済を調べてご提案しました。精一杯お伝えし、その気持ちが組合員に通じたのだと思います。
ハーモス深谷 共済担当パート職員 山崎 智子



2016年度 取り組むこと

指針1. 組合員の立場で実践できる人と組織をつくります。

(3) 一人ひとりが大切にされ、私も役立っていると実感できる人と組織にします。

各事業所での組合員に喜ばれた事例を認め合い、一人ひとりが学ぶことで、人を大切にする組織づくりにつなげていくことが課題です。

- ・ 実践事例発表会や部内報による事例の共有を進め、自らの仕事や行動が組合員や社会の役に立っていると実感できる人と組織にします。
- ・ おうちCO-OOPでは「あなたにまっすぐ。表彰」を継続し、事例共有を通じて、「組合員にどう喜ばれたのか」を大事にし、自ら考え行動し組合員に応える職員・パート職員と優れた実践を褒める組織風土をつくります。
- ・ 店舗では、引き続き「ありがとう表彰を」を通じて、職員・パート職員全員が責任と誇り、やりがいを持てるように、店長の店内コミュニケーションと運営力を高めます。「目の前の組合員のために」の実践、人に関心を持ちほめる、認める、人を大切にする風土をつくります。

2015 年度 取り組んだこと

指針 2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。

(1) 全事業で新規組合員拡大を推進し、ユーコープ全体の利用を広げます。

- ・店舗、宅配事業のほか様々なサービスをおすすめし、組合員のくらしに役立つためにユーコープ全体で取り組みを進めました。
- ・閉店する店舗では、ご利用いただいた組合員へのお詫びと感謝の気持ちを伝え、これからもユーコープをご利用いただけるよう近隣の店舗やおうちCO-OPなどのご案内を進めました。

1. ユーコープのさまざまなサービスをご利用いただくための取り組み

ユーコープでは、より便利に使っていただくため、店舗とおうちCO-OPのサービスや品ぞろえなどそれぞれの特徴を紹介し、両方をご利用いただくことを提案しています。

店舗ご利用の5人に1人がおうちCO-OPも併用されています。各店舗では、おうちCO-OPの担当者が店頭に立ち、おうちCO-OPのご案内をする取り組みを進めています。

また、おうちCO-OPでは新しく利用をはじめた方にユーコープの店舗も利用していただけるよう、店舗で使える「ふれあいポイントカード」の発行案内や「ふれあいポイント1,000ポイント」プレゼントしています。

おうちCO-OPの商品カタログ「お買物めも」に掲載している「お店に来て値引きクーポン」は、1企画あたり約4,000名（前年比120%）のご利用があり、徐々にご利用が増えています。



ミアクチーナ長後駅前店（藤沢市）にておうちCO-OPご案内の様子

店舗でのおうちCO-OP宅配登録数 1,980名



2. これからもユーコープをご利用いただくために 閉店する店舗の組合員へご案内

店舗とおうちCO-OP宅配センター、おうちCO-OPご案内ルーム（※）が協力し、閉店する店舗の組合員に近隣の店舗やおうちCO-OPのご案内を進めています。2013年度からおうちCO-OPご案内ルームの中に、閉店店舗をご利用の組合員へおうちCO-OPのご案内をする閉店店舗の組合員のチームを設置しました。設置後、おうちCO-OPの登録率は、2012年9.1%→2013年13.7%→2014年18.2%→2015年23.8%まで高まっています。

※ おうちCO-OPご案内ルームとは、本部の営業グループです。イベントでののご案内や法人への営業などを主な役割としています。



三園平店（富士宮市）のおうちCO-OP相談コーナー

3. 「ユーコープからののお知らせ」に店舗で使える5%割引券を掲載

組合員全員に配布している「ユーコープからののお知らせ（出資金残高と利用高のご案内）」に、店舗で使える5%割引券を掲載し、店舗をご案内しました。また、コープの夕食宅配マイシィの紹介やユーコープセレクションの商品も掲載しました。

おうちCO-OPを利用の組合員への配布は、「チラシ形式」に変更し、毎週お届けしている注文書セットに封入してお届けしましたが、見つけにくいとの声もあり、2016年度は見つけやすい位置に封入したり、チラシを大きくするなどの工夫をしていきます。



ユーコープからののお知らせハガキ

4. (株)コープ総合葬祭「いきいきライフサポートサービス」のお知らせを強化

(株)コープ総合葬祭(※1)の「いきいきライフサポートサービス(生前予約・遺品整理・お墓掃除代行サービス・ペット葬・みまもりサポートなど)」は、利用してよかったの声が届くなど、サービスが広がってきています。

※1 神奈川県内20の生協が共同出資して設立された会社

※2 (株)コープ総合葬祭が提供する葬儀サービスの名称

担当の方は、わかりやすく、そして優しく、こちらの悲しい気持ちに寄り添ってお話してくださいました。「お名前は、なんておっしゃるんですか?」と聞いてくださり、その後は「ラッキーちゃんは・・・」と、名前で呼んでくれたので、大切にしてくれると感じられて、とても嬉しく癒されました。

横浜市港北区 Kさん(ペット葬ご利用)

組合員の声



「ゆきげ(※2)通信」で共同出資していただいている神奈川県内20の生協のご担当者へむけて、ご紹介件数などを発信しています。1月からは葬儀資料を請求をされた方や学習会参加者にパンフレットをお渡しできるようにしました。

(株)コープ総合葬祭 企画部長 萩原 良一

2016年度 取り組むこと

指針2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革を進めます。

(1) 全事業で新規組合員拡大を推進し、ユーコープ全体の利用を広げます。

宅配事業・店舗事業のほか様々なサービスを、ユーコープ全体で組合員に広くお知らせしていくことが課題です。

- ・引き続きおうちCO-OPで店舗クーポンの配布や、店舗でのおうちCO-OPのご案内、新規加入組合員への全事業のお知らせなど、あらゆる場面でユーコープをご利用いただけるようさまざまなサービスを広くお知らせします。
- ・おうちCO-OPの訪問活動やイベントでの宅配のご案内の際に、店舗や共済、その他サービスのお知らせを進め、ユーコープをご利用いただくことの魅力と価値を伝えます。
- ・夕食宅配マイシィをご利用の組合員に、食事以外の商品を利用する手段としておうちCO-OPや店舗のご案内を進めます。

2015年度 取り組んだこと

指針 2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。

(2) 組織全体で供給高伸長に見合ったコスト削減を追求し、事業効率の改善をします。

- ・しずおか県本部、やまなし県本部と桜木町本部を結んで、Web会議の実験を開始しました。また、プロジェクターやタブレット端末の活用をさらに進め、会議資料の印刷にかかるコストの削減を図りました。

1. Web会議の実験を開始

しずおか県本部とやまなし県本部、ユーコープ本部（横浜市中区）の3カ所でWeb会議の実験を開始。しずおかの東部事務所、西部事務所にも設置しました。職員会やパート職員会を開催し、職員の移動時間と交通費を削減できました。今後、組合員を対象にした学習会などの開催にも活用していく予定です。

全員の表情や雰囲気も伝わり、声も鮮明に聞き取れました。移動時間約6時間が有効に使え、業務の改善につながっています。

やまなし県本部 統括マネージャー 廣瀬 有一

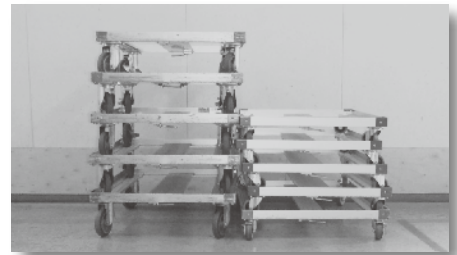


Web会議の様子

2. 商品1品あたりの配送費用の削減

ご注文いただいた商品をセットする物流センターからおうちC O - O P 宅配センターへの納品にかかる運搬費用の削減に取り組みました。通い箱専用台車を変更して台車1台当りに積む箱数を24箱から28箱に増やし、トラック1台当り、または台車当りに積む商品個数を増やすことで商品1品あたりの配送費の削減を進めています。

商品1点あたりの配送費用4.0円から3.4円に削減（前年比85%）



通い箱専用台車
（左）変更前 （右）変更後

3. エネルギー使用量の削減

環境への配慮、店舗の固定費の削減を目的に、組合員へのサービスレベルや品質管理上の問題がないところでの電力使用量削減を進めました。省エネタイプの冷蔵・冷凍設備や空調、LED蛍光灯への交換を行いました。

電気料金

2015年度 12.4億円、前年差△1.5億円
(2014年度 13.9億円) ※2015年度営業店舗比較

LEDへの変更は、電力使用量を抑えつつも、お店が明るくなったと組合員に喜んでいただいています。

中田店（横浜市泉区） 店長 遠藤 正和

4. 会議資料のペーパーレス化をさらに進め印刷にかかる費用を削減

本部での会議では、プロジェクターやタブレット端末の活用をさらに進め、会議資料の印刷にかかるコストの削減を図りました。その結果、印刷枚数は2014年度比で89.6%、2013年度比では63.7%となり、削減が進んでいます。あわせて、コピーにかかる1枚あたりの単価も引き下げ、年間600万円のコストを減らすことができました。



5. 事業所の経費を削減

事業所に設置している機械の警備料金、事業所と本部との間で、書類や加入用紙などの帳票類運搬にかかる料金（以下、メールカバン料金）、店舗のレジから銀行にお金を預け入れるための警備・運搬料金（以下、現金輸送料金）などの経費の見直しを行いました。機械の警備料金やメールカバン料金、現金輸送料金は運用の見直しや取引先との協議により年間8,400万円の経費を減らすことができました。

委託料年額

削減前 2億9,700万円

削減後 2億1,300万円

削減額 8,400万円

※2015年度への削減反映額は、期中での変更などにより、△1,900万円となります。



事業所と本部との間で帳票類の運搬をしているメールカバン

2016年度 取り組むこと

指針 2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革を進めます。

(2) 組織全体でコスト削減の追求、作業効率や費用対効果を高め、収益性を改善します。

将来にわたって組合員の期待に応える商品・サービスを提供していくために必要な利益を生み出すために、それぞれの事業所で業務の効率化・コスト削減をさらに進めることが課題です。

- ・ おうちC O - O Pでは、物流センター業務や商品納品形態の見直しなどにより、物流効率を高め配送費用の削減を進めます。
- ・ 店舗では、インストア部門の作業標準化による稼働時間の適正化やLEDへの切替による電力使用量の削減、折り込みチラシ・ポイントプロモーションの効果的な実施により損益改善を進めます。
- ・ 本部は宅配センター・店舗での業務を支えるために必要最低限の機能に絞り込み、コストダウンを図ります。

2015 年度 取り組んだこと

指針 2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。

(3) 組合員の声を大切に、くらしの願いに応える商品を、組合員とともに育て広げます。

- ・ユーコープならではの商品づくりに取り組み、ユーコープセレクションとして商品開発をすすめました。横浜大飯店監修のおいしい肉まんや指定産地米と国産牛のライスバーガーなど2015年度は35商品（第3・4弾）を発売しました。
- ・商品開発では、組合員の率直な意見や評価を伺ったり、原料の収穫や工場の見学など、組合員とともに取り組みました。

1. 愛されて広がっていますユーコープセレクション

(1) ユーコープセレクションに新しい仲間が増えました

熟成あらびきポークウインナー

一本で満足感がありオススメです！朝ごはんにはホットドッグにするのがお気に入り。長いので、切れ込みを入れやすいのも良いです！

sayo3さん

指定産地米と国産牛のライスバーガー

食材も味も安心して食べられます。特に高校生の娘が気に入っていて学校でのおやつ用に持って帰っています。

うめちゃんさん

横浜大飯店監修のおいしい肉まん

コンビニ肉まんとたいして変わらないだろうと思ってあまり期待していませんでしたが、コチラの方がずっとおいしいと思いました。

なおさん



人気のあの商品もユーコープセレクションに

組合員にすでに人気のあるユーコープならではの商品がユーコープセレクションに仲間入りしました。



食の未来につながる産直連携

コープ味菜卵の親鶏の鶏ふんでグリーン・プログラム ベビーリーフがすくすくおいしく育つ。農産や畜産の産直産地同士がつながることで、食を育む環境の未来を広げていきます。産地を守り、組合員により安心な農産物をお届けするための取り組みです。



普段買うベビーリーフは、袋の中で少し傷んでいるものもあるイメージですが、このベビーリーフはどれも新鮮さがあります。土作りのこだわりがおいしさに出ているようです。

ちいさん

組合員の声

(2) 組合員が参加♥育てています

グループインタビュー



『熟成あらびきポークウインナー』の再開にむけて組合員グループインタビューを2回開催。サイズを大きくしてスモークを強め、大人も楽しめるウインナーになりました。

皆で話し合いながら試食するのは楽しいです。開発の一部を垣間見られるというのは、コープならではの企画だと思います。

組合員の声



多くの組合員が愛用している『だしつゆ四季の味』が生まれて25年、世の中の食味傾向が変化する中、改めてアンケートや2回の組合員グループインタビューを実施しました。組合員の率直な意見を聴き、新たな商品『だしにこだわった薫るつゆ』を開発しました。

ふだん使っている商品についてじっくり考えて意見を言ったり、他の組合員の方、職員のお話が聞けてよかった。

組合員の声

グループインタビューをすると、生活環境や出身地などによっても、商品に求めるものが大きく異なることがわかります。どんな時に使うかなどを伺いながら商品開発することはとても大切なことだと感じました。

商品戦略室商品開発課 担当課長 吉田 大治郎

産地で体験



『静岡県産こだわりの純米大吟醸』の原料米・静岡県産山田錦の田植えと稲刈りに組合員が参加、発酵見学も行いました。

稲穂がきれいでびっくり！おいしいお酒ができるのが楽しみ。今回の稲刈り体験は、親子で参加された組合員が多く、子どもたちも稲刈りに汗をかいていました。

組合員の声



山梨県産ワイン（2016年秋以降発売予定）の原料ぶどうの笠がけと収穫に組合員が参加しました。

「笠がけ作業」をして、ぶどうに対して愛着がわきました。このぶどうがワインになるのを見届けたいと思いました。

組合員の声

(3) ユーコープセクション1周年

【おうちCO-OPでは】

お買物めも11月1週、巻頭見開き2ページで1周年の特集を組み、組合員の声で商品特長を紹介しました。横浜大飯店監修のおいしい肉まんが注文数9833点と計画比140.8%となり、組合員のリピート率も高くなっています。これからの利用の広がりが期待できます。



【店舗では】

ユーコープセクションが発売したことを、ご来店いただいた方にお知らせするために「80cm×100cm」の大型タペストリーを店舗入口や売場に掲示しました。



(4) 4月発売! ユーコープセクション第4弾

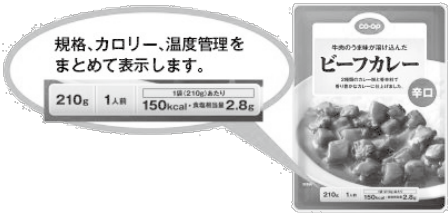
<p>だしにこだわった薫るつゆ 500ml 本体価格349円</p>	<p>味菜卵で作った玉子豆腐 80g×3個 本体価格149円</p>	<p>北海道3.7根釧牛乳 1000ml 本体価格 店:205円 宅:225円</p>	<p>エクストラバージンオリーブオイル 456g 本体価格599円</p>	<p>静岡県産 ニューサマーオレンジの マーマレード 本体価格 185g 399円</p>
<p>グリーン・プログラム 宮城県産活ダ銀鮭 本体価格 210g(3切) 459円、140g(2切) 305円 など</p>	<p>一番摘み 静岡のおいしい深むし茶 100g 本体価格599円</p>	<p>生乳100%のプレーンヨーグルト 400g 本体価格199円</p>	<p>ユーコープ・ジャパンモワイ 甲州《山梨県産》 マスカットベリーA 《山梨県産》 各720ml 本体価格1080円</p>	

2. コープ商品のパッケージの見直しを進めています

知りたい情報をよりわかりやすく、使い勝手も良くなるよう、コープ商品のパッケージや内容の見直しを進めています。2015年6月から3年かけて、変更していきます。

久しぶりに店舗に行ったら、パッケージが統一されていて見やすくなったなと思いました。これからも期待しています。

組合員の声



3. おうちCO-OP組合員モニター参加の商品開発

2013年度よりおうちCO-OPをご利用の組合員モニターの参加で商品開発をしています。開発当初は精肉加工品のみでしたが、2014年度より鮮魚加工品も開始し、2015年は鮮魚1件、精肉3件の開発を行いました。試作品を組合員モニターに3回送付し、アンケートで意見をいただいています。最終的に70%以上のモニターの支持が得られれば、新商品として発売します。



4. 葬儀サービスリニューアル

(株)コープ総合葬祭「ゆきげ」では、「今、求められるお葬式の充実」「パンフレットの見やすさ・わかりやすさの追求」「こだわり派、節約志向にも対応」をコンセプトに、葬祭サービスをリニューアルしました。

他の葬儀社にも事前に聞いたのですが、「ゆきげ」が一番細かくて金額も教えてくれました。

組合員の声

新しいパンフレットの表紙は花のデザインで「あたたかさ」「華やかさ」を演出。見積もり例などを掲載し、わかりやすいと好評を得ています。

(株)コープ総合葬祭 事業管理部長 大内 信也



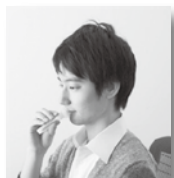
「ゆきげ」新パンフレット

5. 遺伝子検査キットの取り扱いを開始

組合員の「家族みんなが健康で長生きして欲しい」という願いや、病気の予防に関して高まるニーズに応え、病気のリスクを遺伝的傾向から知ることができる遺伝子検査キットの取り扱いをはじめました。



キットが届く



唾液を送る



検査。結果が届く

骨粗鬆症のリスクが2倍以上との結果でした。祖母が骨粗鬆症を患ったことを思い出し、予防に意識が向いたのでとても有意義な経験でした。

利用者アンケートより

組合員の声

組合員利用アンケートにも、ご家族の健康維持や病気への予防に関する商品やサービスの提供を望まれている声が複数ありました。

(株)コープライフサービス サービス事業部長 川口 佳之

※がんや成人病を含む150種類の病気発症リスクと130種類の体質を調べることができる「ヘルスケア」 29,800円(税別)
 ※全38種類の全てのがんの発症リスクを調べることができる「がんバック」 14,800円(税別)
 ※取り扱いに関するお問い合わせ先：コープライフサービス 0120-47-3577 (月～土/午前10時～午後5時)

2016年度 取り組むこと

指針2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革を進めます。

(3) 組合員の声を大切に、くらしの願いに応える商品を、組合員とともに育て広げます。

コープ商品の良さが伝わり、より多くの組合員に喜ばれ、ご利用につなげていくことが課題です。

- ・コープの産直・産地指定商品をはじめ、ユーコープならではの価値を追求したユーコープセレクション商品の開発・お知らせを進めます。
- ・商品改善にも、組合員の声を生かし、継続的に取り組んでいきます。
- ・組合員モニターやグループインタビューをはじめ、さまざまな場で組合員のご意見を伺い、開発・改善に生かしていきます。産地との交流を進めます。
- ・コープ商品、ユーコープの売場・紙面を、組合員にとってよりわかりやすい、魅力あるものにしていきます。

2015 年度 取り組んだこと

指針 2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。

(4) 宅配事業は、利用人数増と業務の効率化で供給高伸長と収益性を高めます。

- ・「新規利用者にいかに継続してご利用いただくか」という課題に取り組んでいます。
- ・組合員の声に応じて、お届け明細書の見やすさの改善に取り組みました。
- ・コープの夕食宅配マイシィは、牧之原配食センターを開設し、3県で28の配食センターが稼働しています。

1. 新しく利用をはじめた組合員をサポートする取り組みをスタート

おうちCO-OPでは、初めての配達から数週間にわたり、サービスセンターによくいただくご質問をまとめたチラシを配布しながら配達担当者がその内容を説明するサポートを開始しました。最初に配布するチラシには、配達担当者が自分の名前を手書きし、自己紹介をしながらお渡ししています。



おうちCO-OPの利用のしかたを配達時にご案内

組合員から『松村さん』と呼ばれ、とてもうれしく思いました。名前でもらえて距離が縮まったように感じました。

おうちCO-OP横須賀センター（横須賀市） 供給担当 松村 優

2. お届け明細書の見やすさの改善

お届け明細書のポイント欄の「その他特典ポイント」とは何を指すのかわからないとお問い合わせをいただいていた。これを受けて、1月3週からお届け明細書の注文商品掲載欄に「紹介ポイント・ギフトポイント等」などと表示できるよう改善しました。また、まとめ買いでの値引きのことをこれまで「バンドル値引き」と表示していましたが、「まとめ買い値引き」に変更しました。

<改善前>

ご利用P	39	今回獲得合計	1,374
おうちCO-OPポイント		ポイント残高	1,902
定期・商品P	15	■ 2016年3月3週	
その他特典P	1,320	有効期限ポイント	1,132

<改善後>

注文番号	区分	商品名	規格	数量	金額
0315	青果	皮ごと食べられるぶどう（ミックス）	250g	1	399
0336	青果	埼玉産直センターのミニトマト	130g	1	199
0341	青果	わけありトマト	700g(4~7個)	1	460

その他特典P	金額
Web 加入	300
イベント	1,000
紹介	20
☆☆☆その他特典P合計ポイント☆☆☆	1,320

3. お届け明細書を組合員への情報発信のために活用しています

お届け明細書の右下にご案内スペースを設け、個人別によく利用される商品のご案内を掲載しています。また、裏面のお知らせ欄では、商品情報や社会的取り組み（みるくぼきん・放射能検査情報など）・リサイクル案内・紹介情報などを掲載し、おうちCO-OPの取り組みや姿勢を伝えています。



4. eふれんずをより楽しく便利に

ゲーム感覚の楽しい企画でeふれんずを身近に

いつものお買物にeふれんずならではの楽しみを追加する企画として、5月と1月に「とれたてトマトくんを探せ」、10月に「トレジャーハント」「お散歩トマトくんを捕まえろ」のお楽しみ企画を実施しました。eふれんずの各画面にとれたてトマトくんや宝箱を隠し、探してクリックしていただいた方の中から抽選でクーポン商品をプレゼントしました。



お楽しみ企画 参加人数

5月

「とれたてトマトくんを探せ」：約13,000名

10月

「トレジャーハント」：約12,000名

「お散歩トマトくん」：約19,000名

こういう企画、大好きです♪子どもたちも楽しそうに見つけてました！大人の私も必死になって…(笑) プレゼントも当たるといいな～。

ゆーみんさん

組合員の声

eふれんずで個人別おすすめ商品の表示をスタート

過去1年間で2回以上利用がある商品を「これまでに買ったかも」のタイトルで個人別に表示しています。

eふれんずおまかせ定期便表示方法の改善

eふれんず内のおまかせ定期便の表示・修正方法を分かりやすく改善します。継続変更の画面で数量を変更した場合、これまでは公開中の企画に反映されませんでした。自分で企画を選んで反映させることが可能になります。(2016年3月～)

5. 新雑貨カタログ「ディアホーム」発刊

子育て層・ファミリー層向けの「食と暮らし」の雑貨カタログ(8ページ隔週発行)を9月3週から発刊しました。「お買物めも」にない新鮮な品ぞろえと女性目線のオシャレな誌面、季節のくらしに寄り添うテーマで商品を提供しています。



6. 業務用保存版カタログ「DOSA-TTO」品ぞろえ強化

2014年9月に発刊した業務用食品カタログ【DOSA-TTO】は、3か月保存版として冷凍食品を中心に提供してきましたが、冷凍食品ではない業務用菓子類の取り扱いを開始し品ぞろえを拡大していきます。3月号より菓子類を18品目取り扱いを開始しました。



7. おうちCO-OPのCMを放映

野菜嫌いのお子さんも野菜が食べられるようになる“魔法のドレッシング”野菜たっぷり和風ドレッシングを紹介したCMを、電車内広告（神奈川）・テレビ（静岡・山梨）で放映しました。子育て・家事・仕事に毎日忙しいママ・パパが笑顔になれるように、商品やサービスで応援したいというメッセージを込めています。



おうちCO-OP職員も登場！写真は撮影風景

8. おうちCO-OP公式Facebookがオープン

おうちCO-OPの商品やサービスのご案内、取り組みを広くお知らせするために、Facebookで情報発信を行っています。

ファン（いいね！）数
1,264人（2016年4月現在）



9. おうちCO-OPがブックオフ オンラインと提携開始

BOOK・OFF Online  宅本便®

環境への配慮、組合員満足度向上のため、2015年6月1日からおうちCO-OPはブックオフオンラインと提携を始めました。おうちCO-OPをご利用の方がブックオフの宅配買取サービス「宅本便」を申し込むと、古本やCD・DVDなどの買取価格が10%アップするサービスです。

10. コープの夕食宅配マイシィ もっと組合員のお役に立つための取り組み

2015年7月6日に牧之原配食センター（牧之原市）を開設しました。2015年度末で配食センターは3県で計28カ所となり、毎週約5万食の夕食をお届けしています。「にぎわいコース」は「肉と魚介のダブル主菜」「副菜は野菜中心の美味しいものを少しずつ味わえる」ようにリニューアルしました。また、新たに土用の丑の日に「うなぎ蒲焼重」、年末に「牛すき煮重」の予約生産や駅弁の案内など、特別メニューの提供にも取り組みました。

自分では作ったことのないおかずや、使ったことのない食材もたくさん入っていて、ふたを開ける瞬間の「ワッ！！」がいつも楽しいです。

いただいたお手紙より

組合員の声



11. 福祉施設、医療施設などに対する宅配サービスの推進

2007年に消費生活協同組合法（生協法）が改正され、組合員に限られていた生協の利用が緩和されました。地域への貢献として学童保育や保育所、グループホームなど福祉・医療・教育文化施設は出資金なしで利用できるようになりました。おうちCO-OPも地域のそのような施設に役立てていただけるようご利用案内を進めています。



パンなどの数が多いものは、買い出しに何店舗もまわっていた時もありました。おうちCO-OPなら、数が多くても仕入れられるし、雨の日も安心です。

レッツ・びー千年保育園（川崎市）

組合員の声

12. 組合員サービスの向上を目標に 荷降ろし作業の標準化

組合員のお宅で注文商品を荷降ろしする際の統一した手順書がなかったため、担当者によって作業が異なり、誤配（商品のお渡し間違い）や作業時間のバラつきが生じ、組合員サービスの低下を招いていました。

作業手順や時間を規定して作業を標準化することで、早くて正確な荷降ろしができるようにします。



2016年度 取り組むこと

指針2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革を進めます。

(4) 宅配事業は、実利用人数を増やすとともに、事業伸長と収益性を高めることで、将来にわたって発展し続ける事業にします。

組合員が利用しやすい紙面（品ぞろえ・価格）づくりやサービス提供に取り組み、継続して利用していただく組合員を増やし、事業の発展につなげていくことが課題です。

- 組合員の声に基づいた利用しやすさの改善と新規利用組合員が継続して利用していただける取り組みを進めます。
- ・ 『組合員の声を聴く取り組み』などを通じて、組合員の気持ちを考えた仕事の仕方ができるように、対応の向上を進めます。
- ・ 新規利用組合員への丁寧な説明とわからないところなどのフォローを行い、継続してご利用いただける取り組みを全事業所で進めます。
- ・ ユーコープセレクションなどユーコープならではの商品学習、商品普及を中心に、おうちCO-OPのファンになっていただける取り組みを進めます。
- ・ 宅配センターの作業の効率化と配送の効率化をさらにすすめるとともに、後方拠点（サービスセンター、電話注文センター、OCRセンター）の業務割当最適化によるローコスト運営を進めます。
- ・ 後方物流の効率改善、リサイクルの収益化を進め収益性を高めます。

2015年度 取り組んだこと

指針 2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。

(5) 店舗事業は、既存店の供給高減少に歯止めをかけ、経費削減と業務の効率化で損益改善するとともに、経常剰余黒字店舗の再構築をします。

- ・多くの方にユーコープの店舗を知っていただくために、店舗拡大グループが戸別に訪問などに取り組み、28,528名の方に新規加入していただきました。
- ・2015年度は、5店舗の改装、7店舗の売場変更を行いました。
- ・閉店提起店舗10店舗の存続を図るために、組合員、店舗と本部が一体となってさまざまな取り組みをしましたが、4店舗の閉店が決まりました。

1. 多くの方に店舗を知っていただくために 店舗拡大グループの取り組み

店舗拡大グループは、店舗の近隣500mの地域を戸別に訪問し、店舗のご案内を行っています。また、店舗へのご意見・ご要望をお伺いし、いただいた声をもとに店舗の品ぞろえや売場づくり、応対改善につなげています。店舗改装時にも近隣訪問を行うなど、店内・店外のコミュニケーションを通じて、より多くの方にユーコープの店舗を知っていただくことができました。



組合員拡大実績

新規加入	28,528名
宅配利用者の店舗利用開始	11,154名
利用再開	20,713名

地域にとって大谷店は必要で頑張っ
て欲しいです。定期的に戸別訪問し
声を聴くことは大切、また来てほし
いです。

訪問時にお聴きした声

組合員の声

お店から職員が出向くのは生協
ならではの。店内で「さっきは
来てくれてありがとう」と声を
かけてくださる方もいます。

店舗拡大グループ
担当 森下 文喜



2. 店舗の経常剰余黒字化に向けての取り組み

店舗事業全体の損益改善、将来の経常剰余黒字化をめざし、2014、2015年度の2年間で、片倉店（横浜市神奈川区）、桜つつみ店（静岡県駿東郡）、白根店（横浜市旭区）、ミオクチャーナ袋井田町店（袋井市）、ミオクチャーナ末吉店（横浜市鶴見区）、ミオクチャーナ上今泉店（海老名市）の6店舗で、経常剰余黒字化に向けて様々なチャレンジをしました。

経常剰余

片倉店	8,627万円
白根店	39万円
桜つつみ店	1,752万円
ミオクチャーナ袋井田町店	△733万円
ミオクチャーナ末吉店	564万円
ミオクチャーナ上今泉店	△70万円

【事例】

店舗と市場バイヤーが連携して、地元生産者による「地場野菜の日」を桜つつみ店で開催しました。地場野菜は元々利用が高く、朝獲り野菜や生産者の顔が見えるPOPを使って紹介し、ご来店いただいた組合員にとっても好評です。



3. 地域の組合員に支持される店舗に 店舗の改装・売場変更

2015年度は、中田店（横浜市泉区）、神大寺店（横浜市神奈川区）、長井店（横須賀市）、愛甲店（厚木市）、白幡店（横浜市神奈川区）を改装しました。また、小型店では、職員・パート職員による売場変更を国府津店（小田原市）、小山台店（横浜市栄区）、本郷店（横浜市栄区）、大久保店（横浜市港南区）、門沢橋店（海老名市）、高森店（伊勢原市）、若葉台店（横浜市旭区）の7店舗で行いました。少量や適量・個食の商品、簡単便利な商品、スイーツなどの品ぞろえを見直し、それぞれの店舗が地域の組合員のくらしに合った売場づくりを進めました。

【事例1】神大寺店（中型店）

1991年以来初めてとなる大規模な改装を行いました。2階にあった酒・雑貨を1階へ移動し、階段を上がりずお買い物できるようになりました。



地域の方と一緒にテープカット



オープン初日の混雑する店内

3人家族ですが、好きな総菜を好きな量だけ買うことができ、メニューも増えてバラエティ豊かになりました。

あべさん

組合員の声

組合員さんから「売場きれいになったね」と声を掛けていただけようになりました。総菜職員一同、必死になって生産し、商品を陳列しています。

神大寺店 総菜部門パート職員 村田 栄治

【事例2】中田店（中型店）

店内の冷凍・冷蔵施設や陳列棚などを入れ替え、ミニ総菜コーナー・休憩スペースを新設しました。

ミニ総菜は、たくさんの組合員に喜ばれ利用していただいています。手軽に利用できる総菜が必要とされていると改めて感じました。

中田店 デイリー・ドライチーフ 小山 美加

揚げ物をする機会が減っていたので、お店に揚げ物があると便利。おそばを食べる時に中田店で買ったかき揚げをプラスして食べたらおいしかった。

組合員の声



ミニ総菜コーナーを新設

【事例3】白幡店（小型店）



明るくなった店内の様子

「店内がとても明るくなった」
「商品が増えてよかった」

組合員の声

【事例4】小型店の売場変更

職員・パート職員による売場変更をしています。写真は小山台店での作業の様子。



入口から野菜、果物、陳列棚と並んで置かれるようになり買い物がしやすくなりました。

がんばれ本郷店さん

組合員の声

お店が明るくなり、少量パック・簡単便利品など商品が増え、買い物が楽しいと組合員さんに喜んで頂いています。

小山台店 店長 重野 良子



4. コープ商品を知っていただくために ラブコープ・キャンペーン

「より多くの組合員、地域の人たちにコープ商品を知っていただきたい」という思いから、2014年度からラブコープ・キャンペーンと題してコープ商品のおすすめに取り組んでいます。その一環として、全国の生協でコープ商品のおすすめ競争を行い、季節ごとのおすすめ競争で、ユークープの複数の店舗が店舗の大きさ別ベスト10に入りました。

「試食があって味がわかったのが良かった」
「今週のラブコープはこれなのね。おすすめ上手ね」

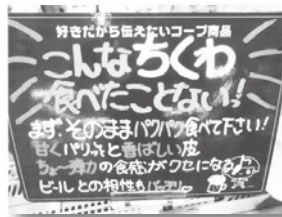
組合員の声

商品の良さを伝える手書きのPOPやサウンドPOPで、コープ商品のおいしさやこだわりをより多くの組合員に伝えています。

ミアクチーナ秦野曾屋店 リーダーパート職員 横田 理恵



ミアクチーナ秦野曾屋店（秦野市）のラブコープ商品売場

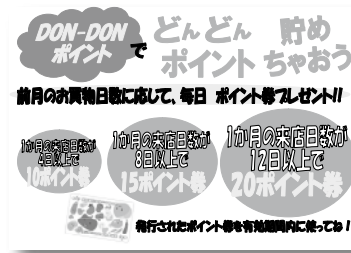


ハーモス深谷（横浜市戸塚区）の手書きPOP

5. より喜んでいただけるように 店舗のプロモーション

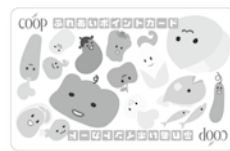
DON-DONポイント

毎月5日以降、ふれあいポイントカードを提示してお買物をするたびに発券対象者の前月の来店日数に応じたクーポンをお渡ししています。2015年度は17店舗で実施しました。2016年度は実施店舗を広げていきます。



店舗「5のつく日」割引制度が充実

店舗では割引対象の組合員が手続きをすると、毎月「5のつく日」（5・15・25日）にお買い物総額から5%引きするサービスを行っています。4月からさらに利用しやすくなりました。



①「シニア割」が利用しやすく 2015年4月2日～
ポイントカードとパスを両方持つのは大変という声から、ふれあいポイントカードだけ提示すれば5%引きに。60歳以上の組合員ご本人が対象です。

②「シニア割お買物代行登録制度」2015年3月15日～
シニア割登録をされた方のうち、ご本人のご来店が困難な場合に、代行者がシニア割引を利用できる制度です。ご本人のふれあいポイントカードを使用して、登録された代行者がお買物いただけるようになりました。

③「ほほえみ割」スタート 2015年7月5日～
障がい者手帳をお持ちの方への5%引きサービスを新設。

④マタニティからも「子育て割」 2015年7月5日～
小学校6年生までのお子さんがある組合員家庭が対象でしたが、妊娠中の方がいるご家庭も対象になりました。

シニアパスとふれあいポイントカードが一緒になってよかった。忘れることが多かったので。

拡大担当者訪問時にお聴きした声

組合員の声

食べ盛り家族応援団

「お肉・お魚よりどり2パックで880円（各1パック480円）（税別）」など、たくさん買うとお買い得というセール企画をはじめました。



6. 「4店舗の閉店決定」と閉店提起店舗の取り組み

2015年度閉店提起店舗10店舗のうち、6店舗は営業継続、4店舗が閉店となりました。ただし、営業継続6店舗のうち、4店舗が2016年度も閉店提起店舗となる見込みです。

閉店提起店舗では、組合員にご支援いただき、店舗と本部が一体となって、さまざまな取り組みをしました。

- ・4月から店舗の経営状況などを報告する取り組みを行いました。
- ・組合員とともに誕生祭や夏祭りなど、多くのイベントを開催しました。
- ・店舗くらぶ、商品おすすめ会などと協力し、コープ商品の試食おすすめ活動を行いました。

2016年2月20日 閉店
 三園平店 ⊕ (富士宮市)

2016年3月20日 閉店
 高洲店 ⊕ (藤枝市)
 衣笠店 ⊕ (横須賀市)

2017年3月20日 閉店
 ハーモス相模大野 ⊕ (相模原市南区)

⊕…大型店 ⊕…中型店



「サマーフェスタin三園平」の様子



高洲店「虹のまつり」の様子

7. 組合員の声に応じて ペットボトルキャップの回収を開始

2016年3月21日から全店舗でペットボトルキャップの回収を始めました。2013年6月に実施した「リサイクルアンケート」で、組合員や職員・パート職員から要望が最も多かった品目です。集めたペットボトルキャップは、プラスチックとしてリサイクルされます。また、売却して得た収益は、世界の子どもたちにワクチンを届ける費用として「認定NPO法人 世界の子どもたちへワクチンを 日本委員会 (JCV)」に寄付します。

以前、他のスーパーにもって行った時には、投入口が小さく1~2個ずつしか入れられなくて大変でした。ユーコープの回収BOXは投入口も広いので、まとめて入れられるので助かります。回収作業などお手間ですが、どうか続けていただきたいです。

mi o トーク投稿より

組合員の声



東戸塚駅前店 (横浜市戸塚区) にて

2016年度 取り組むこと

指針 2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革を進めます。

(5) 店舗事業は、既存店の来店者数減に歯止めをかけるとともに、経常剰余黒字店舗を増やし、コスト削減と業務の効率化で、経常剰余赤字を削減し、持続可能な事業に再構築します。

多くの方にユーコープの店舗を知っていただき、利用していただくこと、また、ご来店いただいた組合員の期待に応える品ぞろえ・売場づくりなどに取り組み、継続して利用していただける店舗にすることが課題です。

●店舗近隣に住んでいる人たちを中心に、より多くの人たちの普段の暮らし、普段の食卓を支え続けることができる、安心してご利用いただける身近なお店を実現します。

・組合員の暮らし、利用を通じての声を大切に、常に利用者の目線に立った「店舗基本6課題」を全店で徹底します。

※①鮮度・日付管理 ②品切れ防止 ③前進陳列 ④クリンリネス ⑤接遇 ⑥表示

・店舗をご利用いただいている組合員・消費者の普段の暮らし、普段の「健康」な食生活に役立つ「安心」、「選べる」、「伝わる」、「優しい」、「集える」お店・売場作りを進めます。

・店舗事業の再生、経常剰余黒字化を見据え、既存店の損益改善を進めると同時に、経常剰余黒字化店舗づくりを進めます。

2015年度 取り組んだこと

指針2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。

(6) 保障事業は、日常推進^{*}をさらにすすめ、新規加入者と保有件数を増やし、組合員利用の満足度を高めます。

^{*}キャンペーン期間のみの取り組みとせず、年間を通じ日々のお勧め活動を推進強化すること。

- ・ 共済カウンターを新たに7店舗設置し、23店舗になりました。
- ・ CO・OP共済は、サービス産業生産性協議会が行った日本版顧客満足度指数調査において、一昨年度、昨年度に引き続き3年連続で生命保険業界の顧客満足度1位となりました。

1. 気軽にご相談いただけるように 共済カウンター7店舗開設

コープの保障窓口として組合員が必要とするときに、気軽に相談いただけるよう、店舗に共済カウンターを設置しています。2015年度新たに7店舗開設し、23店舗となりました。

店舗での共済新規加入申込み数の49.5%を共済カウンター設置店舗でいただいています。

大腸の内視鏡検査でポリープを取りました。手術ではないと思っていましたが、お店の共済カウンターの人から「請求できますよ」と教えていただき、本当に助かりました。

ハーモス深谷（横浜市戸塚区） 組合員

組合員の声



ミアクチーナ柳島店（茅ヶ崎市）の共済カウンター

「昨日主人が亡くなって、CO・OP共済に入っているのだけど…」と柳島店に共済カウンターができたことを思い出して来てくださったそうです。来店時にはとても落ち込んだ様子でしたが、お帰りの時は「ありがとう、CO・OP共済に入っていてよかった。来てよかったわ」と、笑顔で帰られました。組合員に気持ち良くお帰りいただけて嬉しくなりました。

柳島店 共済担当パート職員 永野 雅美



2. コーすけ大活躍

ユニセフの全国募金活動「ハンド・イン・ハンド募金」や「桜台店40周年誕生祭」（横浜市青葉区）などのイベントに組合員とともに参加しました。コーすけの知名度も高まり「あっ！コーすけだ」と声をかけていただけます。ミアクチーナ柳島店では、「コーすけパン」の販売を開始し、週間300～400個のご利用をいただいています。10月17日・18日には、「コーすけパンまつり」を開催、「コーすけとじゃんけん大会」「みんなでコーすけダンス」などの企画を行い、たくさんのお子もたちに参加いただきました。

「コーすけパンまつり」の計6回のコーすけイベントでは、どの回もお子さんを中心に人が集まり、楽しい時間を過ごすことができました。お子さんの喜ぶ姿や、それを見て微笑む親御さんの表情を見て「イベントを開催してよかった！」と実感しました。

ミアクチーナ柳島店 店長 永田 健悟
（現 相模台店（相模原市南区） 店長）



コーすけパンまつりの様子

3. CO・OP共済がさらに加入しやすく

2015年9月発効分の契約より、さらにたくさんの組合員とご家族が加入しやすくなりました。

〈加入基準が緩和！〉

- ◆高血圧・脂肪肝の方も一定の条件を満たすことで加入できるコースが広がります。
- ◆妊娠中の方がお支払い制限なく加入できる商品が《あいぷらす》《ずっとあい》にも広がります。



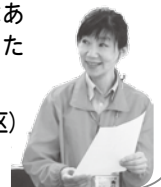
妊娠中でも加入できる保険を探していた時、行きつけのコープでパンフレットを見て知りました。共済金もすぐに下り本当に助かりました。

30代女性組合員より

組合員の声

今まで入れなかった方が、条件付きではありますが、入れる可能性ができて良かったです。

おうちCO-OP横浜北部センター（横浜市緑区）
営業部門 共済専任担当 高田 弥生



4. CO・OP共済 顧客満足度調査3年連続第1位

CO・OP共済は、サービス産業生産性協会が行った2015年度日本版顧客満足度指数調査において、一昨年度、昨年度に引き続き3年連続で生命保険業界の顧客満足度1位となりました。全国の生協が力を合わせ組合員へのお役立ちを柱に、適切な共済募集の推進と迅速・丁寧な共済金のお支払などをすすめたことにより、高い評価を受けることができました。



2015年度JCSI（日本版顧客満足度指数）
調査結果 生命保険部門

2016年度 取り組むこと

指針2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革を進めます。

- (6) 保障（共済・保険）は、日常推進をさらに進め、新規加入者と保有件数を増やし、組合員利用の満足度をより高めていきます。

CO・OP共済をお知らせする機会を広げること、保障のご相談をいただける機会を増やすことが課題です。

- 保障（共済・保険）の分野では、日常推進の定着を図り、共済新規加入者と保有件数を増やし、組合員利用の満足度をより高めていきます。
- ・組合員にいつでも安心して気軽に保障相談していただけるように、宅配では共済専任職員・パート体制を、店舗では共済カウンター設置店舗を拡充します。
- ・おさまの保障（ジュニア18コース）を重点に、コープ商品の一つとして新規加入の方へのCO・OP共済のご案内を徹底します。
- ・Web共済加入など、組合員にとって便利な加入方法の提供・告知拡大を図ります。
- ・組合員からの「ありがとうの声」に確信を持ち、そのベースとなる教育・コンプライアンスを大切にしたい取り組みを着実に進めます。

2015年度 取り組んだこと

指針2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。

(7) 福祉事業は黒字を維持しながら着実に事業エリアを拡大します。

・川崎市・横浜市・相模原市にある8カ所のコープケアサポートセンターで、行政から介護や障がい者の認定を受けた方を対象に、条例に基づくサービスを行っています。

1. 「ふれあい」と「あたたかさ」そして「笑顔」を大切にした福祉サービスを提供

誰もが地域で安心して暮らせるように、組合員と職員で学びあい、助け合ってネットワークを広げながら、健康・生きがい・生活基盤づくりを支援しています。

【事例1】

在宅で終末期ケアを受けたいとの願いに応じて（80歳代男性の事例）

サービス利用開始時は介護度が軽度（要支援）でしたが、病気により入院され、介護度が悪化し終末期ケアの対応が必要な状態となりました。在宅への復帰は難しいと思われましたが、在宅で看取りたいとご家族が希望されました。自宅に戻られるにあたり、必要なサービス利用の相談を受け、約1カ月のめまぐるしい支援が経過した後、安らかに息を引き取られました。

とても私たちだけでは自宅で看取することはできませんでした。毎日来てくださったヘルパーの皆様に変感謝しています。

組合員の声

家族の介護力の素晴らしさを体験しました。ご家族・利用者ともに在宅での終末期ケアを望まれ、ご要望通りの支援が提供できて良かったと思います。

ケアサポートセンター青葉（横浜市青葉区）
訪問介護事業管理者 高橋 ゆかり



【事例2】

コープが好きだからコープの福祉サービスを利用したいという思いを汲んで（70歳代女性の事例）

長期にわたり、コープの福祉サービスをご利用くださっている重度要介護状態のご利用者が、全身の痛みのため、デイサービスの送迎車での道中が辛いとケアマネジャーにお話しされました。ケアマネジャーはご自宅に近いデイサービスへの切り替えを提案しましたが、ご本人から「私はコープが好き」とのこと。そこで、ケアマネジャーは振動の少ない車椅子や送迎車に変更するなどして対応しました。「身体がとてもが楽になった」と喜んでいただき、引き続きコープのデイサービスをご利用いただくことができました。

今後は、ご利用者にどのようなお気持ちやご要望があるのかを事前につかんだ上で、適切な対応ができるように各サービスが連携をとり、ご利用者に喜ばれるサービス提供をしていきたいと思います。

ケアサポートセンター都筑（横浜市都筑区） 居宅介護支援管理者 酒井 信子



2. ユーコープの福祉サービス

ユーコープの福祉事業部では、川崎市・横浜市・相模原市にある8カ所のコープケアサポートセンターで約420人のスタッフが働き、行政から介護や障がい者の認定を受けた方を対象に、条例に基づくサービスを行っています。

※神奈川県限定のサービスです

① 居宅介護支援（全センター）

ケアマネジャーが、一人ひとりに寄り添った介護計画（ケアプラン）を作成し、介護サービスの利用を手配しています。

2015年度利用者数のべ12,671人

② 訪問介護（全センター）

ホームヘルパーが利用者宅を訪問し、身体介護や生活援助、外出・通院介助などを行います。また「障害福祉サービス」にも対応しています。

2015年度利用者数のべ12,127人

③ 通所介護（青葉・都筑の2センター）

コープケアサポートセンター青葉では機能訓練や入浴などの1日プログラムを、コープケアサポートセンター都筑では体操・手芸・歌などの半日プログラムを実施しています。自宅送迎があり、随時見学も可能です。

2015年度利用者数のべ1,284人

④ 福祉用具貸与・販売

介護用ベッド・車いすなどの用具貸与（レンタル）相談やあっせん、また「生協福祉用具販売カタログ」に掲載する福祉用具・介護保険対応商品の販売を行っています。一部商品はハーモス荏田（横浜市青葉区）で展示販売もしています。

2015年度貸与利用者数のべ2,393人

⑤ 資格取得のための研修事業

超高齢化が進む中、ホームヘルパーの確保が急務と考え、年2回介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）を実施しています。

資格取得者 のべ1,663人
（1996年度～2015年度）



2016年度 取り組むこと

指針2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革を進めます。

(7) 福祉事業は持続的な事業活動を支えるため、今後の環境変化に対応できる人づくりと体制づくりを進めます。

サービス提供スタッフ不足解消のために採用の取り組みの強化と、地域の医療や障がい分野も含めた諸団体との『顔が見える関係づくり』が課題です。

- 福祉事業は持続的な事業活動を支えるため、今後の環境変化に対応できる人づくりと体制づくりを進めます。
- ・ 超高齢社会などの社会情勢・環境の変化にともなう在宅福祉サービス（ご自宅へのヘルパー派遣・デイサービスのご提供・福祉用具のご案内など）の必要性に応じたサービス提供に取り組みます。
- ・ ユーコープに寄せられる要望にお応えできるサービス提供体制の確保（ヘルパー採用推進や専門性が高い有資格者の配置、専門教育の実施など）に取り組みます。
- ・ 今後見込まれる社会保障政策に対応した事業展開や介護保険制度の変更の影響を受けにくい福祉事業について研究を進めます。

2015年度 取り組んだこと

指針3. 社会的役割を發揮します。

- (1) 内外コミュニケーションを組織全体ですすめ、ユーコープファンの輪を大きく広げます。
- (2) 利用を通じて組合員の多様な参加が広がる取り組みを推進し、くらし・社会・地域でのネットワークを更に広げます。

- ・昨年度に引き続き「秋のつどい」を開催しました。ユーコープセレクションの試食をしながら交流を行いました。
- ・ラブコープ・キャンペーンの一環として「食べ知るコープ」を、各エリアで工夫を凝らして取り組みました。

1. 試食をしながら楽しく交流 「ユーコープ秋のつどい」

昨年に引き続き組合員なら誰でも参加いただける「ユーコープ秋のつどい」を3県23会場で開催しました。上期の事業報告、センター長・店長・エリアコーディネーターの事例報告、商品部職員による商品説明を実施し、10月発売のユーコープセレクションの商品を試食し、いただいた声を受け止め、事業や商品、活動などの改善にいかしていきます。



静岡藤枝市文化センター会場にて

「時期に見合った試食をいただき、利用につなげていると思いました。食べて納得の良い企画でした」

「たくさんの試食ができて大変良かった。また、バイヤーさん、店長さんの話を直接聞けて良かったです」

「他エリアの総代と交流ができて良かった。厳しい意見・率直な意見など、たくさんの意見を聴くことはとても勉強になる」

組合員の声

総代	397名
総代以外の組合員	75名
未組合員	2名
計	474名参加

2. バラエティ豊かに開催 「食べ知るコープ」

ラブコープ・キャンペーンの一環として、コープ商品をまん中に、見て・触れて・食べて・学んで交流することでファンを広げる「食べ知るコープ」が各エリアでさまざまな工夫を凝らして取り組まれました。参加された組合員の満足度も高く、初めての参加も広がりました。

2015年度 89会場 親子1,384人 (2014年度 106会場1,904人)



かながわ 横浜中1エリア会にて



しずおか 東部3エリアにて

同年代の参加者や店長・理事たちと楽しく談笑できた。「ただしゃべる」「ただ食べる」だけではなく学習もあり、意見交換をしながら食べられ、とても良い雰囲気だった。ぜひまた参加したい。

組合員の声

3. 楽しい使い方をお知らせ 「おうちCO-OPのつどい」

おうちCO-OPをもっと便利に楽しく使ってほしい、ユーコープファンを広げる企画「おうちCO-OPのつどい」が宅配センターとエリア会の協力で開催されました。ポイントの貯め方や使い方、インターネット注文eふれんずの利用の仕方などをセンター長が説明し、センター長も組合員から意見や要望を直接聞き受け止めることができました。エリア会ではおうちCO-OPで扱っている商品の試食を準備して、参加者に商品の良さを伝えました。

2015年度15センターと連携325人参加
(2014年度22センターと連携397人参加)

センター長とマネージャーが質問に交互に答えるという場は貴重でした。初めての商品は注文に迷うが、今回の様に試食があり商品説明もあるとありがたい。

組合員の声



かながわ 横浜北2エリア会にて

4. 「店舗くらぶ」の取り組み

「店舗を応援したい、支えたい」という思いを実現するために、組合員自身が自主的に店舗と連携を図りながら活動する制度が2015年度からはじまり、37店舗で取り組みました。



緑ヶ丘店（掛川市）にて 店内で商品を試食・おすすめ



5. 多くの組合員で盛り上げた「茶美豚大試食会」^{チャーミーポーク}「年末美味予約試食会」

開発から17年目を迎えたコープの産地指定茶美豚、クリスマスや年末年始には欠かすことのできないコープの美味予約。これらの試食会を店舗くらぶやユーコープふれんずなどの組合員が中心となって開催しました。組合員が提供する試食やレシピが喜ばれ、多くの利用につながりました。エリア会でも商品学習会としてつどいや店頭でお知らせしました。

茶美豚大試食会 127会場で開催 10,420人の組合員が試食

冷めてもおいしい、やわらかい、クセがない、改めて学習して、試食してやっぱり茶美豚はおいしいと再確認しました。

組合員の声



茶美豚試食会 大谷店（海老名市）にて

6. 職場体験の取り組み

①中学生職場体験

地域の中学と連携した取り組みとして、本部で中学2年生の生徒4名が職場体験をしました。組合員と進める商品開発をテーマにグループインタビューや会議への参加、商品開発提案などを体験しました。

体験後、コープの店に行ってみました。たくさんのコープ商品が並んでいて、みなさんが意見を出し合って完成したのだと感じました。

参加者感想

組合員の声



会議に臨む姿は真剣です

②キッズ店長

地域の子どもにユーコープの店舗で働く体験をしてもらう「キッズ店長」。店舗も全面協力して組合員とのつながりを深めています。

2015年度 17店舗
(2014年度 9店舗)

レジのお仕事が楽しかった！最初に練習した「いらっしゃいませ」と「ありがとうございました」の言葉も、ちゃんと伝えました。

参加者感想

組合員の声



ミアクチャーナ柳島店（茅ヶ崎市）にて

③おうちCO-OP子ども参観日

子どもに自分の仕事を見てもらうと25のおうちCO-OP宅配センターで「子ども参観日」を行いました。

67組の親子が参加



おうちCO-OP若草センター（南アルプス市）

「お母さんの仕事の大変さが分かりました」
「お父さんの仕事を手伝ってうれしかったです」

参加者感想

組合員の声



出発前の車の窓拭きのお手伝い

7. お気に入りCO・OP商品をお知らせ 商品おすすめ会

「わたしのお気に入りCO・OP商品」を組合員や地域の方に広くお知らせしたり、おすすめができる制度が3県でスタートしました。店舗の売場や地域のコミュニティ、まつりや催しで、組合員であれば、誰でも3人以上で開催することができます。

気になる商品だったので試食ができてうれしいと言っただき、それを購入してもらえるとやりがいがある。

組合員の声

2015年度 650会場 50,205人参加



中原店（平塚市）にて

8. 店舗を有効活用して地域の子育て支援 「子育てひろば」

「子育てひろば」に参加した組合員が、次の企画に友人を誘ったり、会場で知り合った組合員同士で次の企画に参加したりと、交流の輪が広がりました。未就学児の親子がおしゃべりしたり、情報交換をしたり、自由に過ごすことができる場としてさらに広がっています。地域の中で、一緒に子育てできる場があるとママも気持ち楽になり、自然に笑顔になります。

2015年度 13会場、1,212組
 (2014年度 16会場、親子1,015組参加)

絵本の読み聞かせは楽しく見る事ができました。
 コープの商品を試食し、どんなものなのかよくわかり、とても良かったです。

組合員の声

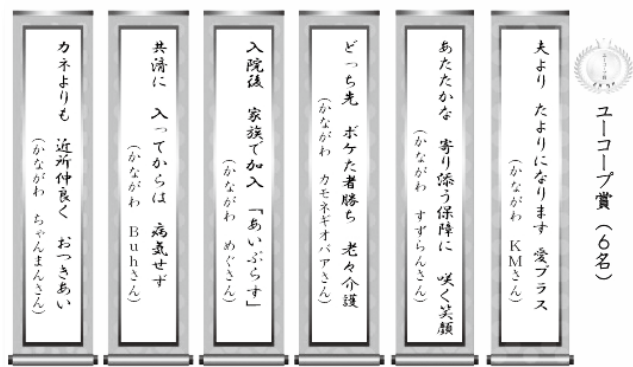


しずおかの会場にて

9. 未来のライフプランをお手伝い 「わが家のくらし見直し川柳」

ライフプランニング(LPA)活動(*)を広くお知らせし、くらしに役立つ学習会や講演会を3県で開催しました。ライフプランニング入門講座をはじめ、さまざまな世代に向けて、くらしの中でのお金に関する考え方や使い方、蓄え方などの学習会は、自分のくらしを見直すきっかけになったと好評でした。また2015年度の「わが家のくらし見直し川柳」は「家族の保障～もしもの時に家族を守ってくれるもの～」をテーマに、愛情のこもった心温まる作品が75作品も寄せられました。

※「くらしに関わるお金」について、「いくらかかるのか」「どのような準備が必要か」具体的な金額や数値に置き換えて計画することがライフプランニングです。ライフプランニング活動は組合員同士の学びあいの場やお役立ちの情報を提供する活動です。



2015くらし見直し川柳
 お題 家族の保障～もしもの時に家族を守ってくれるもの～

2016年度 取り組むこと

指針3. 社会的役割を發揮します。

- (1) 内外コミュニケーションを組織全体で進め、ユーコープファンの輪を大きく広げます。
- (2) 利用を通じて組合員の多様な参加が広がる取り組みを推進し、くらし・社会・地域でのネットワークを更に広げます。

商品を真ん中にした気軽に参加できる取り組みを広げ深めていくことが課題です。また、くらしに関わる地域の組合員活動や組合員同士、他団体との交流・連携を深め、事業や活動を通じて、地域社会への貢献につながる取り組みを進めることが課題です。

- ・「商品活動」を最重点とし、「安心してくらし地域社会を目指す活動」との二本柱のテーマで幅広い層の新たな参加と参画を促進します。
- ・「組合員のくらしをよく知り、組合員の声を生かす取り組み」を推進し、組織全体に効果的・効率的に伝わり深まるインナーコミュニケーションを進めます。
- ・組合員から組合員へ広くコープの良さ、らしさが伝わるように、産直品の試食会や毎月の商品おすすめを通じて多くの組合員が参加できる商品活動を実現します。また、組合員と産地のつながりを強めます。
- ・くらしから社会を考え、学び、発信する社会的課題への組織的な取り組みで組合員の共感を深め、参加を広げます。
- ・ユーコープで扱う商品に関わる組合員参加の場を展開し、出された声や使われ方などの知恵を事業・取引先に伝え、改善・利用につなげます

2015年度 取り組んだこと 指針3. 社会的役割を發揮します。

(3) 事業や商品、活動を通じ、環境、社会貢献、被災地支援などの課題をすすめ、共感のひろがりをつくります。

- ・「みるくぼきん」「うなぎぼきん」や緊急募金に取り組み、日本ユニセフ協会などを通して寄付をしました。
- ・東日本大震災復興支援募金や福島訪問など、被災地支援の取り組みを継続して行いました。
- ・NPT再検討会議の開催に合わせて代表派遣を行い、核兵器廃絶のアピールを訴え、派遣後のお知らせや報告を各地で取り組みました。

1. 世界の子もたちへ みるくぼきん

社会貢献の一環として、CO・OPマークの牛乳のご利用1,000mlあたり1円を日本ユニセフ協会および国連WFPの活動に寄付する「みるくぼきん」。6～8月の3カ月間、おうちCO-OP、店舗で取り組みをお知らせしました。コープ牛乳1,000mlのパッケージに写真を入れてネパールの児童労働の現状をお知らせしたり、組合員・職員・パート職員は学習をして「みるくぼきん」による国際貢献の意義を確認しました。



2015年度寄付金額	4,913,327円
2008年～2015年(8年間)累計金額	45,386,237円



2. 食べて守ろう うなぎぼきん

絶滅危惧種であるニホンウナギの「完全養殖」の研究を応援するため、うなぎ蒲焼1品のご利用につき3円を国立研究開発法人水産総合研究センターへ寄付する取り組み『食べて守ろう！うなぎぼきん』をはじめました。



2015年度寄付金額	331,917円
------------	----------

3. 台風18号の被害に対する緊急支援募金

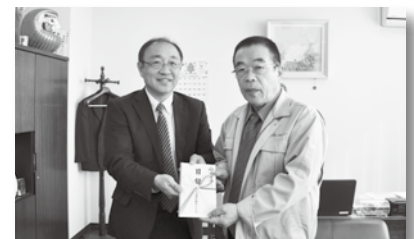
2015年9月に北関東で猛威を振った台風18号被害に対し、おうちCO-OPと店舗で9月21日から11月1日まで組合員に緊急募金を呼びかけました。

①産直産地への緊急支援募金 4団体に計2,835,383円をお渡し
商品部担当バイヤーが産地に行き、お見舞金としてお渡ししました。

生産団体名と主な商品

J A 常総ひかり	グリーン・プログラム	白菜
株式会社TKF	グリーン・プログラム	ベビーリーフ
のりす株式会社	グリーン・プログラム	小松菜
あやめ生産組合	コープの産直	さつまいも グリーン・ボックスなど

②集中豪雨災害緊急募金 3県1市に計5,935,430円を送金
日本生協連を通じて、茨城県、常総市、栃木県、宮城県に送金しました。被災者の生活再建に役立てられます。



J A 常総ひかり組合長 草間様
(写真右)に目録をお渡し

利根川の決壊箇所が管内にあり、田畑への土砂の流入や、トラクターなどの農耕機具が流されるなど被害が多く、復興にはまだまだ課題が多い現状です。

J A 常総ひかり生産者の方の声

4. 被災地支援の取り組み

①東日本大震災復興支援募金に継続して取り組みました
「被災地を忘れない、最後まで支援を続ける」という思いで「東日本大震災復興支援募金」を継続して取り組んでいます。募金は、福島訪問、岩手、宮城、福島のふれあいサロンへの物資支援、メッセージカード、福島の子ども保養プロジェクト、被災地ボランティア活動支援などに役立てられました。

2015年度募金額	7,557,455円
累計募金額	271,365,820円
(2011年3月14日～2016年3月20日の累計)	



被災地支援フリーマーケットの様子

②福島を訪問しました

福島県は原発事故の影響もあり、まだまだ復興に手が付けられていない地域があります。被災地の「忘れないで、被災地に来てほしい」との要望を受け、現地を訪ねることも被災地支援として、福島の現状を学ぼうと組合員が現地を訪ねました。震災が風化していく中、被災地の方々は現地を知ってほしいと願っています。これからも様々な形での被災地支援を進めていきます。

2015年度 7回197人が福島の被災地を訪問



コープふくしまの職員にご案内いただき、避難指示解除準備区域の南相馬市小高を歩く参加者

③ふくしまの現状を知る

コープふくしま 野中専務の講演を開催

コープふくしまの野中専務・組合員理事をお招きし、特別講演会「被災地からの道のり、現状、課題」を開催し、91人が参加しました。野中専務の講演では、震災後のコープふくしまの状況と取り組み、福島県の農産物を支える取り組みや原発事故被害の多様性について話がありました。組合員理事からは、福島での日常生活について、震災直後にご自身が悩まれたことも含めてお話いただきました。



野中専務講演会の様子

④被災地応援活動

被災地応援活動の一環として、エリア会や組合員が中心に被災地の現状を正しい情報をお知らせしながら、被災地の商品を応援販売やパネル展示などに取り組み、「被災地の現状を知ることができた」「試食もできて特産品が買えてうれしかった」などの感想が寄せられました。



相模原市との共催で被災者支援（かながわ 県央1エリア会）

5. 平和の取り組み

①NPT再検討会議に合わせて代表派遣を行い、核兵器廃絶のアピールを訴えました

NPT（核不拡散条約）再検討会議の開催に向けて、ユーコープの代表派遣者8人が4月24日から5月1日ニューヨークに行き、各地のNPT代表団への訴えかけや、周辺の学校などで被爆体験を語る被爆者のサポート、国連の「原爆展」開催の支援、平和の共同行動（行進）などの活動をしました。



現地の通訳ボランティアの皆さんも、この活動がきっかけで被爆者といっしょに運動を始めたというお話も聞きました。きっかけはいろいろあるはずですが、少しずつ広がっていることをうれしく思います。私たちは次の世代に伝えたいといけません。

代表派遣者の声

組合員の声

私たちが日本で平和なくらしができてるのは、70年前に戦争や核兵器を経験された方々の地道に平和に対する思いや行動があつてのことだとわかりました。そのことを、代表職員として職員へ伝えていく義務があると感じております。

おうちCO-OP甲府センター（甲府市）センター長 石田 耕一（職員代表派遣者）

②NPT再検討会議代表派遣後のお知らせや報告を各地で取り組みました

派遣後、7月4日に報告会を開催し、その後、各県・エリア会を中心に組合員代表者ミニ報告会や原爆展や戦争展での報告やパネル展示を行いました。また、報告集やDVDを作成し、広くお知らせしました。写真は、NPT組合員代表派遣者 長澤幸子さんの報告の様子。



③平和への想いをつないで平和行進（ピースリレー）

核兵器廃絶・被爆者支援などを求めて、市民に広く訴え平和への願いをつなげていく平和行進（ピースリレー）。2015年5月7日に東京都から神奈川県に引き継ぎ、5月19日に静岡県、5月31日に愛知県に引き継ぐ25日間、延べ712名が参加して取り組みました。また、山梨県でも7月9日～7月17日、長野から引き継ぎ東京に引き渡すまでの9日間30人の参加で取り組みました。



核兵器の廃絶、被爆者支援の平和の取り組みの具体化として平和行進（県民ピースリレー）は大変重要であり意義のある取り組みだと 생각합니다。

組合員の声

6. 「ネパール大地震緊急募金」の取り組み

4月25日ネパールで起きたマグニチュード7.9の地震は、多くの死者、建造物の倒壊など、多大な被害をもたらし、水や食料の不足、停電や通信網が遮断され、何十万人もの人々が避難生活を余儀なくされました。特に子どもたちは厳しい状況に置かれました。人道支援の観点から「ネパール大地震緊急募金」に5月13日～6月2日まで取り組みました。日本ユニセフ協会を通じて、現地の被災地支援に役立てます。

2015年度募金額 16,490,919円



目次
指針1
(1)
(2)
(3)
指針2
(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
指針3
(1)
(2)
(3)
(4)
資料編

④平和スタディツアー

平和スタディツアーとして8月6日広島、8月9日長崎の平和祈念式典に組合員の代表や公募の子どもたちが一般参加し、総代会で組合員から寄せられた折鶴をヒロシマ・ナガサキの慰霊碑に捧げました。ヒロシマに32名、ナガサキに11名のかながわ・しずおか・やまなしの組合員が参加し、平和の思いをつなげることができました。



ヒロシマの平和記念公園の原爆の子の像の前で3県の参加者が集合

広島はとても暑かったです。ぼくたちが歩いた道で70年前にたくさんの方が亡くなりました。今回ぼくは、この熱い道の上に5分間たおれる体験をしました。ぼくは少しだけ苦しみが分かった気がしました。

小学5年生 男子

組合員の声

平和を祈る大勢の人々や原爆ドームを目のあたりにし、この体験を家族や学校など一人でも多くの人々に伝えることができ、平和について考える機会が増えることを願っています。

組合員参加推進部 政策企画課長 櫻井 展子

⑤平和の募金

ユーコープは基本理念の実現をめざし「核兵器廃絶と戦争のない平和な世界をつくる」目的のもとに、平和の活動をすすめています。「平和の募金」はこの活動を組合員みんなで支え合い、広げるために目的と対象を明確にして取り組み、多くの募金が寄せられました。この募金は、「ヒロシマスタディツアー」などの平和の取り組みなどに活用されました。

2015年度募金額 3,484,613円

⑥戦争と被爆の実相を次世代へと伝える取り組み

被爆・終戦70年を迎えた今年、私たちはあらためて、「戦争を二度と繰り返さない」「1日も早い核兵器の廃絶」「世界子どもたちが平和に暮らせる社会の実現」を強く願い、戦争と被爆の実相を次世代へと伝える取り組みとして、かながわでは「被爆者と語る平和の集い」、しずおかでは、映画「ひろしま」の上映と交流、やまなしでは、「平和を願う山梨戦争展」などを開催しました。



かながわ県民センターでの「被爆・終戦70周年被爆者と語る」

被爆者のお話を直接聞くのが初めての方も多く、「とても貴重な経験だった」、「ぜひこういう場をもっと設けてほしい」という声が多く寄せられました。

組合員の声

被爆者の置かれてきた厳しい状況とコープが平和活動に取り組むことの大切さについて考える機会になったと思います。

かながわ県本部 統括マネージャー 庭野 文雄

7. フードドライブの活動に協力

2014年9月から静岡県にある「フードバンクふじのくに」へ宅配事業で廃棄対象になった食品の提供を行っています。2015年度は約200万円（2016年2月5日現在）の商品を提供しました。

また、2016年1月から、新たに島田おびりあ店（島田市）で組合員から家庭で眠っている食品を集めるフードドライブに組み込み、店舗の陳列期間が過ぎた食品も合わせて約1カ月間で56.2kgの回収量となりました。



フードバンクふじのくにへ食品をお渡し

8. 「岩手ひとめぼれ」の田んぼで田植え・稲刈り体験

「グリーン・プログラム 特別栽培米 岩手ひとめぼれ」の産地「JA岩手ふるさと」を組合員・職員が訪問し、施設の視察、産地確認会や田植え・稲刈り体験、生産者と交流を通してコープの指定産地米の理解を深めました。秋の稲刈り体験には組合員の親子6組12人が参加し、お米づくりの大変さや食べることの大切さを学びました。また、郷土料理である「はっと（すいとん）」づくりに産地のみなさんと一緒に挑戦！炊きたての新米とともに味わいました。



9. 産直産地応援「産直市」の取り組み

11月に産直・産地指定の生産者を、東戸塚駅前店（横浜市戸塚区）、ミオクチーナ富士中央店（富士市）、ちづか店（甲府市）に招き、産直市を開催しました。当日は茶美豚・はぐくみ鶏・ベビーリーフミックス・鹿児島産真鯛・岩手ひとめぼれの生産者が売場で組合員とともに商品の試食・おすすめを行い、来店者に「顔の見える産直」をアピールしました。

売場での生産者との会話を通して、来店者に産直商品の良さを知っていただき、多くの商品の利用につなげることができました。

組合員参加推進部 政策企画課担当 山田 一広

作っている人が来ていることが、安心につながる。生産者と交流できるのはコープならではの、これからも自信を持っておすすめできる。

組合員の声



10. 「飼料用米給餌の取り組み交流会」の開催

開始から8年目となるユーコープの飼料用米給餌の取り組みについて交流会を開催しました。飼料用米給餌に関わる複数の産地の関係者と組合員・職員 総勢62名が一同に会し交流することで、様々な立場での思いを共有し、あらためて取り組みの意義・目的の確認する場となりました。

食料問題、農業問題にユーコープが社会的責任として取り組んでいることは素晴らしいことだと思います。家畜に国産のお米を与えているということを私たちユーコープで働く一人ひとりが認識し、お会いできる組合員にお伝えする必要があると感じました。

おうちCO-OP静岡センター（静岡市葵区）

供給職員 金子 那津美



11. 大学生のサークル「シーラボ☆」とコラボで総菜商品を企画

ユーコープは2014年度より、食育活動の一環として健康的な食生活に役立つ総菜メニューづくりのプロジェクトを神奈川県立保健福祉大学の食育サークル「シーラボ☆」と共同で進めています。今年開発したのは4品。その中で「アーモンドと黒胡麻の焼き唐揚げ」が、「お弁当・お惣菜大賞2016」ヘルシー部門で入選しました。

ミアクチーナ湘南辻堂駅前店（藤沢市）では、「シーラボ☆」の学生4名がユーコープと共同で開発した総菜商品の試食販売も行い、商品の良さを直接組合員に伝えました。



「シーラボ☆」学生による試食販売の様子

12. レジ袋の仕様見直し実験

初めてご利用になる方や持参したお買物袋では足りなくなってしまう組合員が利用する有料のレジ袋の大きさ、価格、柄、使い勝手について、一部の店舗で販売実験とアンケートを実施しました。組合員アンケートの結果から、2016年3月21日よりレジ袋の価格を1枚5円に変更しました。

マイバックを忘れてだけで10円で購入するのは痛手でした。今回の見直し&アンケートを実施するのはとても有益と思います。

30歳代 女性

組合員の声



13. 2万7千人に交通安全のランドセルカバーを寄贈

ユーコープでは地域貢献の一環として、神奈川・静岡・山梨県内の希望する小学校へオリジナルの黄色いランドセルカバーを寄贈しています。寄贈枚数は累計で10万5,000枚を越えました。また2015年春は、新たにオリジナルデザインの横断旗も製作し、希望する小学校へ贈りました。

2015年度 寄贈枚数

ランドセルカバー 478校に27,565枚

横断旗 386校に 1,000枚



14. 地域の交通安全のために おうちCO-OP交通安全教室を開催

おうちCO-OPでは、地域の交通安全に貢献し、地域にとってなくてはならない存在となれるよう、要請いただいた幼稚園、保育園、学校などに出向き交通安全教室を行っています。2015年度は、原幼稚園（横浜市瀬谷区）・青砥どんぐり保育園（横浜市緑区）・たちばな授産所（浜松市浜北区）・玉穂幼稚園（御殿場市）・新原幼稚園（浜松市浜北区）・くすのき保育園（浜松市浜北区）・千浜幼稚園（掛川市）・春日居小学校（笛吹市）、キッズナーサリーあざみ野園（横浜市青葉区）で計9回開催し、参加者は1,015人に及びました。

チャイルドシートの衝突の実演では、子ども達が目で見て分かりやすく、チャイルドシートの大切さを知る貴重な体験となりました。

開催保育園の方の声

事故に遭わないでほしいと園児を前にして強く思いました。交通安全教室の取り組みの意義を実感しました。

おうちCO-OP浜松南センター（浜松市南区） 供給担当 鈴木 毬予



春日居小学校にて

2016年度 取り組むこと

指針 3. 社会的役割を發揮します。

(3) 事業や商品、活動を通じ、環境、地域貢献、社会貢献、被災地支援などの課題を進め、共感の広がりをつくります。

組合員が関心を持っている様々な社会的課題に対しての情報発信を強め、組合員の参加と参画の機会を広げていくことが課題です。

- ・これまで実践してきたユーコープの地域・社会貢献の取り組みを継続発展するとともに、職員・パート職員一人ひとりの意識を高め、共感の輪を広げます。
- ・環境保全を意識した持続可能な地域・社会づくりへの貢献として、組合員のくらしの中で気軽に取り組める身近な課題から理解を深め、考える機会を広げます。
- ・東日本大震災復興支援に引き続き取り組みます。
- ・事業と活動の連携を進め、ボランティア活動の広がりにつなげます。

2015年度 取り組んだこと 指針3. 社会的役割を發揮します。

- (4)くらしの「安全・安心」への組合員の期待に応えるための取組み、情報発信をすすめます。
- ・ 自宅に定期的に訪問する事業特性を生かし、おうちCO-OPとコープの夕食宅配マイシィではお届けの際に異変に気が付いた場合、公的機関に連絡することで行政による地域の見守りの取組みに協力しています。
 - ・ 組合員の親子を対象に商品検査センターでの手洗いや顕微鏡での観察などの体験を通し、ユーコープの取組みを知っていただく機会となりました。

1.” いつもと違う “に気づくのは毎週お届けに伺っているから 地域見守り活動

おうちCO-OPやコープの夕食宅配マイシィの配達時に、先週お届けした商品や前日のお弁当が残っているなど異変に気が付いた場合、おうちCO-OP宅配センターから登録していただいている緊急連絡先または公的機関に連絡しています。2016年1月6日に、神奈川県庁で「地域見守り活動の感謝状贈呈式」が行われ、「人命救助に繋がった活動」としておうちCO-OP横浜東部センター（横浜市鶴見区）と横浜北部配食センター（横浜市緑区）が、「継続的な地域見守り活動」として生活協同組合ユーコープが黒岩神奈川県知事より感謝状を受け取りました。



(写真左から) おうちCO-OP横浜東部センター長 村山貴広、理事長 當具伸一、横浜北部配食センター長 矢地伸行

担当者からの通報が、異変の発見や救命につながった件数

2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度(※)
1件	6件	5件	12件	16件

【事例】おうちCO-OP横浜東部センター

配達担当者がお届けに伺ったお宅から「体が動かないので、救急車を呼んで欲しい」と助けを呼ぶ声に気づき、消防・警察に通報しました。この方は前日の深夜に階段で転倒し、身動きが取れなくなっていたそうです。

【事例】横浜北部配食センター

夕食宅配のマイシィスタッフが、昨日の夕食が手つかずだったことから普通ではないと感じ、配食センターを通じて区の福祉保健センターに通報しました。これを受け、家の中で倒れていた組合員が救急搬送されました。

いずれのケースもすぐ病院への搬送につながり、救命されました。

2. 実感・体感 コープ食の安全探検隊！商品検査センター見学

組合員と家族など58人(大人26人、子ども32人)が神奈川県厚木市森の里にあるユーコープ商品検査センターを訪ねました。子どもたちは、微生物検査や残留放射能検査を体験したほか、食品の異変に気付くために必要な味と臭いの感度チェックや手洗い体験などを行い、ユーコープの取組みを知り、食の安全に対する興味を深めました。



臭いの検査体験。5種類の臭いをかいでどんな臭いか表現。

3. 「家庭の食事からの放射性物質摂取量調査」の実施

ユーコープは2011年度より、日本生協連と共同で家庭の食事からの「放射性物質の摂取量調査」に取り組んできました。これは「実際の食事からどのくらい放射性物質を摂取しているのか分からない」という組合員の声に応え、実際に摂取した食事と同じものをサンプルとしてご提供いただき、放射性物質を検査する取り組みです。2015年度も3県で15組の組合員が参加しました。結果については、日本生協連のホームページでお知らせしています。



ゲルマニウム半導体検出器で計測

4. 「がん」に対する啓蒙活動 第10回コープのがんセミナー開催

(株)コープライフサービスでは、がんの「早期発見・早期治療」の大切さや万が一がんになっても立ち向かっていけることを理解いただけるよう、がんセミナーを開催しています。2015年は、神奈川県立がんセンター放射線治療部長 中山優子先生と落語家 林家木久扇さんを講師に開催し、130名を超える多くの組合員の皆さんにご来場いただきました。



神奈川県立がんセンター 中山優子先生



落語家 林家木久扇さん

中山先生のお話は専門的でしたが、分かり易く大変興味を持って聞くことができました。林家木久扇師匠は最高に面白く、元気をたくさんもらいました。

吉田 洋子 さん

組合員の声

参加された組合員からも楽しく笑って元気をもらえたと、次回もぜひ参加したいと言う感想をたくさんいただきました。

(株)コープライフサービス
保険事業部長 青本 幸司

5. 新規家計簿モニター登録の取り組み

全国生計費調査モニター登録者を、おうちCO-OPのeふれんずで募集しました。その結果、今までの約4倍の183名の応募があり、このうち100名の方が登録し、幅広い世代の方が参加しました。2016年度からは、3県で受付を統一していきます。

今年も何とか1年を通じて家計簿をつけ続けることができました。毎月提出するという目標がなかったら、とっくに挫折していたと思います。家計簿をつけるということで家計の見直しが容易になったと思います。

組合員の声



家計簿モニター学習会の様子

2016年度 取り組むこと

指針 3. 社会的役割を發揮します。

(4) 暮らしの「安全・安心」への組合員の期待に応えるための取り組み、情報発信を進めます。

組合員の期待に応えるために、品質管理、コンプライアンス、震災などの緊急事態対応などに関する取り組みを継続していくことが課題です。

- ・店舗や工場、お取引先の品質管理の向上と、商品検査の継続をすすめ、安心してご利用いただける事業をすすめユーコープのファンを大きく広げます。
- ・商品政策や安全・安心を伝える取り組みを通じて、組合員の理解を深めるとともに、わかりやすい情報発信に努め、多くの共感につなげます。

1. エリアでは行政とつながって、活動を広げています

横浜北1エリアや川崎2エリアではエリアの地域包括支援センターから講師を迎え「認知症サポーター養成講座」を開催し認知症への理解を深めました。また、西湘2エリアでは各行政の消費生活展に参加しました。湘南2エリアではクイズラリーなどをし、西湘2エリアでは「循環型社会ってなあに？」のテーマでとれたてトマトくんを使った紙芝居やゴミのリサイクルの取り組みなどを紹介しました。

「認知症について理解することができた」
「クイズラリーが楽しかったです」
組合員の声



「認知症サポーター養成講座」の様子

2. まつりに参加して地域と交流しています

西湘1エリアでは「秦野市市民の日」会場内で実施された「協同組合フェスタ」で「コープのおかしのつかみどり」を行いました。川崎1エリアでは第20回川崎セツルメント診療所ふれあい健康祭りが幸区古市場第五公園で開催されました。横浜北2エリアでは青葉区、都筑区で地域のまつりが開催され毎年参加し、青葉区では肉まんを販売し、都筑区ではお菓子つりをしました。多くのエリアが地域のまつりに参加して地域の人と交流しました。

「毎年子どもがお菓子釣り楽しみにしているのよ」
「コープの肉まん、おいしいのよね～」
組合員の声



地域のまつりに出展しました

3. 新しいカレンダーなどを購入して世界の子どもたちの支援に カレンダー募金

カレンダー募金は家庭で使う予定のない新年のカレンダーや手帳を集め、必要な方にユニセフや平和の募金として買ってもらう活動です。年末年始にユーコープふれんずやエリア会の主催で神奈川県内の店舗で開催されます。お気に入りのカレンダーを探すのを楽しみにされている組合員も多く恒例行事としてにぎやかに開催されます。

2015年度 822,443円

選ぶのも楽しいし、何より不要な物を必要な人が購入しそれが募金になるのがいいですね。
組合員の声



店頭でのカレンダー募金に取り組みました

4. 被爆・終戦70年の取り組み

被爆・終戦70年を機に、核兵器のない平和な社会と被爆者支援に向けた取り組みの輪を広げ・理解を深めるために、「被爆・終戦70年被爆者と語る平和のつどい」を開催しました。講演では、日本被団協事務局次長の藤森俊希さんより「被爆者と被爆者の運動の70年を振り返って」をテーマに話していただき、後半はグループに分かれて、神奈川県原爆被災者の会の皆さんから被爆体験や苦労された経験をお話いただき懇談しました。

また、被爆70年、結成50年を記念する「神奈川県原爆被災者の会」の記念式典・講演会が開催され、当日、ユーコープのこれまでの核兵器廃絶、被爆者支援の活動に対し、神奈川県原爆被災者の会より感謝状が授与されました。

「こういう場をもっと設けてほしい」
「とても貴重な経験だった」
組合員の声



感謝状贈呈の様子

5. 16エリアで活動を開始しました

2015年9月21日より41エリアから16エリアに変更となりました。経営状況と3県の体制のバランス、この間のエリア会活動の到達点をふまえての変更ですが、これからも組合員・地域の方々とユーコープをつなぎ、さまざまな参加の場づくりをする推進をしていきます。

6. 「みどりのがっこう」～かながわの自然を知ろう！歩こう！

地域の自然や生き物の話をインストラクターに解説していただきながら、身近な自然環境のことを考える「きっかけづくり」を中心に取り組む・・・それが「みどりのがっこう」です。

神奈川県内の貴重な緑地などの保全活動を展開している（公財）かながわトラストみどり財団と1998年から共同で開催しています。（参加費500円は「かながわトラストみどり基金」へ寄付させていただきます）



「夏の林」(大和市)で親子の昆虫と緑地体験中

7. 今年も響きました 福島の子どもたちの元気な声

福島の子どもたちが「神奈川の自然の中でのびのびと遊べる機会と安心して過ごせる環境」を提供し、子どもたちの心のケアと明日への活力を育むことを目的として、福島県生協連と連携して、神奈川県生協連、神奈川県ユニセフ協会他の団体とともに今年も「福島の子ども保養プロジェクト」を開催しました。



柴漁港（横浜市金沢区）でうなぎやあなごにさわる体験

8. 復興支援「震災を忘れないこと」「最後まで支援を続けること」

福島の食の安全・安心への意識の増進と復興支援に対する意識向上を図ることを目的に、相模原市・ユーコープの共同講演会を開催しました。会津中央乳業の二瓶孝也氏より福島県の厳しい実態が話され、続いて「あづま果樹園」の吾妻一夫氏から海外の観光客誘致に活路を見出した講演が行われました。またエリアコーディネーター内田真由美さんによる現地の訪問報告を行い、被災地支援のための物品販売とパネル展示が行われました。

「継続した取り組みを行っているのがよく分かった」

「被災地の現状を知ることができた」

組合員の声



報告の様子

9. 安心して暮らせる地域づくりをめざして「くらしたすけあい活動 ちょボラ」

病院への付き添いやごみ出し、水やり、産後の家事支援など地域に住む誰もが利用でき、誰もが活動に参加できる有償ボランティア活動が「ちょボラ」です。介護保険制度改定に伴い、ますます「おたがいさま」を基本にしたちょっとした支援が必要とされる中、住みよい地域づくりに貢献する「くらしたすけあい活動」です。



「ちょボラ」のつきそい活動

1. エリア会スタートの会

2015年度のスタートにあたり、エリアを中心とした活動の広がりを目的に県内3会場で開催し、2015年度「組合員の参加方針」の共有、事業と活動の連携を中心に交流を図りました。

店長、センター長と同席できたことで、情報交換や話し合いもでき、とても有意義な交流会だったと思います。

エリアコーディネーター



西部地区 ミオクチーナ袋井町店(袋井市)での様子

2. おうちCO-OP大試食会 in 下田

伊豆センターと東部1エリアが、バイステージ下田で共同開催しました。組合員と未組合員に、ユーコープセクションを中心としたコープ商品を紹介し、おうちCO-OPを知ってもらう良い機会になりました。エリアコーディネーターが来場の声かけを積極的に行い、コープの加入にもつながりました。

実績	参加者	125名(内組合員59名)
	おうちCO-OP新規利用登録	12名
	コープ共済加入	5名

当日の運営などエリアコーディネーターの皆さんに協力いただき大成功でした。感謝です！

おうちCO-OP伊豆センター(伊豆市)センター長 井上 崇



新規加入12名・共済加入5名の成果にも貢献しました

3. エリアと行政がコラボ バスで行く！^{げんぼくまいたけ} 原木舞茸の地 ささま地区の魅力探訪

島田市公共施設見学事業とコラボ！6年前まで児童が通っていた笹間小学校を改築した「山村都市交流センターささま」に行きました。現地では地元農家のご協力で、県内唯一の原木舞茸の試食や地場製品の試食、椎茸のもぎとり体験などを楽しみました。改めて地域の魅力に触れ、その普及にもつながる企画となりました。

この地区で説明を聞かなければわからない事ばかりで、ここで話を聞き活動の力強さが伝わった。もう一度来たい場所です。

組合員の声



地元農家の方の説明を現地で

4. エリアと事業所がコラボ 夏休み親子体験企画

店舗では、「親子で学べる体験!キッズ店長」「食べ知るキッズお店たんけん」に36組77名が参加しました。おうちCO-OPでは初の親子体験企画「親子で学べる体験!おうちCO-OP親子体験」が藤枝センターで行われ、6組の親子が参加し、トラックに乗って配達作業を体験するなど、おうちCO-OPを身近に感じられる企画になりました。



藤枝センター(藤枝市)での
おうちCO-OP親子体験の様子

トラックに乗るのも初めてだったので親の方が楽しみにしていました。運転や周辺にすごく気を使われていてとても勉強になりました。

組合員の声

安全運転の取り組みを実際に見ていただき、理解が深まったことが、とても良かったと思います。

おうちCO-OP藤枝センター センター長 小原 徹治

5. 組合員が楽しめるまつりを店舗と一緒に開催

「サマーフェスタin三園平（富士宮市）」「虹のまつりだ！！ワッショイ♪♪in高洲店（藤枝市）」を開催しました。学びあい・つたえあい講師のミニ体験ブースや葬祭・共済ブース、店舗くらぶの試食、ユーコープふれんずの発表会、クッキング体験など盛りだくさんの内容で、店舗を賑やかに盛り上げました。普段お店を利用されていない方も多く来店され、様々な体験を楽しんでいただきました。



サマーフェスタin三園平店での
おにぎらずクッキング体験

6. 生産者と交流「コープで体験・学ぶ会」

「4月：袋井茶農家の会」「6月：三方原開拓農協じゃがいも」「8月：中村果実グループぶどう」「11月：静岡有機みかんの会レモン・浜松都田高部農場のみかん」「1月：富士宮渡辺農園の長ねぎ」と各地で収穫体験が行われ、「生産者へのメッセージ」など、生産者の皆さんと組合員との交流も行いました。

今までじゃがいもを食べ
てくれなかった娘が、三
方原のじゃがいもは、も
りもり食べてくれるよう
になりました。

組合員の声



袋井茶農家の会
新茶手摘み手もみ体験の様子

7. 静岡大学との連携講座

2009年度より始まり7年目を迎える静岡大学との連携講座が開催されました。今回は「世界文化遺産登録（韮山反射炉）」「伊豆半島ジオパーク認定」に因み、伊豆に関連するテーマで3回連続で開催しました。昨年の2倍の95名の参加があり、大変好評でした。



三島会場の様子

8. 被爆・終戦70年「被爆・戦争体験を語り継ぐ」

～映画「ひろしま」上映と交流のつどい～

前半は、1953年に製作され被爆地ヒロシマを忠実に再現した映画「ひろしま」を上映し、後半は「交流のつどい」とし、静岡県原水爆被害者の会・川本司郎さんがご自身の被爆体験と核兵器廃絶の運動への思いを語られました。NPT再検討会議に組合員代表として参加した斉藤美枝子さん、ヒロシマ・ナガサキ平和の旅参加者、春休み親子広島の旅参加者からの報告がありました。

重い映画でしたが原爆の
悲惨さに背筋が寒くなり
胸が痛みました。思いが
けず被爆者の体験談を伺
うことができ有難かった
です。

組合員の声



春休み親子広島の旅
参加者報告の様子

9. 地域との共同で消費者の権利を守る活動

「ハンガー・フリー・ワールド」「赤い羽根共同基金」「難病連への支援」に、継続して取り組みました。多くの組合員よりご支援をいただきました。

実績	ハンガー・フリー・ワールド	5,099,800円
	赤い羽根共同基金	69,486円（12月1日～12月31日）
	難病連	293,887円（2016年3月）

エリアの活動が始まりました

1. 国中、郡内の2エリアで活動がはじまりました

県内2エリアに各3名配置されたエリアコーディネーターが活動を開始し、年間を通じて様々なエリア活動が行われました。国中エリアでは、「オリジナルおにぎらずをつくろう」に親子で参加した子どもたちが積極的に取り組んでいました。郡内エリアでは、「ぼくもわたしもシェフ気分！自分でできた！コープの人気商品を使って夏休みのマイランチ」で、火を使わない簡単に作れる親子料理教室を開催しました。また、ちづか店生協まつりでも、商品のおすすめを行いました。



子どもがあれもこれもやりたい！となったが、みんなが必ずやらせてもらったので、良かったです。

参加組合員

組合員の声

2. 山梨県内の小学校放課後児童クラブで食育学習を3カ所行いました

夏休みの放課後児童クラブで、エリアコーディネーターが中心となって、食育活動を行いました。紙芝居や食育カルタを使用し、食べるバランスを学んでもらいました。また、「働くことって何？」というテーマで宅配センターと連携し、宅配職員が配送に使う箱を見せ、触れてもらい話をした児童クラブもありました。



2015年度実績 3カ所合計で92名 (2014年度実績 2カ所52名)

「地域諸団体及び行政とのつながりづくり」を国中エリアとして実践できました。エリア内の社会貢献活動や、商品や暮らしに関わる参加の場を広げられたことが大きな成果です。

エリアコーディネーター 石坂 さとみ

児童で食育やおうちCO-OPのことについて職員が説明する、初めての試みでした。生協に初めて触れる子どもたちも多かったです。

おうちCO-OP甲府センター(甲府市) 営業担当 市川 健治

3. 山梨県主催の県民の日フェスティバルに出展しました

11月に行われた山梨県主催「県民の日記念行事」環境広場へ出店し、ペットボトルの空気砲づくりや、液体洗剤セフターのクイズを行い、楽しみながら環境について考えるきっかけづくりになりました。また、ユーコープセレクション「熟成あらびきポークウインナー」の試食を行い、たくさんの方に商品のお知らせをしました。



2015年度ブース来場者数 2日間計1,240名 (2014年度実績 1,200名)

4. 甲府市リサイクルフェアに出展しました

お子さんも参加しやすい「参加型クイズ」やグリーン・プログラム商品の試食を通して、ユーコープの環境の取り組みを来場者に紹介しました。

2015年度参加者環境クイズ	296名
商品の声を集める取り組み	167名
合計	463名
(2014年度実績)	542名)

おいしさ、コープの良さを未加入の方にも伝え広げる取り組みとなりました。

エリアコーディネーター 藤本 さおり



5. ファミリーサポートセンターと共同企画を行いました

都留市ファミリーサポートセンターの3世代交流企画の中で、十五夜お月見団子にちなんで「親子で作ろう！お団子ころころ」の企画を行いました。

季節感を大切に、家族で昔ながらのお団子づくりにチャレンジしました。

手づくりをする機会は少なくなっていたので良い機会になりました

参加組合員

組合員の声



県内行政・諸団体との取り組みを進めました

1. NPO法人やまなし消費者支援ネット設立

山梨県弁護士会、山梨県司法書士会、山梨県消団連、山梨県生協連の4団体を中心に設立準備をすすめていたNPO法人「やまなし消費者支援ネット」が、2015年4月に設立総会を開催し、その後行政の認可を受け、正式に設立しました。ユーコープでも、消団連や山梨県生協連を通して協力しています。



2. 山梨県弁護士会主催の憲法シンポジウム・パレードに参加を呼びかけました

山梨県弁護士会主催で行われた憲法シンポジウム(講師：小林節慶応大学名誉教授)への参加を山梨県生協連とともに呼びかけました。

また、6月と9月に同会主催で、集团的自衛権・自衛隊海外派遣に反対して開催された、甲府駅での市民集会と駅周辺パレードにも参加を呼びかけました。



3. やまなし食の安全・食育推進大会に参加しました

山梨県主催「平成27年度やまなし食の安全・食育推進大会」に参加し、ユーコープの食育の取り組みについて、パネル展示と報告を行いました。展示パネルは、大会後に県内別会場(県民プラザ)で1週間ほど展示されました。

4. 山梨県生協大会が開催されました

戦後70年となる今年度は、人形劇団プークを招き、「命の尊さ」をテーマにした公演を行いました。親子連れが多く来場し、子育て世代にも生協の取り組みを紹介する機会となりました。

2015年度参加者実績
全体合計で273名
(2014年度実績150名)

「劇団プークさんの命を大切にする演劇は本当に心が温かくなります」
「今回のように子どもを連れて行ける大会だととても嬉しいです」

参加組合員

組合員の声



2015年度 数値でみる 私たちの取り組んだこと (2015年3月21日～2016年3月20日)

～ひろげよう! 暮らし・社会・地域のネットワーク～

■商品・食育活動 (食べものの安全・安心)

企画 NO	企画名	ユーコープ計		かながわ県		しずおか県		やまなし県	
		開催数 (期間)	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数
1	食べ知るコープ	89	1,384	40	516	45	792	4	76
2	おうちCO-OPのつどい	15	359	9	145	6	214	-	-
3	茶美豚大試食会	127	10,421	108	9,572	11	651	8	198
4	年末予約商品学習会	25	899	10	339	11	335	4	225
5	ブランド体験セット学習会	43	562	21	313	13	117	9	132
6	今月のラブコープ商品トーク 学習会	12	89	12	65	12	12	12	12
7	声を生かすアンケート	年間	12,804	-	6,911	-	5,011	-	882
8	コープで体験・学ぶ会	10	352	2	88	7	217	2	47
9	コープの田んぼをつくろう	2	18	2	8	2	7	2	3
10	工場見学会	37	975	30	818	4	85	3	72
11	メーカー講習会	58	1,095	38	744	15	278	5	73
12	産直市	3	27	1	10	1	11	1	6
13	実感・体感・コープの食の安 全探検隊	3	58	2	46	1	12	1	0
14	商品おすすめ会	650	50,205	638	47,955	12	2,250	-	-

■福祉・子育て支援活動

	企画名	ユーコープ計		かながわ県		しずおか県		やまなし県	
		開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数
15	キッズ店長	17	382	13	313	3	66	1	3
16	保育活動企画数&保育を受けた人数	414	1,339	268	706	128	602	18	31

■環境活動

	企画名	ユーコープ計		かながわ県		しずおか県		やまなし県	
		開催数 (期間)	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数
17	放射性物質摂取量調査	1	15	1	5	1	5	1	5
18	グリーンカーテンコンテスト	8月～9月	24	-	17	-	4	-	3

■平和活動・ユニセフ支援活動

	企画名	ユーコープ計		かながわ県		しずおか県		やまなし県	
		開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数	開催数 (期間)	参加人数
19	ピースリレー・平和行進 (8,486名)	34日間	742	5/7～ 5/19	578	5/19～ 5/31	134	7/8～ 7/16	30
20	ヒロシマ・ナガサキ平和スタ ディーツアー、ヒロシマ・ナガサ キ平和の旅 (8/4～8/7・8/7 ～8/9)	-	45	3日間	19	3日間	20	2日間	6
21	3・1ピキニデー	3/1	33	-	1	-	30	-	2
22	NPT再検討会議代表派遣数	4/25～ 5/1	8	4/24～ 5/1	4	4/24～ 5/1	1	4/24～ 5/1	3
23	NPT再検討会議報告会	13	437	7	285	2	77	4	75
24	平和学習会・報告会、平和のつどい	20	932	13	483	3	356	4	93

■くらしの力活動

	企画名	ユーコープ計		かながわ県		しずおか県		やまなし県	
		開催数 (期間)	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数
25	家計簿モニター	-	702	-	649	-	46	-	7
26	家計簿提出者(のべ人数)	12	7,524	12	7,002	12	438	12	84
27	くらしの見直し川柳募集	9月~10月	73	-	42	-	27	-	4

■学びあい・つたえあい活動

	企画名	ユーコープ計		かながわ県		しずおか県		やまなし県	
		開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数
28	講師登録数	-	142	-	55	-	72	-	15
29	講座開催数&参加人数	217	3,060	125	2,288	76	614	16	158

■募金活動

	企画名	ユーコープ計		かながわ県		しずおか県		やまなし県	
		期間	参加人数 (募金金額)	開催日 (期間)	参加人数 (募金金額)	開催日 (期間)	参加人数 (募金金額)	開催日 (期間)	参加人数 (募金金額)
30	ユニセフハンド・イン・ハンド	-	168 174,055	12/20	116 106,730	12/19	31 55,495	12/5	21 11,830
31	平和の募金	6月~8月	3,484,613	6月~8月	2,335,144	6月~8月	698,542	6月~8月	450,927
32	東日本大震災復興支援募金	年間	7,557,455						
33	ユニセフ「児童労働と闘う ネパール指定募金」	年間	9,849,808						
34	ユニセフ一般募金	年間	862,494						
35	みるくぼきん	6月~8月	4,913,327						
36	うなぎぼきん	7月	331,917						
37	コープ洗剤募金で石巻グリーン ングロープの会への募金	4月~10月	267,714						
38	ネパール大地震緊急募金	5月~6月	16,490,919						
39	台風18号産直産地への緊急支援募金	9月~10月	2,835,383						
40	台風18号による集中豪雨災害緊急募金	9月~10月	5,935,430						

■復興支援活動(被災地・県内)、防災減災

	企画名	ユーコープ計		かながわ県		しずおか県		やまなし県	
		開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数
41	福島訪問	7	197	4	144	2	37	1	16
42	「ふれあいサロン(喫茶)」 等への銘菓などの送付	21	162	6	110	12	44	3	8
43	被災地応援カード (クリスマス・ひなまつり)	11月・1月	851	11月・1月	458	11月・1月	234	11月・1月	159
44	被災地支援活動	10	359	7	329	1	13	2	17

■つながる活動・ネットワーク

	企画名	ユーコープ計		かながわ県		しずおか県		やまなし県	
		開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数
45	ユーコープふれんず(登録数・ 登録人数)	919	7,471	597	5,309	283	1,925	39	237
46	店舗くらぶ	37	402	30	359	7	43	-	-
47	エリア会スタートの会	46	950	41	768	3	125	2	57
48	行政諸団体連携企画数	156	677,540	110	677,040	19	389	27	111
49	mio発行部数(月平均)	12	531,257	12	309,733	12	192,057	12	29,467
50	ぶらすmio発行枚数(月平均)	12	531,490	12	309,733	12	192,057	18	29,700

2015年度 数値でみる 私たちの取り組んだこと (2015年3月21日～2016年3月20日)
～かながわ県で取り組んだこと～

■商品・食育活動（食の安全・安心）

企画NO	企画名	開催数	参加人数
1	食育学習会	27	793
2	商品学習会	102	3,372
3	ヤマのがっこう（秦野）	17	825
4	ヤマのがっこう（小田原）	2	60
5	伊勢原米作って食べちゃう会	4	326
6	ユーコープ職員による学習会	2	37

■子育て支援活動（応援）

	企画名	開催数	参加人数
7	子育てひろば	66	673
8	子育て支援企画	6	78

■福祉活動（くらしたすけあい活動）

	企画名	開催数 時間	参加人数
9	ちょボラ活動エリア数ボランティア コーディネーター	—	48
10	ボランティア登録数	—	329
11	ちょボラ活動延べ時間・人数	10984.5h	7,889
12	ちょボラサポーターズ	—	1,655
13	福祉活動企画・学習会	3	75

■環境活動

	企画名	開催数	参加人数
14	環境活動助成制度	—	※2団体
15	みどりのがっこう	3	91
16	田んぼの生きもの調査	1	102
17	環境展	5	98

■平和活動

	企画名	開催日 (期間)	参加人数
18	被爆・終戦70年被爆者と語る平和のつどい	12月1日	130
19	原爆と人間展	8/28～31	13,000

■くらしの力活動

	企画名	開催数	参加人数
20	くらし見直し講演会	2	62
21	LPA活動メンバー	18	89
22	LPA企画活動	7	122
23	おこづかいゲーム	2	29

■学びあい・つたえあい活動

	企画名	開催数	参加人数
24	学びあい・つたえあい講座	60	843
25	テーマ講師による講座	65	1,445

■募金活動

	企画名	期間	参加人数
26	神奈川県ユニセフ協会設立10周年 企画募金キャンペーン	9月～3月	36,800
27	ユニセフ書き損じ・未使用はがき募金	2月	28,624枚 1,223,493

■復興支援活動（被災地・県内）

	企画名	期間 開催数	参加人数
28	福島の子ども保養プロジェクト	3/26～30	36
29	被災地からの道のり、現状、課題講演会	6月20日	37
30	県内避難者支援活動	1	35
31	防災・減災活動学習会	7	190

■つながる活動

	企画名	開催数	参加人数
32	コープケーション件数	2	35

■広報活動

	企画名	開催数	参加人数
33	M I Oふれんど（個人）	12	393

※ 選考団体 ①湘南・省エネネットワーク ②湘南の森

「2020年に向けたコープの環境基本政策」をもとに、組合員の環境保全活動の視点で環境に配慮した3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みや、環境活動助成などのくらしの見直しにつながる活動を事業と連携しながら継続して取り組んでいます。

2015年度 数値でみる 私たちの取り組んだこと (2015年3月21日～2016年3月20日)
～しずおか県で取り組んだこと～

■商品・食育活動（食の安全・安心）

企画NO	企画名	開催数	参加人数
1	おしゃべりひろば	291	1,891

■子育て支援活動（応援）

	企画名	実施	参加人数
2	子育てひろば	76	1,860

■環境活動

	企画名	開催数	参加人数
3	自然体験「親子で自然と遊ぼう」	1	32

■平和活動

	企画名	開催数	参加人数
4	被爆・終戦70年企画戦争と被爆体験を語り継ぐ映画「ひろしま」上映とへいわのつどい	—	69
5	平和の尊さを伝える会	5	220

■くらしの力活動

	企画名	開催数	参加人数
6	ライフプラン講座	2	14
7	FP入門講座・FP3級講座	19	189
8	くらしの見直し講演会	3	33

■募金活動

	企画名	期間	募金金額
9	ハンガーフリーワールド（飢餓救済）	4・5月	2,098,732
10	難病支援募金	3月	293,887
11	赤い羽根共同募金	12月	69,486

■復興支援活動（被災地・県内）

	企画名	実施	参加人数 (募金金額)
12	ハンガーフリーワールド（復興支援）	4・5月	3,058 2,098,732
13	被災地からの道のり、現状、課題講演会	8月1日	59
14	防災減災活動	1	16

■つながる活動

	企画名	開催数	参加人数
15	まつり、諸団体連携	5	2,822
16	エリア企画	108	3,880
17	静岡大学連携公開講座	7	55

■広報活動

	企画名	発行回数	発行部数
18	こーびふぁん（発行数・登録者数）	6	2,140

～やまなし県で取り組んだこと～

■商品・食育活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
1	学校関係から依頼の食育学習	5	190

■環境活動

	企画名	開催数	参加人数
2	楡形山森づくり活動	4	25
3	森づくりサポーター数	—	11
4	環境展（行政や諸団体との連携）	2	1,663

■福祉活動

	企画名	開催数	参加人数
5	買い物支援サポーターおつかいありさん活動数とのべ活動参加人数	45	114
6	買い物支援サポーターおつかいありさん利用者数	45	339

■募金活動

	企画名	実施	実績・募金金額
7	ユニセフ書き損じ・未使用はがき募金	2月	1,791枚 76,712円
8	ユニセフ外国コイン募金	1月	約2.3kg
9	使用済み切手の回収	1月	約12kg

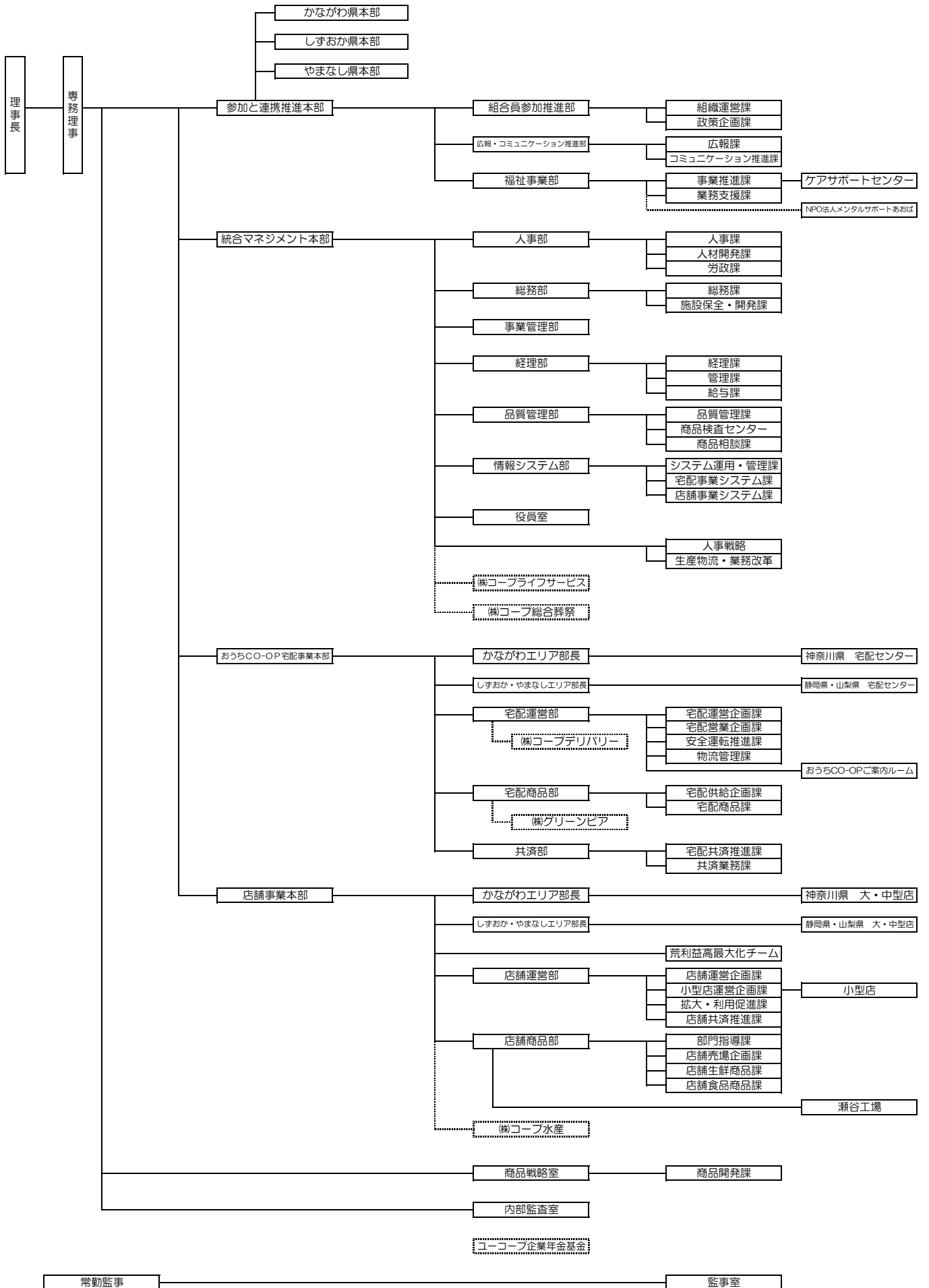
■つながる活動

	企画名	開催数	参加人数
10	ユーコープふれんずオープン企画	38	469
11	ユーコープふれんずサポーター企画	3	38
12	コミュニケーション推進サポーター レポート	7	—

資料編

2016 年度 経営組織図
2016 年度 おうちCO-OP 宅配事業本部事業計画
2016 年度 店舗事業本部事業計画
2016 年度 参加と連携推進本部事業計画
2016 年度 統合マネジメント本部事業計画
2015 年度 事業結果（事業所別・直接剰余実績・経常剰余実績）
2015 年度 監事会活動のまとめ
2015 年度 品質管理の取り組み
市区町村別組合員数
2015 年度 選挙区別選出総代定数
店舗地図
声明や意見書等

生活協同組合ユーコープ 2016年度組織図(2016年3月21日～)



目次

指針 1

(1)

(2)

(3)

指針 2

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

指針 3

(1)

(2)

(3)

(4)

資料編

2016年度 おうちCO-OP 宅配事業本部事業計画

【指針 1】 組合員の声に基づいた利用しやすさの改善と新規利用組合員の利用定着で純増数の上昇軌道をつくります。

【施策 1】 効果的な拡大情報取得と新たな拡大チャネルの確立により、単増数の伸長を図ります。

【施策 2】 初回おまかせ定期便登録の促進や丁寧な利用フォローにより、永く利用していただける業務プロセスを構築します。

【施策 3】 利用しやすさの改善と価格プロモーションの見直しにより、継続的に利用いただける事業をめざします。

【指針 2】 おうちCO-OPならではの価値ある商品を組合員とともに育て広めます。

【施策 1】 ユーコープセクション商品の学習と普及を中心に、おうちCO-OPのファンになっていただく取り組みを進めます。

【施策 2】 「デリカシフト」「シニアシフト」の推進と青果の品質改善で、利用しやすい商品提供をめざします。

【施策 3】 eふれんずの新規利用促進と個人別プロモーションにより、一人ひとりの利便性の向上を図ります。

【施策 4】 マイシシの事業構造強化と安定経営に向けたチャレンジを行います。

【指針 3】 業務の効率化と生産性の向上で宅配事業の収益性を高めます。

【施策 1】 品ぞろえと誌面の最適化で、収益性の高いMDづくりを行います。

【施策 2】 商品品質向上と物流最適化を進め、物流コストの削減を図ります。

【施策 3】 配送効率の改善とオペレーション標準化、リサイクルセンターの稼働により、事業経費率の抑制を図ります。

【指針 4】 日常推進をさらに進め、組合員の暮らしに役立つ共済推進に取り組みます。

【施策 1】 センター長がリードし、共済の日常コミュニケーションが図れている状態を確立し、組合員利用の満足度をより高めます。

【施策 2】 セット提案スキルを習得し、共済専任職員・パート職員ピッチの引き上げを図ります。

【施策 3】 共済情報の見える化により、専任アポイント訪問数の引き上げを図ります。

【指針 5】 組合員の声に事業で応える人と組織をつくります。

【施策 1】 安全運転行動の徹底と見せる運転を実現し、おうちCO-OPブランド意識を高めます。

【施策 2】 管理者教育の推進と自主性を重視したマネジメントにより、現場への権限委譲を進めます。

【施策 3】 組合員の声に事業で応えるプロセスを体系化し、組合員に喜ばれ、仕事のやりがいに繋がる組織風土をめざします。

【施策 4】 宅配事業のさらなる成長性確保に向けた未来開発を進めます。

2016年度 店舗事業本部事業計画

【指針 1】 店舗近隣一次商圈の組合員拡大による利用組合員増及び、普段の暮らしに役立つ売場づくり、品ぞろえを強化し、来店回数を増加させます。

【施策 1】 店舗一次商圈中心とした組合員拡大及び、非組合員、宅配利用組合員への呼びかけを強化し、店舗利用組合員数を引き上げます。

【施策 2】 組合員の暮らしの変化を踏まえ、鮮度管理の徹底を前提に、生鮮・総菜の強化、簡単便利、即食商品の品ぞろえ、少量規格の強化を図ります。

【施策 3】 利用継続して頂くため、効率の良いプロモーションへの見直しを図り、来店回数の引き上げを図ります。

【施策 4】 機能別活動、各種予約の取り組みを強化し、店舗の営業力強化を図ると同時に、高頻度・高額利用者の確保を進めます。

【施策 5】 共済の日常推進体制を強化し、組合員へのお知らせの強化を図り、暮らしの安心に貢献します。

【指針 2】 持続可能な店舗事業にむけた収益性の改善を進めます。

【施策 1】 「荒利益高最大化チーム」の取り組みを通じ、本部各部局との横串強化及び、店舗と一体となったロス削減の取り組みを強化し、店舗荒利益率の改善を図ります。

【施策 2】 店舗事業に関わるすべての分野での事業経費のコスト削減を進めます。

【施策 3】 店舗が持続可能な状況を作り上げるため、投資回収の出来る設備更新・改装を行います。

【施策 4】 店内作業の合理化と管理者の役割責任を見直し、生産性向上に向けた新管理責任者体制の構築を進めます。

【指針 3】 店舗事業を支える職員の育成を強化し、年度事業計画を達成させられる仕事スタイルと組織風土を作り上げます。

【施策 1】 全店、全部局が、掲げた計画に対し、必ず達成させるための進捗管理が日常的にできる状態を目指します。

【施策 2】 自らの意志で利用する組合員の声に耳を傾け、それを店舗事業全体で受け止め利用される組合員がそのことを実感できる状況を作り上げます。

【施策 3】 店舗での素晴らしい事例を積極的に引きだし、一つの事例を全員が「素直に学び、上手に真似る」組織運営を行います。

【施策 4】 各部門の作業習熟レベルを引き上げ及び、作業マニュアルの運用徹底により、部門生産性の向上を図ります。

【指針 4】 利用される組合員が安心してご利用いただけるために、品質管理の強化、コンプライアンス遵守を徹底します。

【施策 1】 全店での「店舗基本6課題^{*}」のさらなるレベル向上を図ります。

【施策 2】 作業マニュアル及び、基本対応方針は踏まえた上で、利用する組合員の立場、視点に基づいた適切な判断・行動ができる職員、パート職員の育成を図ります。

【施策 3】 利用する組合員が安心して快適にご利用いただけるよう、必要に応じた店舗施設の修繕、設備更新を行います。

2016年度 参加と連携推進本部事業計画

【指針 1】 利用や運営の場で組合員のくらしをよく知り、組合員の声を生かす PDCA[※] が組織全体に伝わり深められる取り組みを進めます。

【施策 1】 「組合員のくらしをよく知り、組合員の声を生かす取り組み」を推進し、組織全体に効果的・効率的に伝わり深まるインナーコミュニケーションを進めます。

【施策 2】 ユーコープで扱う商品に関わる組合員参加（リアル・WEB）の場を展開し、出された声や使われ方などの知恵を事業・取引先に伝え、改善・利用につなげます。

【指針 2】 組合員の参加・参画を通じて「食」と「くらし」の願いに応え、社会的役割を發揮します。

【施策 1】 経営の到達点に留意し、持続可能な活動を展開するための組織と活動の基盤づくりを進めます。

【施策 2】 「商品活動」を最重点とし、「安心してくらせる地域社会を目指す活動」との二本柱のテーマで幅広い層の新たな参加と参画を促進します。

【施策 3】 次期中期経営計画に向けた検討課題がアクションプランとして早期に実践できる状態をつくります。

【指針 3】 「地域・社会貢献の取り組み（環境含む）」として、事業と活動を連携させた協同組合らしい取り組みを展開します。

【施策 1】 事業と活動の連携をすすめ、ボランティア活動の利用者を拡大します。

【施策 2】 国の制度に影響しない家事支援サービスを検討します。

【施策 3】 これまで実践してきたユーコープの地域・社会貢献の取り組み（環境含む）を継続発展するとともに、職員・パート職員一人ひとりの意識を高めます。

【指針 4】 福祉事業は持続的な事業活動を支える人づくりと体制づくりを課題とし、福祉事業アクションプログラムに沿って既存事業の基盤づくりと新たな福祉事業の研究を進めます。

【施策 1】 超高齢社会などの社会情勢・環境の変化にともなう在宅福祉サービスのニーズに応じたサービス提供を進めます。

【施策 2】 要望に応えられるサービス提供体制を確保します。

【施策 3】 既存福祉事業について法制度改定に対応し、今後も事業の黒字確保を見通すことができる事業構造を維持します。

【施策 4】 今後見込まれる社会保障政策に対応した事業展開や制度変更の影響を受けにくい福祉事業について研究を進めます。

※ PDCA マネジメント手法のこと。計画 (plan)、実行 (do)、評価 (check)、改善 (act) のプロセスを順に実施し繰り返すことによって、品質の維持・向上および継続的な業務改善活動を推進する。

2016年度 統合マネジメント本部事業計画

【指針 1】 組合員の立場で実践できる人と組織をつくります。

- 【施策 1】 実践事例発表会や第一次中期経営計画に基づく正規職員及びパート職員への教育、CDP^{*}の運用改善を進め、組合員の期待に応えることができる人材を育成します。
- 【施策 2】 危機管理や品質管理における職員教育と事業本部及び事業所の自立支援を進めるとともに、問題発生時の責任の所在を明確にすることで、最後まで責任を持って応えることのできる人と組織にします。
- 【施策 3】 労働諸条件見直しの労使合意促進、採用と継続雇用につながる制度改善、中長期の人事戦略（要員、教育、配置など）策定をすすめ、安定した労務体制づくりを進めます。
- 【施策 4】 組合員の声（現場の声）をよく知り、生かす取り組みを、統合マネジメント本部の全員参加で進めます。

【指針 2】 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革を進めます。

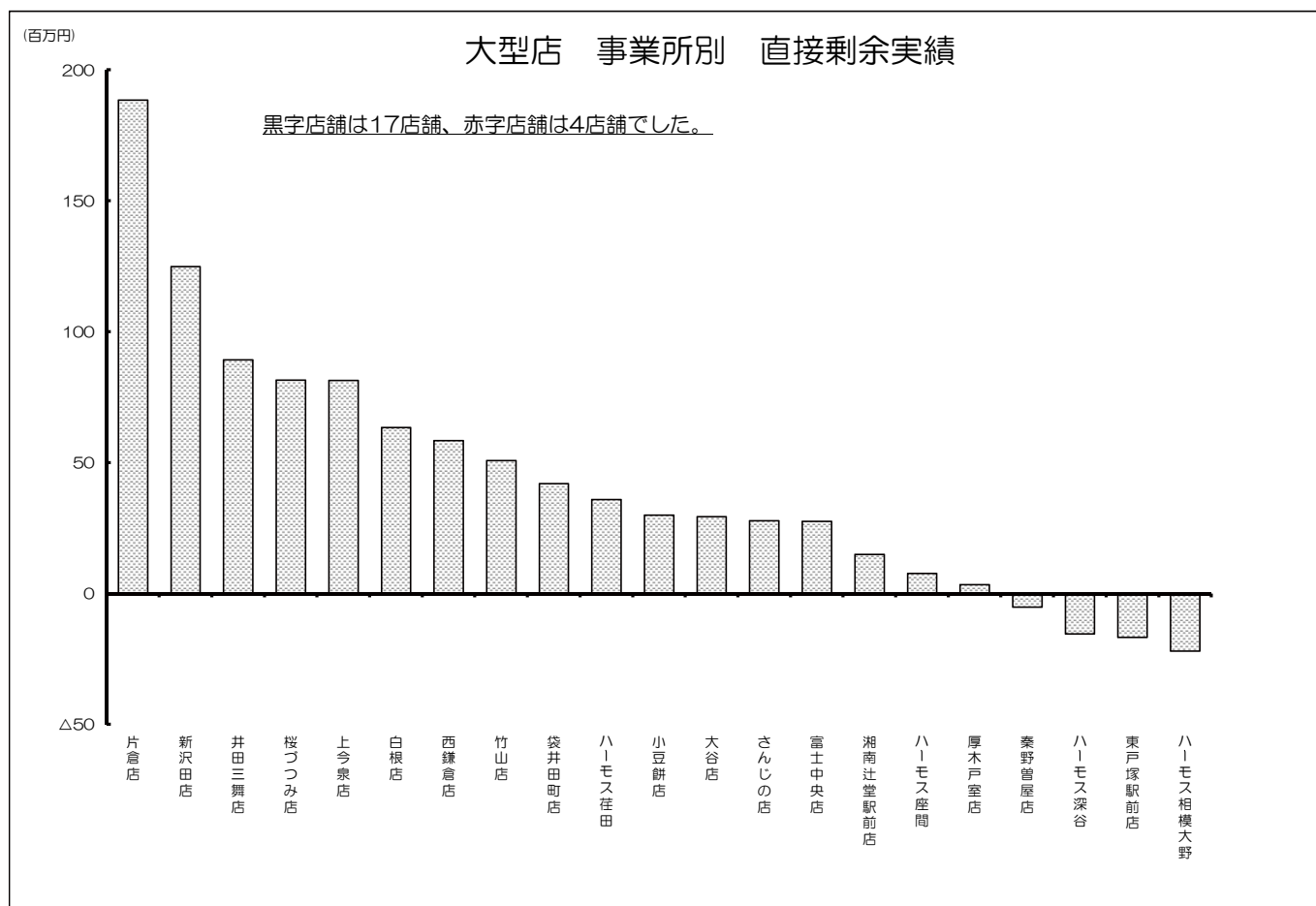
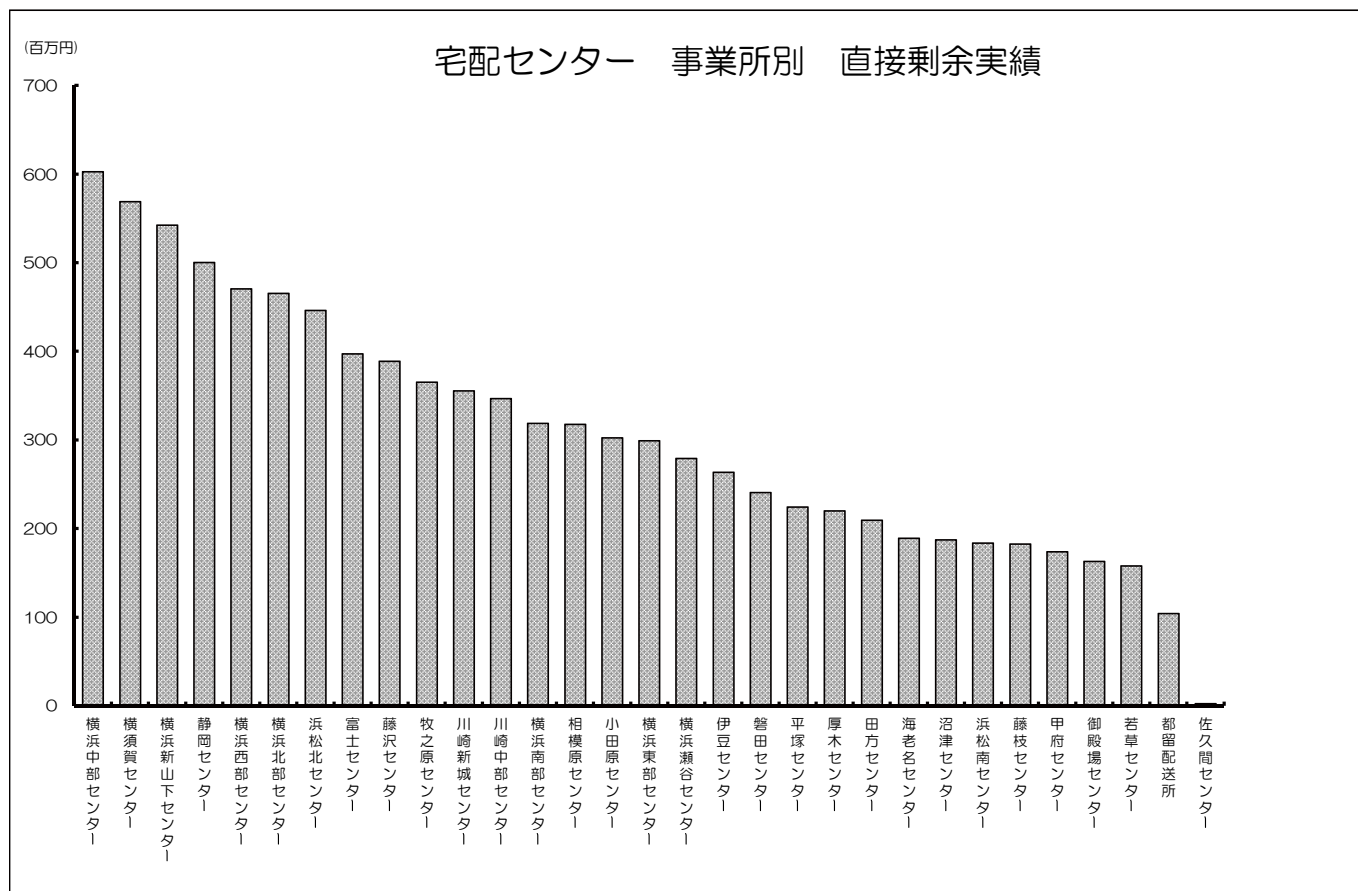
- 【施策 1】 全事業の業績管理とマネジメント、本部部局のコスト削減管理を行い、事業計画を推進します。合わせて子会社の内部統制を進めます。
- 【施策 2】 供給伸長に見合ったコスト削減を追求し、業務プロセス見直しによる自部署（本部）だけでなく、組織全体のコスト削減を次年度目標も明確にして進めます。
- 【施策 3】 2019年度本部人員計画（2015年度比▲30%）に向けて、業務の効率化と段階的な本部人員削減の具体的計画策定と施策の準備、実施を進めます。
- 【施策 4】 物流拠点や生産工場の効率化や、システム開発課題など、重要課題の整理と起案を進めます。
- 【施策 5】 自由脱退や期間外減資の取り扱いルールの定着と増資と取り組み、投資資金の効率的な調達を進め、資金の中長期的な安定を図ります。
- 【施策 6】 適正な契約管理や旧本部ビル問題への対応、その他資産管理などを進め、資産の保全を図ります。

【指針 3】 社会的役割を發揮します。

- 【施策 1】 丁寧で迅速なお申し出回答と店舗や工場の品質管理の向上、商品検査の継続を進め、安心してご利用いただける事業とすることで、ユーコープファンの輪を大きく広げます。
- 【施策 2】 コンプライアンス経営と危機対応への準備を進めることで、クライシスへの発展抑制と万一の際の適切な対応を進め、コープに期待される役割を發揮します。
- 【施策 3】 行政、お取引先、諸団体とのコミュニケーションを強化し、くらし社会、地域、事業におけるネットワークをさらに広げます。

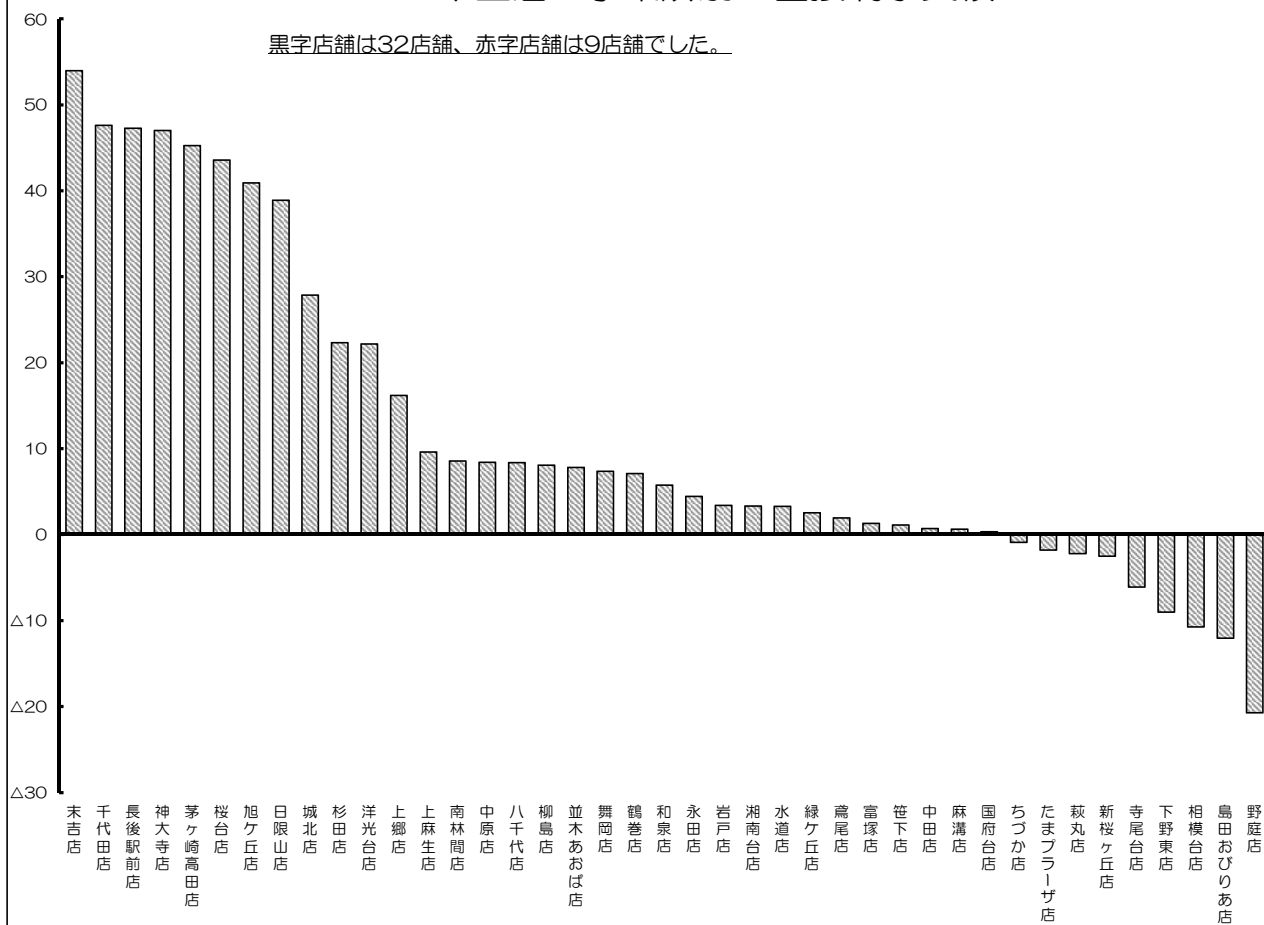
※ CDP（Career Development Programの略）個々の職員のキャリア育成を、中長期的な視点で支援していくための制度全般のこと。

2015年度 事業結果 (事業所別・直接剰余実績・経常剰余実績)



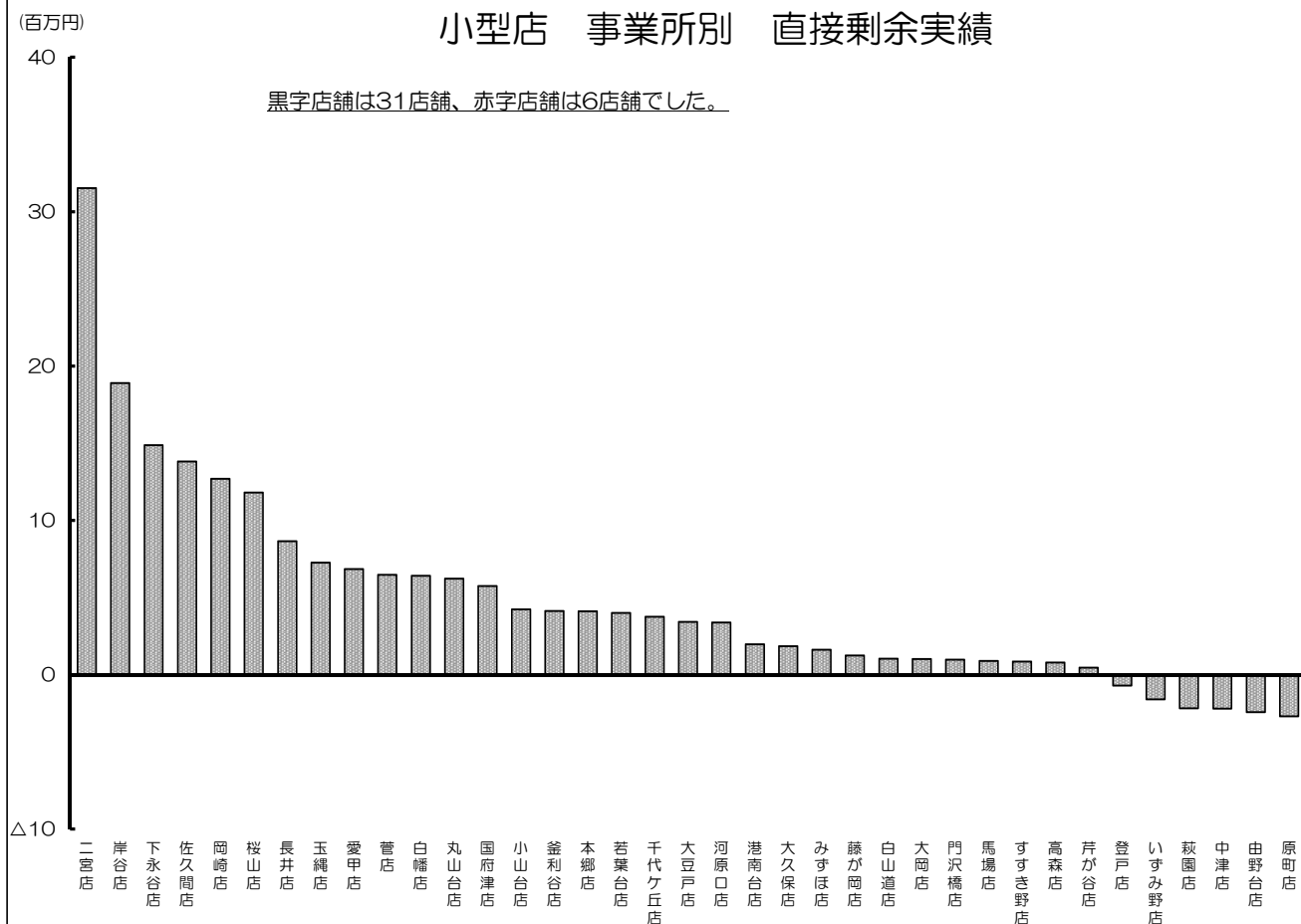
中型店 事業所別 直接剰余実績

黒字店舗は32店舗、赤字店舗は9店舗でした。



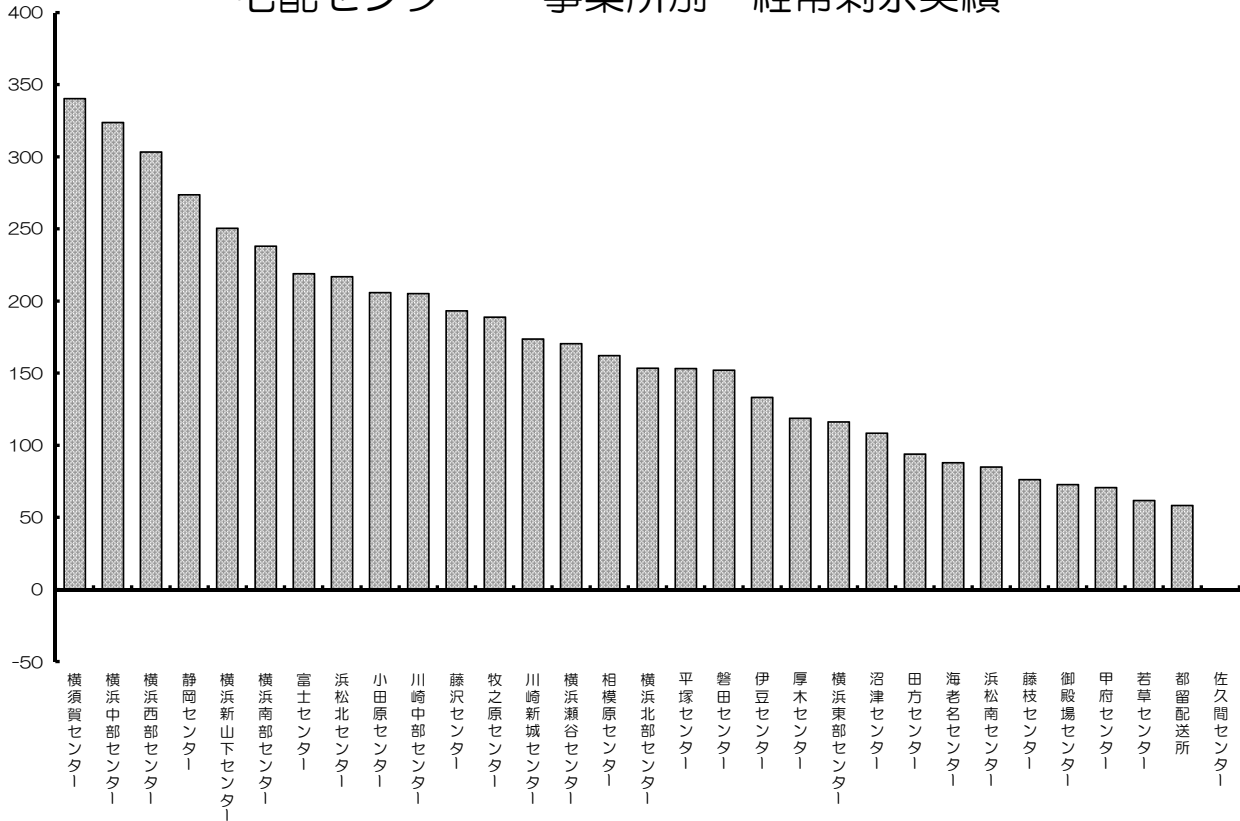
小型店 事業所別 直接剰余実績

黒字店舗は31店舗、赤字店舗は6店舗でした。



(百万円)

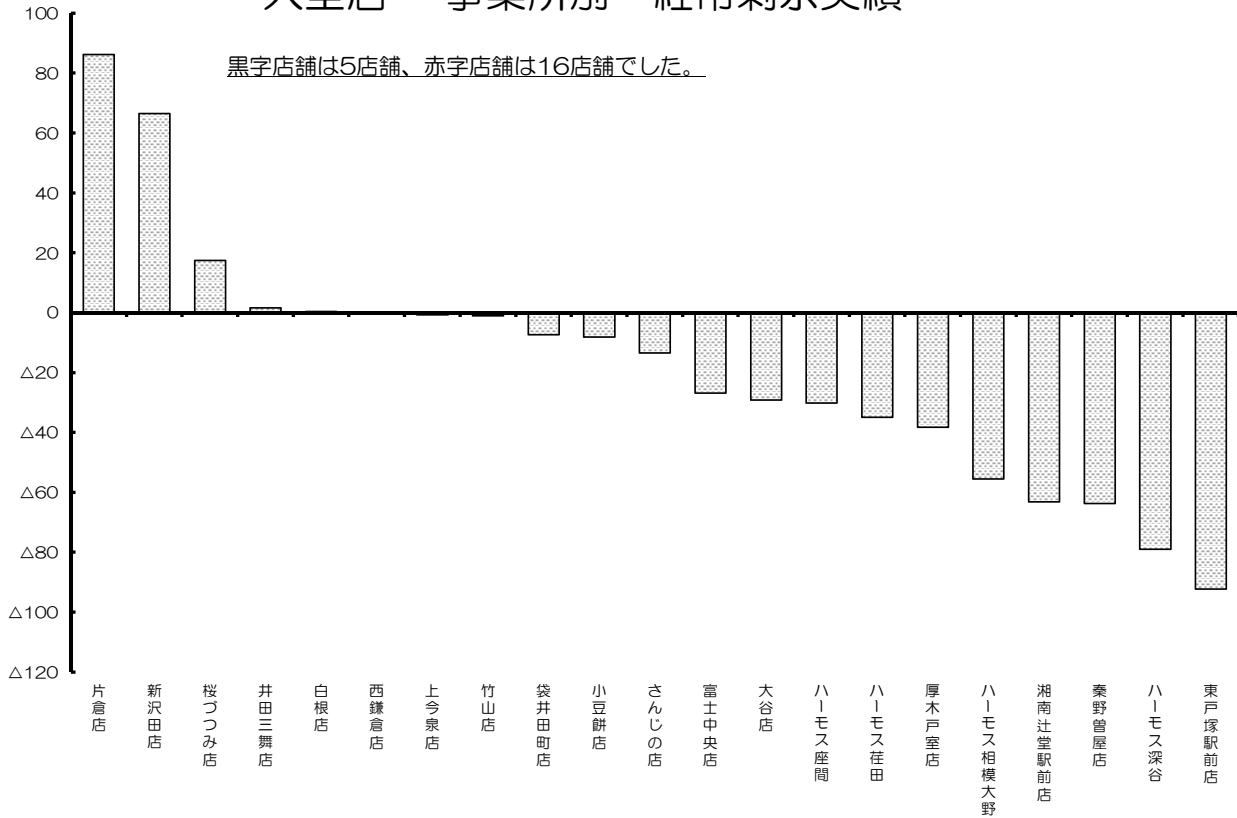
宅配センター 事業所別 経常剰余実績

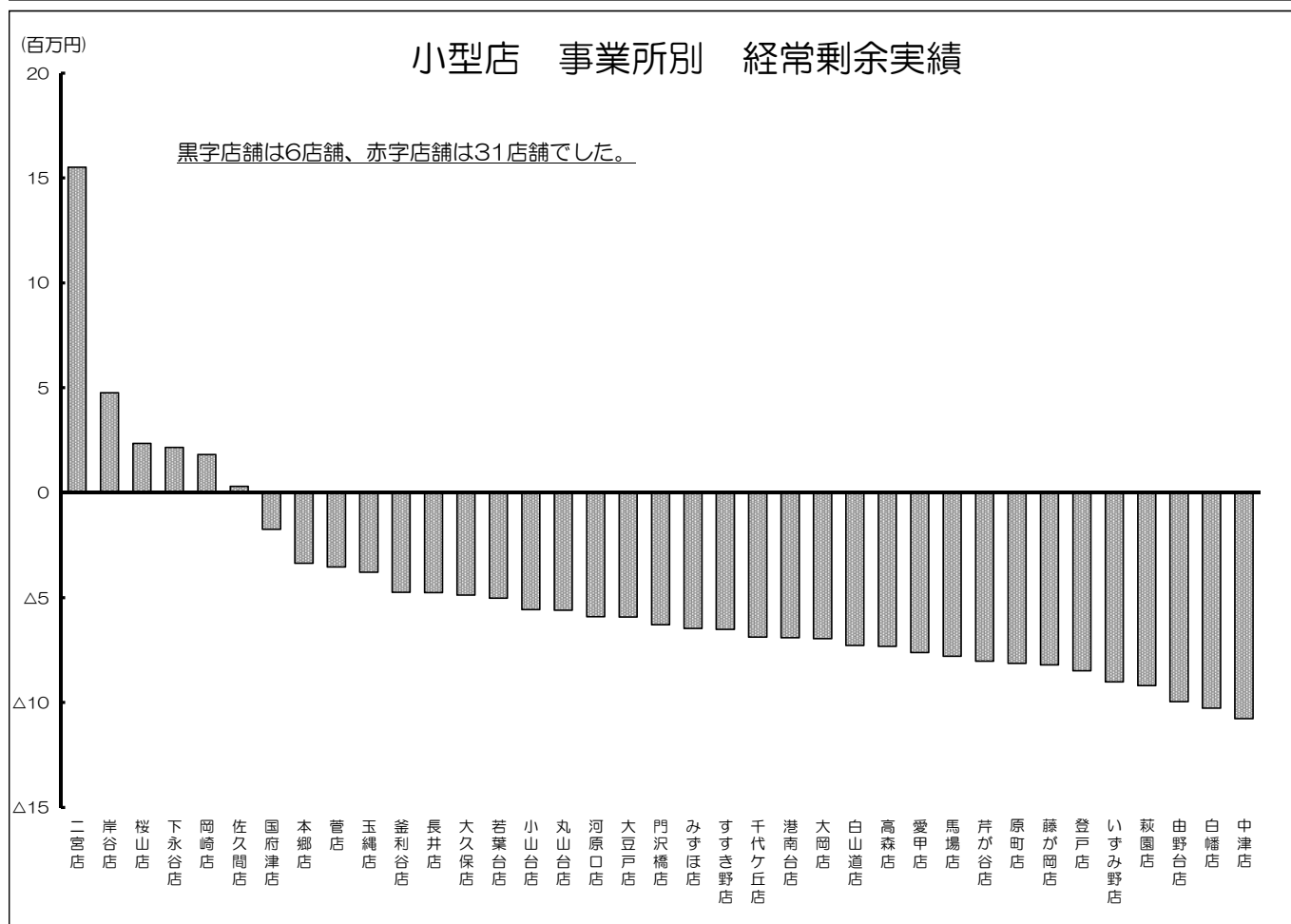
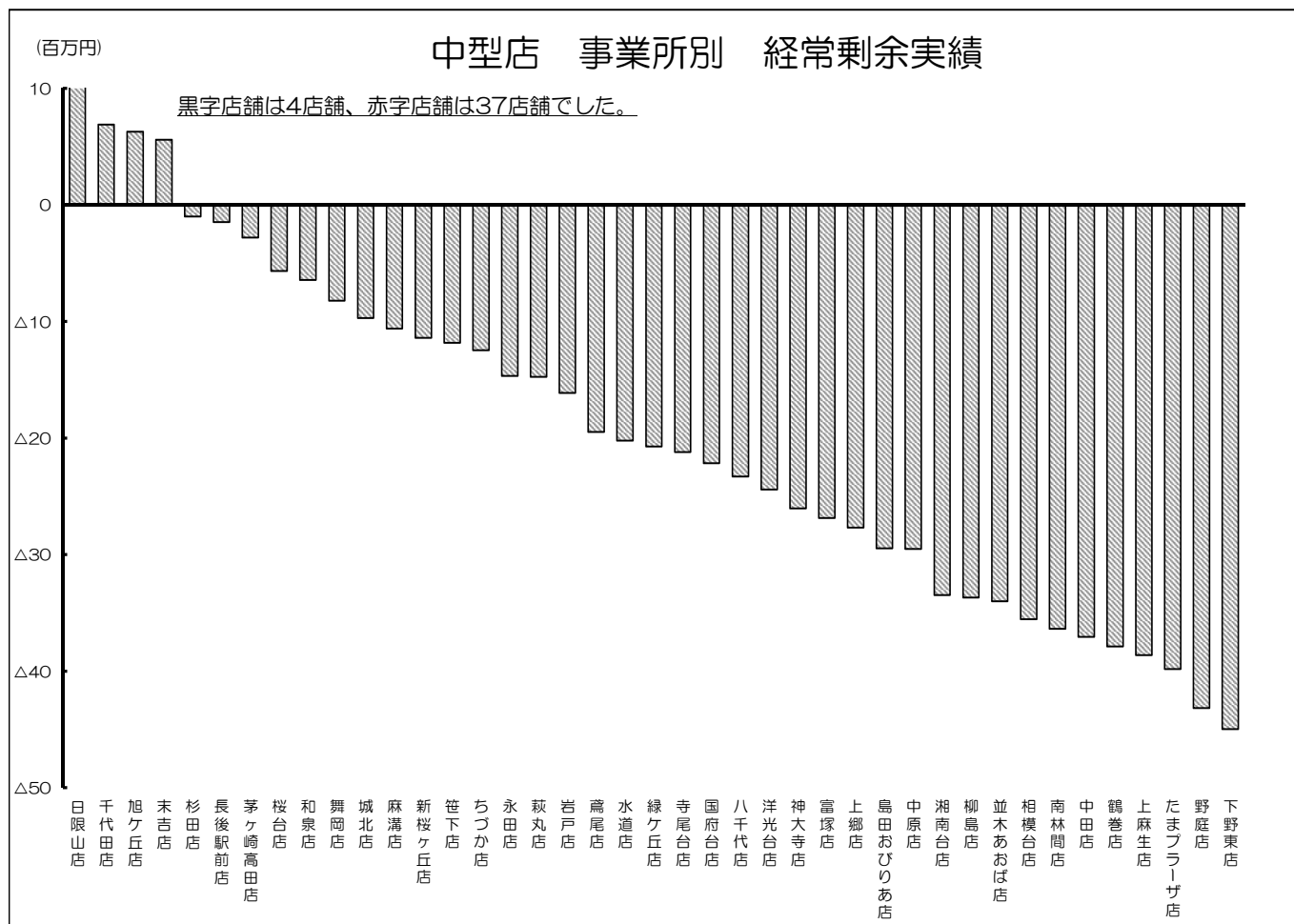


(百万円)

大型店 事業所別 経常剰余実績

黒字店舗は5店舗、赤字店舗は16店舗でした。





2015年度 監事会活動のまとめ

生活協同組合ユーコープ 監事会

監事は、理事とは職責を異にする総代会で選任された独立した機関として、生協の健全な経営と社会的信頼の向上のために、理事の職務執行状況及び財産状況の監査を実施してきました。組合員、総代の皆様に、監事監査活動のまとめを報告いたします。

…………… 2015年度監事監査方針は以下のように計画しました ……………

2015年度は組織合同して3年目。前年度、経常剰余予算を大幅に超過し、繰越損失金の解消はできましたが、継続して当期剰余を確保できる事業構造はできていません。2015年度は、第1次中期経営計画（2016年～2018年）が検討・策定されることもあり、確実に当期剰余を確保し、組合員・職員から信頼を得る重要な年度として、監事監査を実施します。

1. 経常監査項目

- (1) 機関運営（総代会、理事会）及び重要な諸会議への出席、不正行為や法令・定款違反の有無
- (2) 事業計画・予算進捗の状況
- (3) 内部統制システム理事会決議の相当性及び構築運用状況における不備の有無
- (4) 財産の保全・管理状況（重要な資産の取得・運用、資金の調達・運用、日常の経理処理）及び新会計基準の適用等
- (5) 競業取引、利益相反取引、非通例的取引、無償の利益供与等の理事会での承認手続き

2. 重点監査項目

- (1) 内部統制システム、特に統制環境の構築運用状況について再構築が進む内部統制システムの構築運用状況を監査。
- (2) 店舗事業の損益改善について第1次中期経営計画1年目につなげる年度として、事業継続できる政策の検討・実施状況を監査。
- (3) 宅配事業の成長性と収益性の確保について組合員拡大、利用者確保を重点に監査。
- (4) 本部コスト、本部機能について

…………… 監事監査方針に基づき、以下のように監査活動を実施しました。 ……………

1. 監事会の開催 ……監査計画・監査意見等の審議と必要な協議・決定

- (1) 開催日
4月7日、4月21日、4月28日、5月18日、6月2日、6月5日、7月10日、7月21日、
9月7日、10月7日、10月20日、11月6日、12月8日、2016年1月15日、2月9日、3月7日
- (2) 主な議題
 - ・理事会議案と理事会の審議状況、毎月度の経営状況についての審議
 - ・監事報酬の配分に関する協議、監査法人の監査報酬額への同意
 - ・監事監査方針や重点監査項目の審議
 - ・監査計画の策定（事業所往査、本部部局監査、子会社調査等）と監査実施
 - ・内部監査室より業務監査及び定期監査（IMS）結果報告の聴取
 - ・監査報告書、監査意見書の審議

2. 重要諸会議への出席 ……審議・議決は適切に行われているか（業務監査）

理事の業務執行の状況を把握するため、理事会、総代懇談会等の重要な諸会議に出席し、会議運営・議決が法令・定款等に従って行われているか、理事が善管注意義務を果たしているか等を確認しました。

3. 常勤理事・監事懇談会 …経営課題・内部統制等について意見交換

事業の執行状況、重要な経営問題について、理事長、専務理事、常務理事と率直に意見交換しました。

(1) 開催日

7月14日、10月16日、2016年2月24日

(2) 主な議題

① 常勤理事からの報告と意見交換

- ・経営全般、および宅配事業、店舗事業の到達点評価と今後の課題について
- ・第1次中期経営計画について

② 監事会からの報告と意見交換

- ・2016年度監事監査方針・監査実施計画について
- ・理事者確認書の締結について

4. 事業所監査 …トップ方針の受け止め、予算進捗、業務の妥当性（業務監査）

ミオクチーナ末吉店、白根店、ミオクチーナ袋井田町店、神大寺店、おうちCO-OP横浜瀬谷センター、中田店の監査を行いました。各事業所では、事業計画の進捗状況、法令・マニュアル等の遵守状況、5S・売場づくり・商品管理の状況、個人情報の管理状況を中心に監査しました。

5. 本部部局監査 …トップ方針の受け止め、予算進捗、業務の妥当性（業務監査）

情報システム部、人事部、店舗運営部、宅配運営部、事業管理部、経営戦略室の監査を行い、事業計画の進捗状況、課題と対策の検討状況等を中心に監査し、理事者の職務執行監査につなげました。

6. 財産の保全・管理状況の監査（会計監査）

(1) 毎月の経営結果について、監事会で審議しました。

(2) 上期及び下期の経営結果について関係部局より報告聴取するとともに、稟議書・関係申請書等についての調査を四半期ごとに行いました。

(3) 監査法人より期中及び期末監査結果の報告を受けるとともに、会計上の課題等について説明を求めました。

7. 内部監査室、監査法人との連携

監事会、内部監査室、監査法人の三者による「三様監査懇談会」を7月21日と2016年3月15日の2回開催しました。相互に監査方針、監査結果を報告、意見交換し、監査の効率化に活用しました。

8. 理事会への監査報告書及び監査意見書の提出

年間を通じた監査の結果を「監査報告書」にまとめ、理事会へ提出しました。また、監事監査方針で設定した重点監査項目の結果については「監査意見書」にまとめ、理事会へ提出しました。

9. 諸規則の改定

生活協同組合連合会ユーコープ事業連合の清算結了に伴い、統一規則であった「監事報酬規則」を生活協同組合ユーコープ単独の規則に改定しました（内容の変更はなし）。

10. 監査品質の向上にむけて

日本生協連の監査研究会等に参加し、またコープみらい監事会との活動交流を行い、監査力量向上に努めました。また、日本監査役協会の研修等に参加し、最新の監査情報の入手に努めました。

2015年度 品質管理の取り組み

1. 商品検査

ユーコープ商品検査センターで「安全性に問題が無い」ことを科学的に検証しています。2015年度の検査結果で重大な問題はありませんでした。軽微な問題については、是正改善を再検査で確認しています。商品お申し出は必要に応じて食中毒菌の検査、残留農薬検査と異物鑑定や異味・異臭検査を行いました。

(1) 生化学検査

宅配はお買物めものページごと、店舗は売場ごとに、店内調理加工商品は製造施設の衛生点検にあわせて検査を行いました。迎春商品は年末に集中して商品の安全を確認しました。コープの工場で製造する商品は毎月、夕食宅配は毎週検査を行いました。

生化学（主に微生物）検査実績（2015年度）

		検体数(計画)	検体数(実績)
製品	宅配	3,200	2,625
	夕食宅配マイシィ	2,200	2,232
	店舗	2,000	2,329
	店舗インスタア製品	2,200	1,900
	年末商品	1,600	2,234
瀬谷工場	製品	740	724
	原料	60	53
その他		1,000	665
合計		13,000	12,762

(2) 理化学検査

①放射能検査：出荷規制に関連する6県とユーコープ3県の商品を中心に検査を行いました。ほとんどの商品で検出が無く、原発事故による影響が無いことを確認しました。組合員の食事を検査する「家庭の放射性物質摂取量調査」に参加しました。

②残留農薬検査：グリーンプログラム商品、産地直送（指定）品や店舗売場の地場野菜を中心に約340種類の農薬について検査を行いました。農薬残留の問題は無く、産地の農薬管理が適切であることが確認できました。

③食品添加物検査：店舗や宅配の商品と迎春商品の漂白剤、防かび剤を重点に検査を行いました。製造管理が正しく、法基準に適合していることを確認しました。検査対象となる商品が想定より大幅に少なかったことから、検査件数も少ない取り組みになりました。

④動物用医薬品検査：産地指定の精肉、鮮魚等について、使用される動物用医薬品や残留検査の違反事例をもとに検査を行いました。取り扱い商品に問題の無いことを確認しました。

⑤お申し出商品の検査：正体不明の異物混入は材質の分析、異味・異臭は約110種類の異臭成分や残留農薬検査を行いました。安全性に不安がある検査結果はありませんでした。

理化学検査実績（2015年度）

検査分野	検体数(計画)	検体数(実績)
放射能検査	900	915
残留農薬	400	329
食品添加物	200	44
動物用医薬	20	19
その他	—	125

2. 生産工場や店舗の衛生管理

(1) 取引先工場点検

商品お申し出や検査結果で、緊急に改善確認が必要な取引先工場に立ち入りを行いました。夕食宅配は3工場に定期訪問し、ノロウイルスを中心に食中毒リスクの低減を図りました。迎春商品（特に宅配おせち）は製造点検を行い、商品事故防止に努めました。

工場点検実績（2015年度） 19件

目的	件数	主な点検先
製造環境確認	4件	弁当工場、漬物工場
お申し出による緊急立ち入り	5件	総菜工場、食品加工工場など
生産時点検	10件	宅配おせち工場

(2) 瀬谷工場の品質管理

コープの直営工場として、組合員の信頼にこたえる安全でおいしい商品の生産を目標としています。定期的に品質協議会を行い、検査結果の評価や商品お申し出の改善を確認しています。工場で働く職員には、異物混入防止や味とにおいの感度を高める訓練を行いました。

(3) 店舗調理加工施設の衛生管理

コープの店舗で商品を製造する施設（総菜・鮮魚・精肉・パン）の定期的な衛生点検を行いました。年2回の定期点検で食中毒防止、異物混入防止に努めています。

(4) 店舗不適合是正対象事故の削減の取り組み

商品の表示間違いや期限切れを無くす取り組みとして、期限日点検の強化や作業者の思い込みによる表示間違いの相互確認を強化し、失敗を3割削減できました。特に利用者への影響が大きいアレルギー表示の間違い防止には、細心の注意を続けていきます。

3. お申し出回答管理

(1) お申し出概要

全国多くの主要生協で運用されているお申し出管理システム（クイックプロ）を活用し、商品お申し出調査のスピードアップと品質不良発生の早期発見に取り組みました。次年度にはシステム共同利用生協を拡大し、機能もアップした新システムが稼働します。誠実で丁寧な商品お申し出対応の職員教育として「お申し出対応ガイドライン」を策定しました。お申し出件数は2014年度比95.8%、特に下期以降は昨年比に比べ80%前後まで削減しました。

(2) 商品お申し出の傾向

2014年度年末に発生した「インスタント食品に昆虫が混入したことのSNS情報拡散」や「ファーストフードチェーンの異物混入への対応不足のおわび記者会見」以降、その影響とみられる異物混入への関心の高まりが続いています。

2015年度お申し出全体件数と異物混入件数

	2015年度		2014年度		2013年度 総件数
	総件数	前年比	総件数	前年比	
お申し出件数（全体）	14359件	96%	14987件	104%	14373件
異物混入件数	2218件	114%	1938件	112%	1733件

4. 品質保証にかかわる全国生協との共同作業

(1) 商品検査

2011年原発事故による放射能検査は全国生協の共同作業として、コープ商品の定期的な検査や組合員の食事メニューを測定する検査に取り組みました。それぞれの生協で行った放射能検査以外の商品検査結果も「検査共同化システム」で連携され、安全性監視のレベルが高まりました。

(2) 取引先評価

「コープで供給する商品の品質を守ること、商品事故を起こさないこと」を目標に生協版工場点検ハンドブックで学習会を行いました。また、全国の生協と一緒に取引先工場を特定するための識別コードを定め、商品お申し出や商品検査のデータとあわせて製造工場の評価を強化する取り組みを次年度から着手します。

(3) 商品お申し出対応

全国の生協組合員から寄せられる商品お申し出について、速やかな回答と是正改善のご報告をめざし、専用の業務システム（クイックプロ）でノウハウを積み重ねてきました。次年度より、更に全国生協の経験をもとに強化したシステムとしてクイックプロⅡを稼働させます。

市町村別組合員数

(組合員数：2016年3月20日現在)

神奈川県

市区町村名	世帯数	組合員数	加入率(%)
川崎区	110,504	11,979	10.8
幸区	75,193	9,231	12.3
中原区	124,615	27,749	22.3
高津区	108,823	16,137	14.8
多摩区	106,543	19,077	17.9
宮前区	96,457	21,877	22.7
麻生区	75,657	23,671	31.3
川崎市・不明		25	0.0
川崎市計	697,792	129,746	18.6
緑区	74,436	24,078	32.3
青葉区	125,612	48,723	38.8
都筑区	80,672	25,512	31.6
港北区	163,563	33,480	20.5
鶴見区	132,439	32,471	24.5
神奈川区	118,919	39,526	33.2
中区	78,346	8,722	11.1
西区	51,686	8,333	16.1
保土ヶ谷区	92,783	32,218	34.7
瀬谷区	50,825	15,748	31.0
旭区	103,285	34,752	33.6
泉区	61,221	25,812	42.2
戸塚区	113,562	50,970	44.9
栄区	51,248	23,895	46.6
南区	94,930	20,594	21.7
港南区	91,074	40,379	44.3
磯子区	73,967	21,424	29.0
金沢区	88,108	29,120	33.1
横浜市計	1,646,676	515,757	31.3

市区町村名	世帯数	組合員数	加入率(%)
相模原市緑区	74,217	17,349	23.4
相模原市中央区	118,755	34,232	28.8
相模原市南区	126,674	39,606	31.3
相模原市・不明		348	0.0
相模原市計	319,646	91,535	28.6
大和市	102,730	25,925	25.2
綾瀬市	33,293	10,723	32.2
座間市	56,101	23,909	42.6
海老名市	53,378	29,277	54.8
鎌倉市	73,834	28,151	38.1
逗子市	24,292	9,011	37.1
横須賀市	166,202	39,373	23.7
三浦市	17,771	6,358	35.8
藤沢市	183,048	65,552	35.8
茅ヶ崎市	98,622	47,627	48.3
三浦郡	12,702	3,670	28.9
高座郡	19,050	4,187	22.0
厚木市	97,386	35,692	36.7
伊勢原市	43,445	11,685	26.9
秦野市	71,741	33,128	46.2
平塚市	107,042	32,031	29.9
小田原市	80,830	20,127	24.9
南足柄市	16,429	1,146	7.0
愛甲郡	17,432	5,288	30.3
中郡	24,517	10,378	42.3
足柄上郡	24,741	2,951	11.9
足柄下郡	21,246	4,510	21.2
他県 + 不明		9,886	0.0
神奈川県計	4,009,946	1,197,623	29.9

※川崎市と相模原市の「不明」は、旧住所登録でデータが残っているため発生しています。

他県+不明の「不明」には川崎市・相模原市の不明は含まれておりません。

※世帯数は取得できる最新のデータとしております。

静岡県

市区町村名	世帯数	組合員数	加入率(%)
沼津市	80,575	28,636	35.5
熱海市	19,358	3,585	18.5
三島市	45,880	15,619	34.0
富士宮市	50,163	21,273	42.4
伊東市	30,964	8,474	27.4
富士市	95,742	43,260	45.2
御殿場市	32,531	6,853	21.1
下田市	10,431	2,216	21.2
裾野市	21,305	7,589	35.6
伊豆市	12,294	4,085	33.2
伊豆の国市	19,507	5,341	27.4
賀茂郡	12,379	4,652	37.6
田方郡	17,683	4,503	25.5
駿東郡	39,273	13,339	34.0
葵区	103,587	42,545	41.1
駿河区	91,140	24,551	26.9
清水区	95,509	34,829	36.5
静岡市・不明		56	0.0
静岡市計	290,236	101,981	35.1
島田市	34,641	17,894	51.7
焼津市	50,691	17,542	34.6
藤枝市	54,287	19,825	36.5
牧之原市	15,505	5,200	33.5
榛原郡	13,413	4,301	32.1
浜松市中区	105,106	34,336	32.7
浜松市東区	50,129	14,711	29.3
浜松市西区	38,964	13,386	34.4
浜松市南区	38,435	15,026	39.1
浜松市北区	32,998	10,269	31.1
浜松市浜北区	32,831	12,201	37.2
浜松市天竜区	11,389	4,723	41.5
浜松市・不明		50	0.0
浜松市計	309,852	104,702	33.8
磐田市	60,833	23,939	39.4
掛川市	41,078	17,352	42.2
袋井市	31,379	15,893	50.6
湖西市	22,175	4,904	22.1
御前崎市	11,479	3,470	30.2
菊川市	15,991	5,649	35.3
周智郡	6,231	2,686	43.1
他県 + 不明		855	0.0
静岡県計	1,445,876	515,618	35.7

山梨県

市区町村名	世帯数	組合員数	加入率(%)
甲府市	84,548	15,921	18.8
富士吉田市	18,124	1,449	8.0
甲州市	11,388	1,582	13.9
都留市	13,371	1,695	12.7
山梨市	12,868	1,958	15.2
大月市	9,689	1,624	16.8
韮崎市	11,641	2,031	17.4
南アルプス市	25,084	5,004	19.9
甲斐市	29,418	5,381	18.3
笛吹市	26,361	4,160	15.8
北杜市	18,391	3,268	17.8
上野原市	9,596	1,944	20.3
中央市	12,798	2,224	17.4
西八代郡	5,872	1,291	22.0
南巨摩郡	14,415	2,988	20.7
中巨摩郡	8,285	1,788	21.6
南都留郡	17,648	1,993	11.3
北都留郡	626	0	0.0
他県 + 不明		65	0.0
山梨県計	330,123	56,366	17.1

1. 2015年選挙区別選出総代定数（組合員数：2015年3月20日現在）

選挙区	組合員数	定数
神奈川県選挙区	1,189,164	309
静岡県選挙区	511,020	168
山梨県選挙区	55,586	73
総計	1,755,770	550

2. 2015年総代選挙 エリア別の目安 【かながわ県区】

エリア	組合員数	エリア目安数
川崎区	11,744	3
高津区・宮前区	37,937	10
多摩区	18,926	5
麻生区	23,470	6
幸区・中原区	36,563	10
計	128,640	34
鶴見区	32,135	8
港北区	34,042	9
緑区	24,108	6
神奈川区	38,808	10
西区・中区	16,784	4
青葉区	48,826	13
都筑区	25,841	7
計	220,544	57
旭区	34,505	9
瀬谷区	15,986	4
保土ヶ谷区	32,547	9
泉区	25,872	7
戸塚区	51,141	13
計	160,051	42
南区	20,559	5
港南区	40,273	10
磯子区	21,178	6
金沢区	29,494	8
栄区	24,702	6
計	136,206	35
相模原市南区	39,912	10
相模原市中央区	34,426	9
相模原市緑区	17,519	4
海老名市	29,280	8
座間市	23,928	6
大和市	25,769	7
綾瀬市	10,967	3
計	181,801	47
鎌倉市	28,149	7
逗子市・葉山町	12,727	3
横須賀市	39,960	11
三浦市	6,435	2
藤沢市	64,530	17
茅ヶ崎市・寒川町	51,296	13
計	203,097	53

エリア	組合員数	エリア目安数
厚木市・愛甲郡	41,387	11
伊勢原市	11,691	3
秦野市	33,136	8
平塚市	32,145	8
中郡	10,496	3
小田原足柄	29,524	8
計	158,379	41
合計	1,188,718	309

【しずおか県区】

エリア	組合員数	エリア目安数
東部1	22,656	7
東部2	79,846	26
東部3	66,475	22
計	168,977	55
中部1	100,888	33
中部2	38,580	13
中部3	27,030	9
計	166,498	55
西部1	67,660	22
西部2	41,008	14
西部3	66,832	22
計	175,500	58
合計	510,975	168

【やまなし県区】

エリア	組合員数	エリア目安数
国中	46,920	62
郡内	8,666	11
合計	55,586	73

● ユーコープのお店は
99店舗
 神奈川県 静岡県 山梨県

(2016.4.21現在)

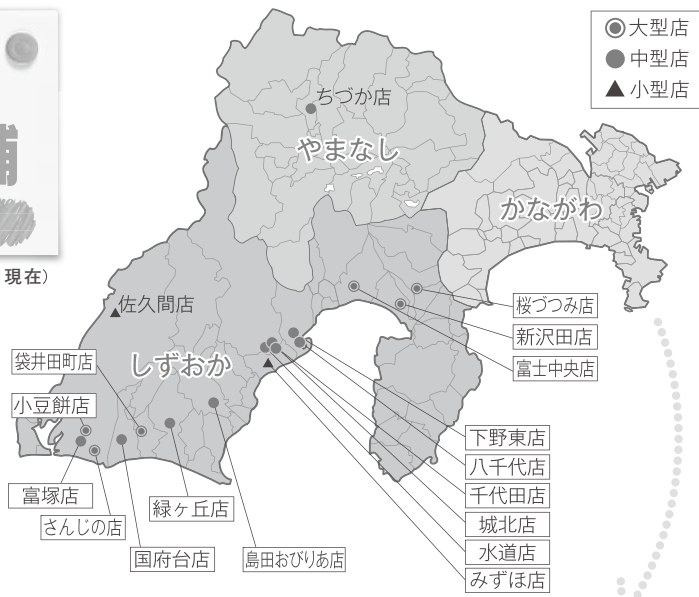
すべてのお店をご利用いただけます。

2013年3月21日に組織合同をしたので、組合員の皆さんは、3県内のユーコープの店舗すべてをご利用いただけます。
 お出かけの際はお近くのユーコープのお店をご利用ください。

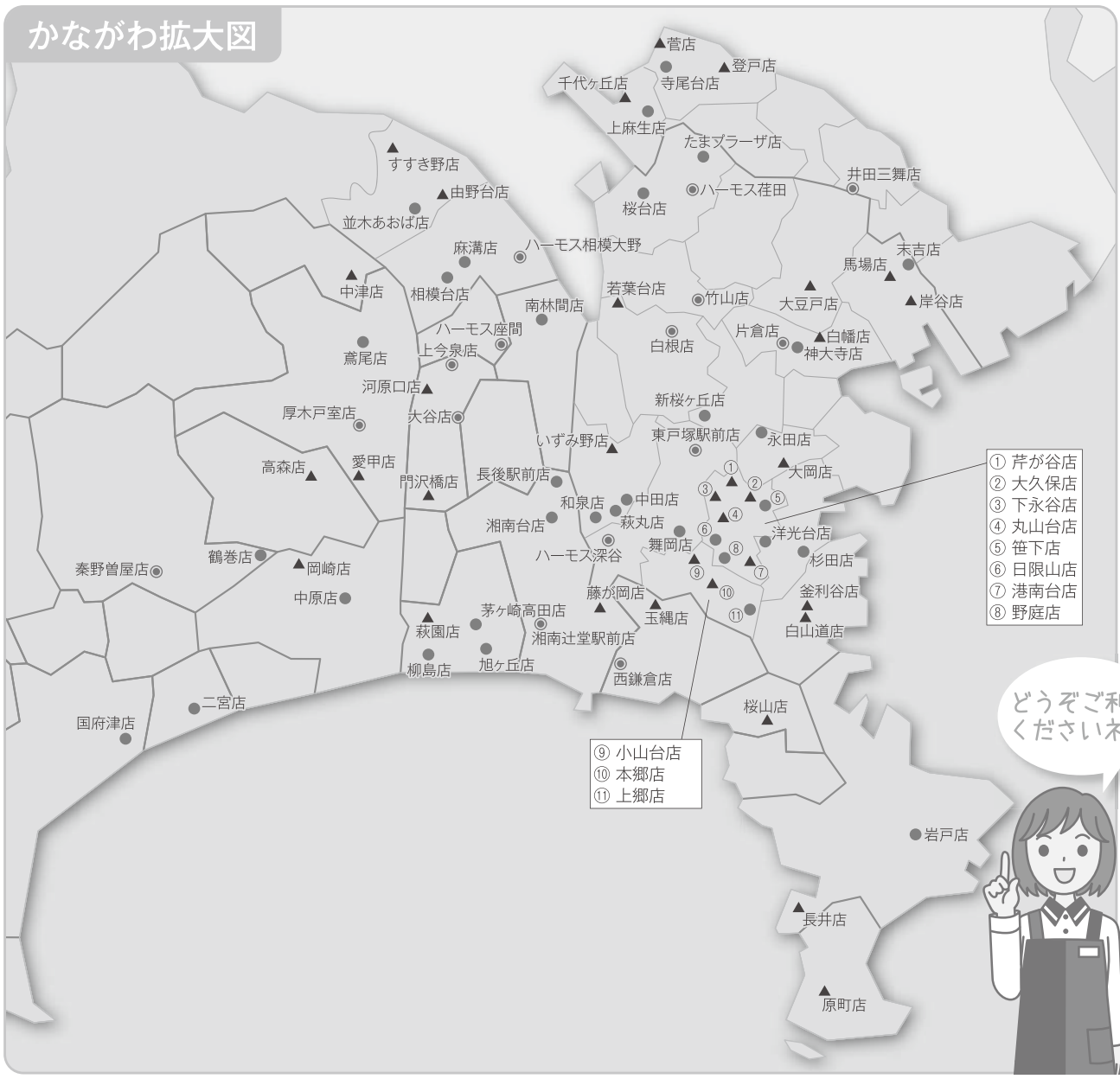
※地図は目安です。

店舗のご案内は、ユーコープHPをご覧ください。

ユーコープ



かながわ拡大図



資源エネルギー庁長官官房総合政策課
パブリックコメント担当宛

長期エネルギー需給見通し策定に向けた意見の募集について

生活協同組合ユーコープ
理事長 當具 伸一

1. 最終エネルギー消費量の目標は、2030年に2010年比25%以上の削減を目標とすべきです。

将来推計人口では2030年には2010年比で9%人口が減少すると推計しています。国民一人当たりのエネルギー消費量は変わらないとして、エネルギー需要全体は10%近く減少すると見込まれます。このような社会構造の変化を前提に、省エネルギー技術の進歩や徹底した省エネルギーの取り組みで15%以上を見込み、2030年度の最終エネルギー消費は2010年比で25%以上の削減をめざすべきです。

2. 再生可能エネルギーの導入目標を30%以上として地域分散型へ転換すべきです。

エネルギー資源が少ない日本で、太陽光、風力、バイオマス、小水力等をはじめとする再生可能エネルギーは潜在的ポテンシャルが高く、分散するエネルギーでもあり、大規模災害などによるリスク分散の効果を期待できます。

再生可能エネルギーは変動幅が大きく、広い地域で電力を融通しあうことが欠かせません。全国的に地域の特性に合わせた再生可能エネルギーを組み合わせることはエネルギーの安定利用を可能とし、地域活性化の施策となりうる可能性を秘めています。

3. 議論が割れている原子力発電の目標設定はせず、最終的にゼロをめざすべきです。

東京電力福島第一原子力発電所の事故は未だ収束しないばかりでなく、使用済みの核燃料や核廃棄物の処理方法も確立していません。そのような中、原子力発電所の再稼働については賛成、反対双方からの意見が飛び交い議論が割れていて、国民的な合意が得られたという状況には至っておらず、導入目標を設定することは困難であると考えます。

原子力の再稼働については安全性を最優先としつつ、徹底した情報公開のもと地元を含め国民的な論議を行うべきです。

長期的には老朽化及びリスクが高い原子力発電所については法の基準を厳格に適用して廃炉とし、最終的には原子力に頼らない電源構成をめざすべきであると考えます。

4. 電力の小売り自由化では消費者・需要家の電源を選ぶ権利を保障すべきです。

東京電力福島第一原子力発電所の事故を契機として、国民の電力に関する関心は高まり、「どのような電源で発電された電力であるのか」関心を持つようになりました。消費者や需要家の選ぶ権利を保障するため電力会社、電力メニューを選択する際電源構成を容易に知ることができ、比較できるようにする必要があります。電源構成の表示ルールは標準化し消費者・需要家への情報提供を制度で義務付けることを求めます。

2015年7月13日

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿

安全保障関連法案を撤回、廃案を求める意見書

生活協同組合ユーコープ
理事長 當具 伸一



現在、通常国会において「集団的自衛権の行使」に関わる安全保障関連法案の審議が行われています。

同法案は、アメリカなど他国が海外で行う軍事行動に日本の自衛隊が武力行使をもって協力することを可能にするもので、憲法第9条に違反する可能性が極めて高い内容となっています。

この間の国会審議では、衆議院の憲法審査会において、自民党が推薦した参考人を含め全員が違憲であるとするなど、同法案の違法性が明らかになっています。政府の説明も不明確な点が多く、説明責任を果たし得ているものではありません。

全国では200人以上の憲法学者が同法案に反対する声明を出してその違法性を訴えているほか、300を超える地方議会が「反対」ないし「慎重審議」を求めて意見書を採択しています。

またこの間の国民世論調査によれば、同法案に対して「反対」が「賛成」を大きく上回るとともに、「今国会で成立させる必要はない」とする意見が半数以上を占めています。

このように、法律専門家の圧倒的多数が違法であると指摘し、多くの地方議会と国民が「反対」「慎重審議」の意を示す中、今国会のもとで無理やり法案を通すことは民主主義の観点からも許されるものではありません。

私たちは、安全保障関連法案に反対するとともに、同法案については撤回、廃案とすることを求めます。

目次

指針1

(1)

(2)

(3)

指針2

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

指針3

(1)

(2)

(3)

(4)

資料編

2015年9月19日

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿

安全保障関連法案の採決に強く抗議します

生活協同組合ユーコープ
理事長 當具 伸一



9月19日、安全保障関連法案が参議院本会議にて可決・成立しました。

同法案は、アメリカなど他国が海外で行う軍事行動に日本の自衛隊が武力行使をもって協力することを可能にするもので、憲法第9条に違反する可能性が極めて高い内容となっています。

これまでの歴代政府は、憲法第9条の下に許容されている自衛権の行使は、我が国を防衛するため必要最低限の範囲にとどまるべきであると解釈し、集団的自衛権を行使することは、その範囲を超えるものであって、憲法上許されないとしてきました。元最高裁判所長官をはじめ、多くの憲法学者や専門家が安保法制関連法案について、憲法違反であると指摘しています。

国会審議では様々な問題点が指摘されました。政府の答弁は極めて不十分であり、国民に対する説明責任を果たしていません。

この間の世論調査では、多数の国民が法案の成立によって「戦争に巻き込まれるのではないか？」との不安と疑念を抱いています。同法案に対して「反対」は「賛成」を上回って過半に達し、さらに「今国会で成立させる必要はない」とする意見が7割近くを占めていました。

また全国各地では、自治体が慎重審議や廃案を求める議会決議を上げ、法案成立に反対する集会なども多くの市民によって開催され、安保法制関連法案に異議を唱える声が日本中に広がっていました。

国民の過半数が反対するという状況にありながら、議席数にものを言わせて法案を通したことは民主主義の観点からも許されるものではありません。

安全保障関連法案の採決に強く抗議します。

朝鮮民主主義人民共和国の「初の水爆実験」とする4回目の核実験に強く抗議します

朝鮮中央通信などによると、貴国は2016年1月6日正午（日本時間午後12時半）に政府声明として、朝鮮人民軍最高司令官でもある金正恩（キム・ジョンウン）第1書記の命令により「初めての水爆実験に成功した」と発表しました。

貴国はこれまで核実験を2006年、2009年そして2013年2月に行ってきました。

声明で貴国は、「米国と対峙するわれわれは水素爆弾を手に入れた」と強調し、米国を意識した実験であるとしさらに、「米国の極悪非道な対（北）朝鮮敵視政策が根絶されない限り、われわれの核開発中断や核放棄は絶対にあり得ない」と表明しています。

今回の核実験は、この間の国連の核兵器廃絶決議（直近では、2015年12月28日の「核兵器の全面的廃絶に向けた新たな決意の下での共同行動」や11月2日の国連総会第1委員会（軍縮）における「核兵器の使用禁止や廃絶のための法的枠組みづくりの努力を呼び掛ける決議」）、その背景となる核兵器廃絶を求める世界の市民、何よりも被爆者の願いを踏みにじるものです。

私たちは、貴国の度重なる核実験を暴挙として強く抗議し、核兵器開発計画を放棄することを求めます。

そして、1992年2月に発効した韓国と貴国が朝鮮半島を非核化することに合意した「朝鮮半島非核化共同宣言」（両国が核兵器の実験・製造・生産・搬入・保有・貯蔵・配備・使用をしないことなどが内容）に立ち戻り、非核化を検証するための査察制度について、誠実に両者の合意形成を行って宣言を機能させていくことを強く求めます。

また、他国には不拡散を求めながらも自国の核保有は正当化するアメリカやロシアをはじめとする核保有国の態度が核開発を誘発し、核拡散の原因になっていることも明白です。あらためて、核兵器禁止条約締結に向けた誠実な交渉を開始することを求めます。

ユーコープでは、被爆国日本の国民として、これまでも、核兵器廃絶と被爆者援護を共通の願いとして、世界の平和をめざす取り組みを進めています。私たちは、速やかな「核兵器の廃絶を願い」「核兵器をなくす取り組み」「被爆者との連帯」を平和活動の柱に取り組んでいます。

ユーコープは、貴国が核兵器開発計画を放棄すること、そして世界の国とともに核兵器禁止条約締結に向けた誠実な交渉を開始することを強く求めます。

2016年1月7日

生活協同組合ユーコープ

理事長 當具 伸一

すべての核保有国が核兵器禁止条約締結に向けた

誠実な交渉を開始することを強く求めます

3月11日および15日、私たちは「金正恩第一書記が朝鮮人民戦略軍の弾道ミサイル発射訓練を視察し、新たに製造した核弾頭の威力を判定するための核実験や、核攻撃能力を高めるための実験を継続するよう指示した」こと、また「金正恩第一書記が弾道ミサイルの性能向上に必要な大気圏再突入模擬実験を視察し、核攻撃能力の信頼性をさらに高めるため、核弾頭の爆発実験と核弾頭を搭載できる多種の弾道ミサイル発射実験を早い時期に実施するための準備するよう指示した」との朝鮮中央通信による報道を受けました。

北朝鮮はこれまでも核実験を2006年、2009年、2013年そして2016年1月6日と4回実施し、この2月7日には事実上の長距離弾道ミサイル発射を行い、3月18日には、10日に続き弾道ミサイルの発射を行いました。このことは、この間の国連の核兵器廃絶に向けた取り組み、核兵器廃絶を求める世界の市民、何よりも被爆者の願いを踏みにじるものです。

私たちは、北朝鮮の核実験および能力向上の取り組みに抗議し、核兵器開発計画の中止を求めます。

そして、1992年2月に発効した韓国と北朝鮮が朝鮮半島の非核化に合意した「朝鮮半島非核化共同宣言（※）」に立ち戻り、非核化を検証するための査察制度について、両者の合意形成を誠実に言い宣言を機能させていくことを求めます。

※両国が核兵器の実験・製造・生産・搬入・保有・貯蔵・配備・使用をしないことなどが内容。

一方、3月7日から4月30日にかけて行われている米韓合同軍事大演習は、韓国軍29万人、沖縄駐留の海兵隊を含む米軍約1万5千人が参加する史上最大規模の演習となり、そこでは、北朝鮮の核ミサイル発射の兆候を把握した際の先制攻撃を想定した作戦や、北朝鮮の重要施設を正確に攻撃する訓練、首脳を排除するための作戦なども実施される演習といわれています。このような情勢の悪化につながる軍事演習には強く抗議します。

ユーコープは被爆国日本の国民として、これまで核兵器廃絶と被爆者援護を共通の願いに、世界の平和をめざす取り組みを進めてきました。

私たちは軍事的対抗による緊張関係の高まりによって情勢が悪化していることに深い危機感を持っています。

北朝鮮が核兵器開発計画をやめること、先制攻撃を想定した米韓合同軍事大演習という緊張を高めあうような手立てではなく、世界の国とともに核保有国が核兵器禁止条約締結に向けた誠実な交渉を開始することを強く求めます。

2016年3月21日

生活協同組合ユーコープ
理事長 當具 伸一